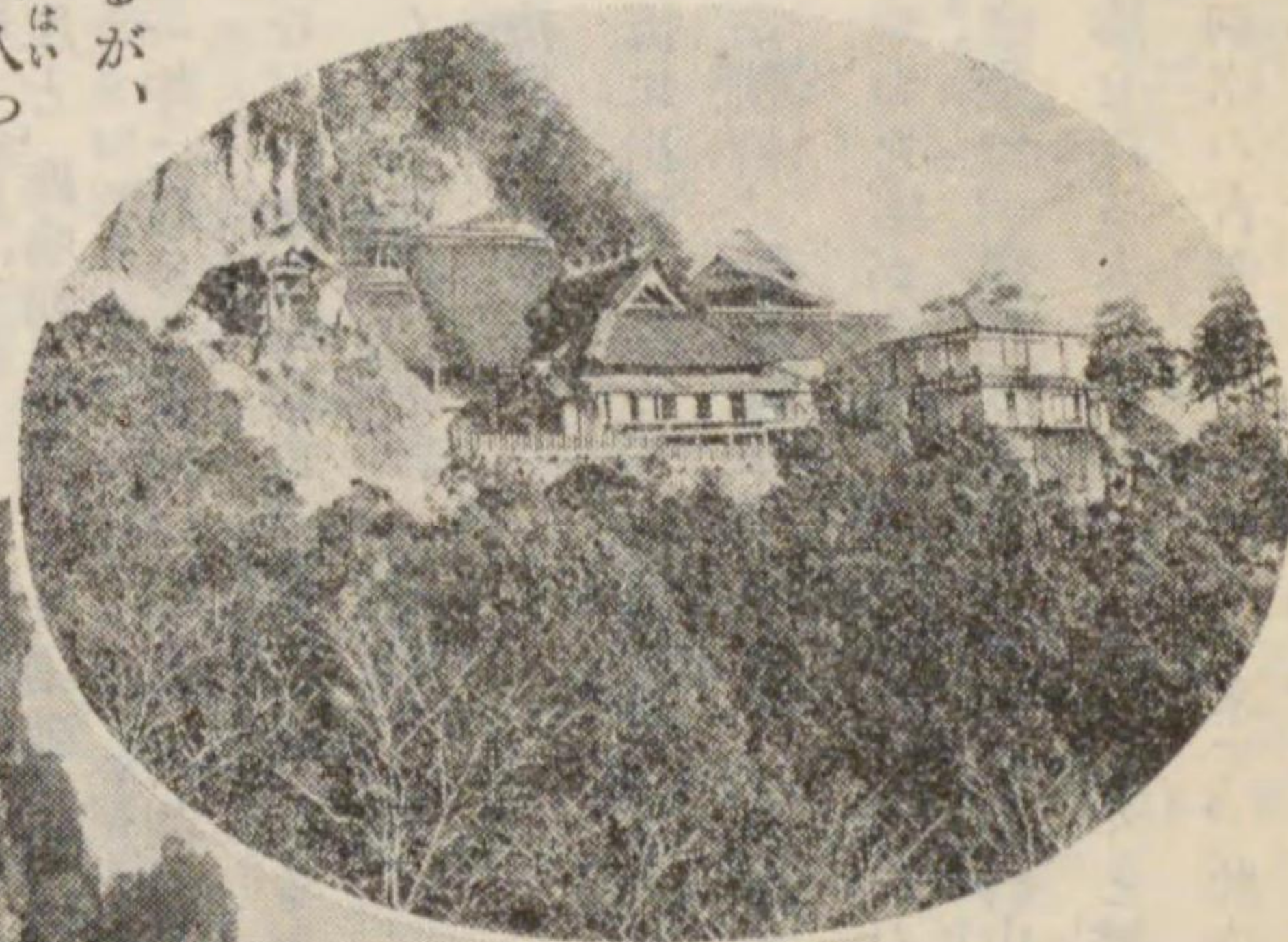
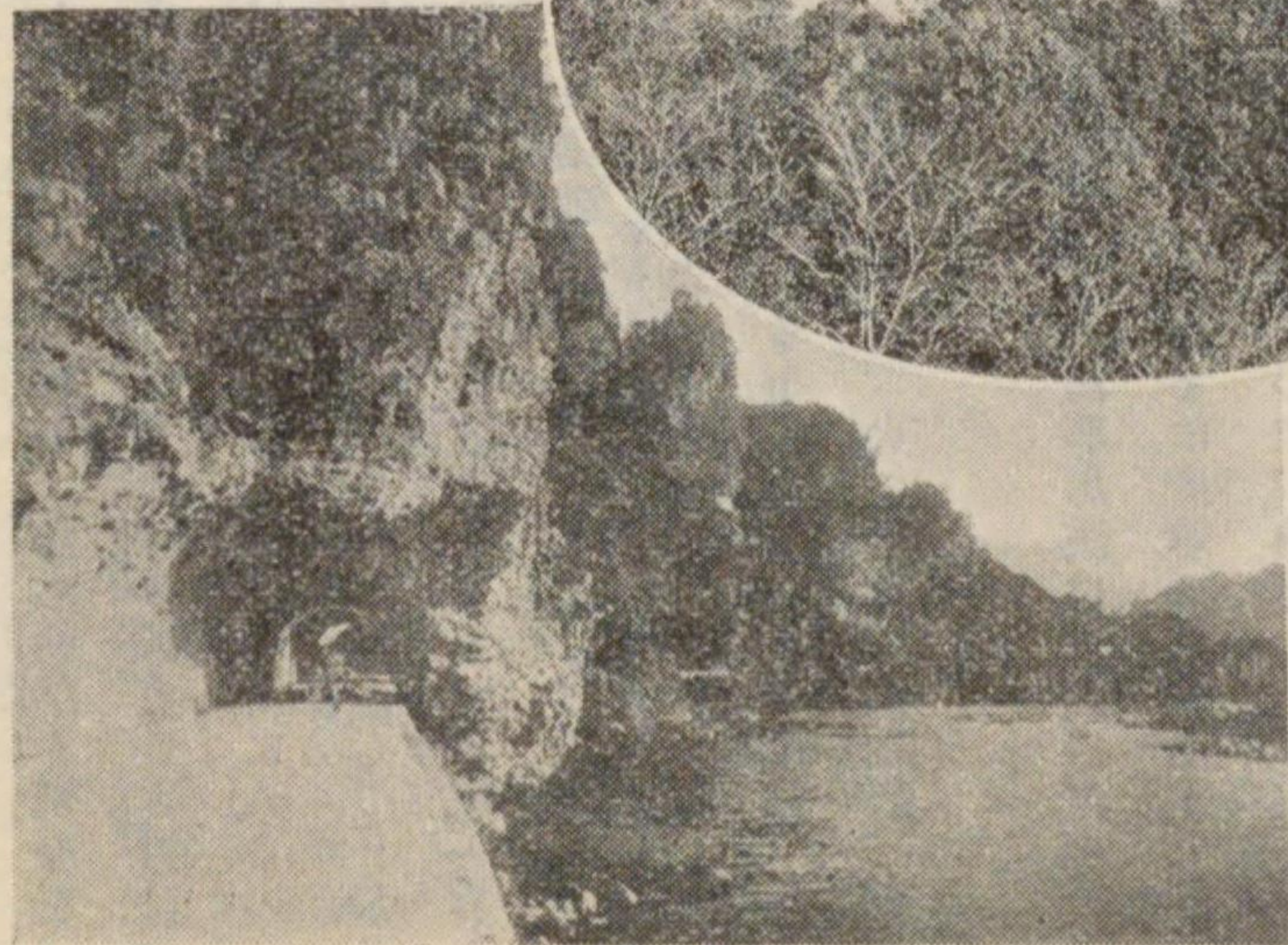


魂を入れぬも同じとされて居る。

羅漢寺の有る山は、山骨殆んど露出して、山頂より山腹山腰、盡く石を肌とし、岩を肉として居るので、鬱蒼たる巨樹老木は、偶々其岩石を剔つて生じて居るのである。羅漢寺へ登るには、山腰の仁王門まで行くと、其處の掛茶屋の處から三筋の道が蛇のやうに通つて居る、向つて右なるを裏道、中央眞直とは言いながら幾曲折して登るのが本門通り、左の石逕を登るのを參詣道と唱へ、最も險阻ではあるが、眺望絶佳にして、一足毎に刻々身體が雲の中へ入つて行く心地がする。其代り鐵の鎖に縋る所も有れば、足に加へて手の力まで借らねばならぬ處もある、岩から岩を輕業師のやうに渡る難處もあるから、都の手弱女が、氣取つた嬌態を持續しつゝ、パラソルにフェルト草履といふ舞臺裝置は出来ない。然し息をつぎ／＼と吻と佇ずむ毎に、眼界は益々豁けて、今迄仰い



耶馬溪 上羅漢寺 下青の洞門



だ山々を眼下に見下すやうになり、意地の悪い惡戯者の風が、錦紗の裾を吹き捲つて、嗤ら笑ひながら、天の一方へと消えて行く。而して目の之く所、指の指す所、奇岩縱横に横はり、怪石眉宇を壓して落ちんとするの、人間の弱い魂に試練を加へるのだ。岩には千年の苔蒸し、石には四時の錦を飾る、實に天工自然の仙境として、神代の昔の石裂神が百萬年の後までも誇らしあつたものを、今我々が土足の下に踏みしだきつゝ登るのだから、夫を思ふと壯快の氣が草臥れた神身を慰さめてくれる。

山門の側に大岩窟が有つて、十六阿羅漢五百羅漢の石像が、處狭き迄に簇々と立つたり坐つたりして居る、まさに羅漢の鑑詰といふ形だ。剩さへ其石斧鏤琢の痕か、古雅と言へば古雅だが、飽まで思ひ切つた不細工である。之は今から五百八十餘年前、京都建仁寺の榮西禪師の法孫、圓龜紹覺和尚が此山へ登つて、大洞窟を發見し、これ天が結縁の爲に、我に法窟を與ふるものなりと、都合のいゝ解釋を附けて、其儘此處を占領し、安禪の道場と定めた。一本の柱を立てず、一枚の瓦を葺かずとも、俄か普請の請負工事と違つて、洞窟は窺みもせず、雨も洩らない、晝は天日が燦めくばかり射し込み、夜は月が訪づれて呉る。床は平で、懷は廣く、天井は見上げるばかりの高さだ、之を無斷で我物にしたのだから、今なら忽ち刑事問題になり、新聞の二號活字にもならうといふ所である。然し禪師は其塵惡氣は持合はさぬから、見附けた時勝負で自分の物なのだ。其處へ入つて坐禪を組んで納まり反つて居る中に、此岩窟が釋尊の聖跡なる者閣崑山の靈洞に似て居るやうな氣がする、すると甚だ僭上ながら己は其儘の我佛だ、然し釋尊のやうに、佛身を圍繞する大衆が無いから、一つ五百羅漢を安置して、末代衆生の結縁にしようといふ大願を發した

もの、只た一人では何分手の付けやうも無く、夫れなりになつて居た處、延文四年に逆流建順といふ變り者の和尚がヒヨツコリ尋ねて來たが、所謂同氣相求むる形で、大いに意氣投合して、共々同宿して居る中に、建順突如として言ふには、野衲は此洞窟に、五百羅漢を安置して、長く佛縁を残したいと思ふと。紹覺禪師は渡りに舟である。拙僧も其事が年來の素願だから、夫なら二人で協力して拵へようと、即座に石を集め來り、片端から彫り始めた、二人ながら在俗の時石屋の飯を食つたのではあるまいが、鑿の音が氣持よく牙え切つて居る、餘技としては大した腕前で、彫りも彫つたり、釋尊並びに十六羅漢五百阿羅漢、曰く何、曰く何、其數三千七百餘體に及んだが、石佛各々三尺有餘の大いさだから、實に素破らしい努力である。

然し見渡した處で、道具の揃つた好い男の阿羅漢は一人も居ない、いづれも西遊記の妖怪のやうで、凝と之に對して居ると、次第に薄氣味悪くなる處、正に兩僧の魂が一々打込まれて居るに違ひない。羅漢寺の名は勿論此羅漢から起つたもので、足利將軍鹿苑院義滿が、羅漢護國禪寺といふ極め附の寺號を贈り、寺領百二十石を寄進した上に、管領細川頼之をして、伽藍を造營せしめたといふ事である。其伽藍なるものは、巍峨たる岩窟に據つて建てられたもので、層崖累々として欲立ち、上から掩ひ、下から開いて、穹形に反つた岩窟には、清冷なる眞清水滴り落ち、岩には小蘆葦が纏絡し、豆蘿が縊道を作り、石巖花が友仙模様のやうに野生して居る。眺望は絶佳で、嵐光相映じ、石色頻りに飛んで、遙かに山國川の清瀬を望み、輕烟濛霧が漠々として徂徠する時は、飄々として羽化登仙の思ひあらしめる。名物卷柿は山門

青の洞門

附近の茶亭で鬻いで居るが、羅漢寺土産として誇るに足るものである。舊耶馬溪の關門で、之を潜ると、始めて耶馬溪の腹の中へ入る事が出来る、川に添つた一大隧道である、今は新しく補修掘鑿して、自動車も自由で、我も人も漫然通過して了ふが、昔凡てが不自由な頃、鑿一挺で此大巨巖を穿ち得たのは、殆んど奇蹟といふべきだ。此洞門を掘ぬいたのは僧禪海といふ奇特な浮屠氏だが、彼が是に至る迄の經歷には、大衆小説其の儘の話がある。其外耶馬溪の名所としては、有名な鮎返の瀧、擲筆峰、羅漢寺橋の奇勝、競秀峰の筍立、犬走りの奔瀧、犬岩の透境、大蛇の横はるが如き耶馬橋、天柱並び立つ八王寺岩、金虹倒まに落下する三保母の瀧、山骨枯れて雲根現はなる古羅漢の嵯峨等、一步に觀轉じ十歩に景を新にする。耶馬溪を見盡して中津へ出で、宇佐八幡に賽して別府へ歸るに、凡そ十時間を要し、走破殆んど五十里に垂んたるものが有るが、一日のドライブには眺らへ向の遊山である。

鷺來ヶ迫鑛泉

(大分縣北海部郡下北津留村)

日豊本線熊崎驛下車(別府、熊崎間、賃六十九錢)驛の北約一里、馬車(賃三十錢)自動車の便がある。此處は四面山に圍繞された盆地で、藤河内川を帶とした閑雅な療養場である。

泉質效能 炭酸アルカリ性泉で、胃腸病、皮膚病に特效があり、婦人生殖器病、痛風、腺病にも效く。旅館・經費 橋本屋、小野屋、濱屋、依屋等、宿泊料一泊一圓乃至二圓見當、この外湯錢一日八錢。

島原半島及び長崎本線に沿ふ諸温泉

偉なる哉雲仙、美なる哉雲仙。島原半島の壯美は、茲に雲仙の山塊と凝り來つて、心憎い微笑を投げるのである。

雲仙とは蓋し音便に順つて雅嫺の文字を充てたもので、本来温泉で有る。山に熱泉多く、紫匂ふ山頂から湧くから、温泉ヶ嶽といふ簡明率直の名を與へたのであらう。其新湯の如きは、温泉場として殆んど遺憾無き設備を施し、九州に在つては、別府と拮抗するのであるが、雲仙の面目は、反つて其境と、其形と、其景と、而して亦天主教徒の悲惨なる物語とに在る。假令一滴の温泉が無くとも、雲仙は天下の名勝である、況んや蘭湯肌に沁る温泉の、滑らかに凝脂を洗ふの快有るをや。雲仙は眞に仙女の桃源の洞で、人間の骨も身も心も、併せて蕩かし盡す愉樂の源である。嶺然天の一角を摩する紫微の天壇は、常に肥筑の山野から、憧がれの的となつて居る、其處には佐保姫が霞の衣を引きはへ、立田姫が錦の袖を翻へし、賤しき人間の俗券を杜絶した雲の上の靈壇、天花咲き亂れる神の花園と仰がれるのだ。紺碧を湛へる天草灘、近く有明や大村の海が、漾々たる

蒼波を漂はし、浩蕩として水天一碧、漂ふ白帆や流れる雲が、渺茫たる烟波の間に遠霞となつて消え込む風情は、天下廣しと雖も、雲仙の登臨を凌駕するものは無い。

雲ヶ嶽は多良火山群の秀峰で、肥前國南高來郡の中央に聳え、小濱からするも、島原からするも、直ちに海から爪先上りの登攀路に就くので、兩路とも約三里強。山は最高峰の普賢嶽及妙見嶽を中心として烏帽子、吾妻、宇嶽、舞嶽、櫓木山、前山、岩上山、岩床山、野嶽、大崩、矢嶽、高岩、絹笠、高嶽の諸山が之を圍繞して居る。然も其地質が角閃安山岩で組成されるのは、日本中他所で認められない現象である。

試みに島原から登ると、宇土半島の突端三角より船で渡るので、漾々たる湖水の如き有明海は、浪が平かで海といふ感じは微塵も無い。左に天草の大矢野島を望み、更に天草本島を眉宇の間に仰ぐ、夫が餘りに近過ぎて、水天髣髴青一髪どころか、呼べば答へ、展べれば手が届きさうである。雲仙の尾根が長く曳いて海に入る邊には、島原宗門戦で名高い原の城趾が遙かに霞んで見えるし、島原灣口には巉巖骨露はなる島々に、松の緑が千年の海風に颯々渡る。其幾多の島嶼は、往年雲仙爆發の際に、其前山なる眉山の半が消し飛んで、海中に崩れ落ちた残骸だと言はれる。眉山は今も尚島原を壓して歛立ち、爆破の物凄しい痕跡を残して居る、大夢和尚が前有二蛾眉一容嫵媚と賦した其

蛾眉山である。

船が島原湊に入ると、直に自動車を迎へて居て、乗合なら定時毎に、貸切なら直に出發する。一方諫早より島原鐵道で島原湊まで来て、夫から登攀路に就いても、同じ道を行くのである。海岸から町を横ぎる間は、狭い小路のやうな人家稠密の中を行くのだから、低い廂と廂とが、左右から自動車を押せるかと危ぶまれるが、一度町を抜けて登山路に懸ると、廣々とした道路が、帯の如く眉山を回つて雲表へと通じて居る。雲仙全體を縣の公園にすべく、極力改修した道で、三間幅で有るから、自動車が擦れ違つても、更に危険を感じさせない。

登るに従つて、有明灣の海洋美は、雲仙の山岳美と呼應して、名人の盆景のやうに、眼下に展開される、肥後方面の山又山が、澎湃たる怒濤を、其儘凍り附かせたやうに、縁に連互し、紫に起伏する。而して登れば登るに従つて、谿谷が深くなる、三百尺登れば三百尺、五百尺登れば五百尺の深さで、懸崖絶壁は、一瀉千里の勢ひを以て、九天より直下して、真逆様に海へ入る、其間に中なるみも、曲折も無いから、登れば登る程に、天地の俯仰がハッキリとして来て、刻々眼界が廣くなり展望頗る開闊、ドライブの快さは又格別である。

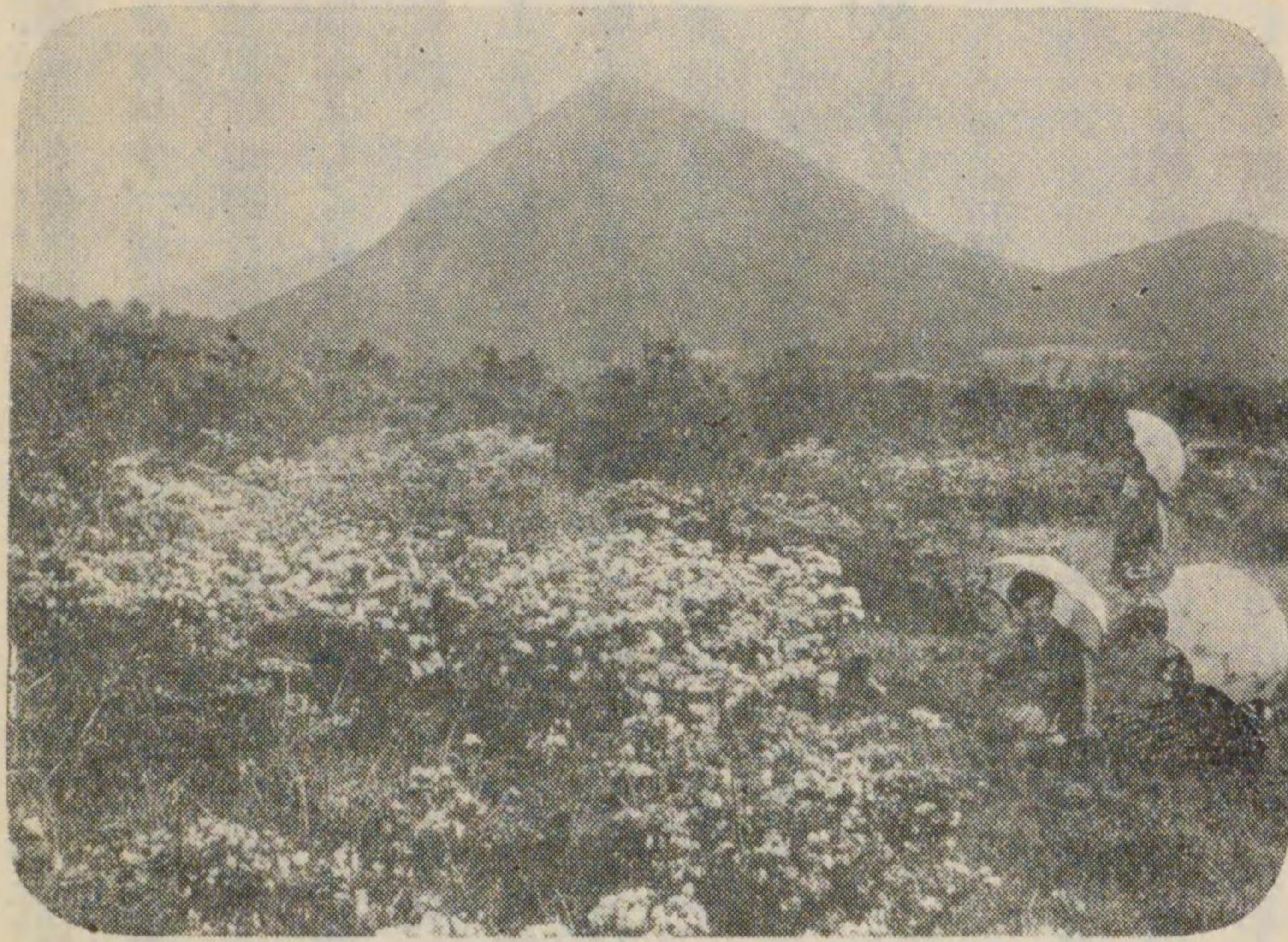
凡そ山は多いけれども、頂上から眞下まで、絶壁が突徹つて居るのは此山ばかりである、従つて

眺望が天下無比となる譯だ。

温泉は海拔凡そ七三〇米(二、四〇〇尺)の高處から湧出するので、其地點は温泉公園の一部、矢嶽と絹笠山の間の大爆發の跡である。公園は新湯を中心として、湯の里、櫻橋、上茶園、矢嶽、絹笠山の地域に互り、十六萬四千坪の縣營事業で、外に公園附屬地として、妙見嶽の麓池の原に、宏大なるゴルフ場がある。園内の地獄は三十餘ヶ所、地獄から地獄が綱渡りをして續くのだから、一度此地域へ足を入れさへすれば、夫から夫へと、地獄めぐりがされる。別府には彼程多數の地獄が有るけれども、自動車で廻つて歩かなければ、巡覽に丸一日有つても足らぬ程、離れ離れに散在するに比して、是はゴチャ／＼と一所に集まつて居るのだ、島原方面と小濱方面とへ貫通する道路の賽の河原と言ふ處などは、其處とも分けず地中から立昇る蒸氣の中を、自動車が突破して行く。地獄の上を自動車が行くのは、此處より外には有るまい。邪慳、叫喚、無間、八萬、清七、難産、等活、妄語、雀、焦熱、紺屋、酢屋、酒屋、餓鬼、偷盜、親不孝、殺生、人譏り、牛馬石、お糸、鬼酒戒、鍛冶屋、還俗、惡口、兩舌、兄弟諍ひ、血の池、立聞、問男、合戦、舊八幡、泥火山、小地獄など言ふ凄まじい地獄の數々が、硫氣を噴いたり、熱湯を沸らせたりして居る。歩く足許からは、兎もすれば蒸氣を噴き出す。地獄の有る處は、巨岩怪石累々として、獷き獸の嘯ぶくのや、怒

れる夜叉の叫ぶのや、毒氣を吹く大蝦蟇や、浮ぶ鼈のやうなのや、千態萬狀形容すべからざる巨岩が狼藉として、當年の大噴火の恐ろしさを思はせる。日本山嶽史の噴火年表に據ると、

光格天皇の寛政四年二月一日肥前國温泉嶽噴火す。此日酉刻より、普賢嶽大いに鳴動し、百千の雷霆一時に發するが如く、砂石を雨ふらす事雪の如し、黎明嶽を望めば、半腹以上烟霧に覆はれ、震動益々甚だしく、嶽の華表前の地、三千間許り陥没し、其中心直徑三四百間許りの坎穴兩箇を穿ち、炎火其中より發し、頻りに泥土を噴出す、其他山中處々破裂し、發炎するもの五十餘箇所、之を遠望すれば、炎火の互連すること凡二十餘丁、横徑凡五六丁なりと云ふ、二十九日峰の窟破裂し、炎勢極めて猛烈、近傍の山嶽悉く崩壊す。三月一日普賢嶽大いに震動噴火。四月一日噴火益々猛烈、鳥原の海中、炎火の飛揚すること流星の如く、海嘯大いに起り、鳥原市街及海濱十七ヶ村の民舍悉く流失し、大石巨木と雖も、亦一の存する莫し。溺死する者二萬七千餘人、又海中の三島沈没し、普賢嶽の前山峰頭破裂して、遠く海中に走り、諸群島を新生し、鳥原市街の南十丁許の地に、高さ六七十尺、長さ一里許の長堤を生じ、海中に突出す、此時鳥原の地大いに熱し、草履を穿つも歩行すべからず、草木悉く花を開けりと云ふ、此日災變遠く肥後の國に及び、海嘯の爲に溺死する者、四千八百廿五人、負傷する者八百十人、牛馬の溺死するもの二百八十三頭なりと云ふ。山中五十餘所爆破したといふ、其一つが此地嶽を現出したのであらう。小濱から登るには、鳥原道と殆んど同じ幅員の道路が通じて居るが、幾分急峻ではないらしい。



じ、つの仙雲

途中籠立場から、直下の千々岩灘の藍膏を瞰、更に遠く西彼杵や北高來の陸地を越して、大村灣が翡翠を溶かしたやうに、漫々たる大水を擁して居るのが見える。而して天草の山河は、鳥瞰圖を展べたやうに、鮮やか過ぎる程能く見えるのだ。

山は只形の秀靈卓拔と、登臨指呼の美に勝れて居るのみでは無く、初夏の躑躅と秋の紅葉との景觀が、更に此山を靈ならしめる。

躑躅は即ち温泉つゝじで、東京邊では伊豆天城邊の産を、専ら盆栽として作るが、大阪の種樹家は、此地から取寄せるらしい。葉の細かい丈の低い、生れながら盆栽に出来上つて居るやうな樹性で、花は紅紫色、瓣端の尖つた工合は、園

藝品の久留米躑躅に似て、花の大きさも大抵同じで有る、此花が温泉附近と言はず、絶嶂巨巖の上  
と言はず、地に蝸附して咲き出るとき、濃藍限り無き天空と相映じて、四山は五彩の光に覆はれる。  
地獄原地帯には又瓔珞つゝ、じが有る。花鮮黄で、花梗長く垂れ、扁状の花を咲かせ、温泉つゝ、じ程  
晴がましくはないが、石南科の珍として、天然記念物に指定され、此山の有する誇である。更に普  
賢嶽へ登ると、日蔭躑躅一名澤照らしが有る、概形稍石南に似て、青白花の稍微黄を帯びた花では  
あるが、石を抱き巖を抱へて咲く時、映山紅や温泉つづじの紅紫様々な眩惑的の色に和して、人を  
魅了する。此山彙には躑躅の類頗ぶる多く、以上の外サラサドウダン、シロドウダン（地獄原）、ミ  
ヤマキリシマ、ヤマツツジ（寶原、ゴルフ場、仁田峠野嶽、妙見嶽）、レンゲツツジ（原生沼）、ホツ  
ツジ、コバノミツバツツジ、ミツバツツジ、シロバナノコメツツジ（妙見嶽、普賢嶽、絹笠山）の  
数十種を産出する。

峰に尾につゝ、じ咲きみつ雲仙の

若葉の五月たぐひなき山

菊池 幽芳

更に秋になると、空山は唐紅と變じ、凡ての潤葉樹及び落葉樹が、分に應じた媚びた色取り々  
に酔を吹く。其間には鮮綠塗るが如き松や杉や檜が、エメラルドを鏤ばめつゝ、秋の深みを一入婢娟

にする。同じく常緑でも、關東地方と違ひ、此邊の常磐木の色は、刮目するばかり鮮明だから、眺  
曬が明るく快よい晴がましさを感ずるのだ。殊に仁田峠及び野嶽から、普賢の側面を見上げるのと、  
普賢の頂上から、蘆谷、鬼人谷を垂直に瞰下す景觀の壯麗とは、此處の景を見た人でなければ、共  
に語る事は出来ない。

『野路の露草葉に宿る月影は、無明の闇を照し、八葉の谷峰に躑躅の盛んなる時は、さながら

極樂世界とも云ふべし——邪宗制斷記』

極樂世界の一語は、春と言はず、秋と言はず、雲仙に遊ぶ者に直感させる景致で有る。

普賢嶽へ登るには、温泉場から密樹の間を抜け仁田峠へ出るので、此間約三十町も有るが、鬱密  
たる木立を抜けて、突如として天空快澗の紫微壇上に立つ快は、到底人間の物ではない。急峻削  
るが如き蘆谷の溪谷は、截然として直下三千尺、其谷の窮まる處は有明の碧波で、海を隔て、宇土  
半島が、大きな草石蠶のやうに横たはり、肥筑の山野が一瞬に展開される、烽火を擧つゝある阿蘇  
の頂上、瑠璃盤を盛る八代の海、數知れぬ鳥々の布置、凡てが完全無缺の天工の盆景で有る。更に  
登り登つて行くと、普賢の頂上に辿り附く。此處の眼界は更に雄大だ、北に筑紫の海を隔て、筑後  
川流域の平原や、肥前の群嶺が觀兵式參列の諸兵のやうに肩を列ね、東には熊本の本野、阿蘇の火

山嶺、東南遙かに霧島の靈峰が雲表に抽んで、頭を回らして南を望むと、天草群島の青螺を泛べたのが點在し、西に長崎の海角を隔て、雲烟一抹の處に五島列島を見る、九州の半面は實に悉く此絶頂から睥睨されるのである。

頂上には又一巨大岩柱が欹立つ、垂直線狀で高さ八間餘、其北面は常に蔭になつて居るので、十一月早く氷柱を見る位である。

鳩穴といふのは、嘗て此山が怒つて噴出した時、熔岩が逆しり出た跡だといふ、風穴も又其類で或ひは多少人工を加へたかとも思はれるが、其前に立つと、洞穴中より氷の如き冷風が吹き出で、俗人の闖入を拒むが如くである。

冬季は此山の誇として、有名な霧氷が見られる、木と言はず、岩と言はず、一種半透明なる氷の結晶が凝着し、一樣に風の吹いた方向にのみ横様に發達して、風の當らぬ方面には殆んど無いと言つてよい。遠く望めば白皚々たる積雪に封じられたやうだが、近く寄ると人造の花氷に酷似し、之が日光に映じると、燦然たる光輝を放つのが、宛がら切支丹の妖術で、全山を珠玉にしたかと思はれるばかりだ。

妙見へ登るには、普賢から約二時間位もかゝらう、舊火口に入つて、磊塊たる火山岩の上を渡り

峻嶮な岩角を攀ちて登るので、其眺望は普賢と敢て異なる處は無い。九州に遊んで雲仙に登らなければ、佛造つて魂を入れぬものである。

雲仙の山麓には、風景絶佳なる小濱温泉が有り、雲仙登攀の準備地たるは勿論、普通の療養地として、有数の海濱温泉である。

長崎本線は鳥栖驛を起點として長崎に至る、佐賀縣と長崎縣とを結ぶ幹線で、沿線には武雄、嬉野の兩温泉あり、佐賀軌道の終點近くには、肥前耶馬溪の勝がある。附近には古湯、熊の川の兩温泉が有つて、療養温泉として知られ、長崎近くにも數種の温泉が散在して、長崎人士の遊樂保養地となつて居る。今案内を記すに方つて、長崎本線の諸温泉を先にして、雲仙温泉を後にしたのは、道順に因つたもので有る。

### 熊の川温泉 (佐賀縣小城郡南山村上熊川)

長崎本線佐賀驛より西北へ四里二十五町、直通自動車の便がある。賃七十錢。

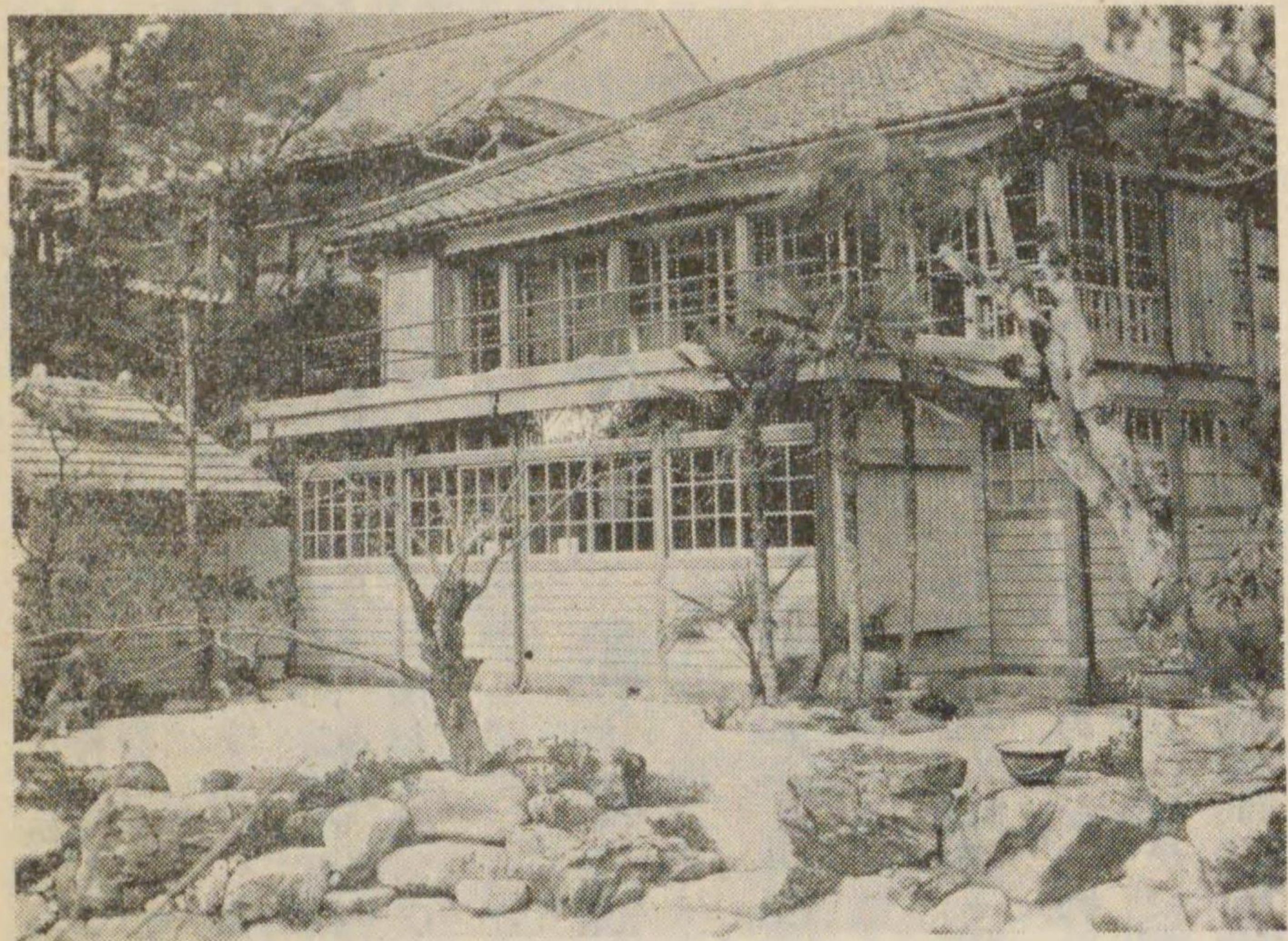
川上川の清流に臨み、峰巒に圍まれた閑靜な湯場で、僅かに四十餘戸の小部落に過ぎないが、浴

場は凡て川上川の清流に沿うた障壁に凭り、砂湯などの設備もあつて、鄙びた山の湯の気分が漂つてゐる。此温泉へ来る道々の洗煉された風光の美は、浴客の眼を樂しませるに餘りがある。佐賀から、川上に達する處、四圍の眺望はいよ／＼開けて、急湍滔々恰も白馬の走るが如き勢を以て、山峽を流れ出る川上川が、頓に洋々たる静水に急轉するのである。川に架か、つた朱塗りの長橋は、宛も虹霓の横はるが如く、橋上の展望は京の嵐山を偲ばせる。橋を渡れば淀姫神社、實相院など、佐賀縣屈指の大神名刹が左右に拜される。これより先は肥前耶馬溪の稱ある山峽で、沿道の山水は頗る明媚、溪流には奇岩怪石多く、龍宮岩、羽衣岩、辨天岩、蓬萊岩、夫婦岩、魚返り岩など、耶馬溪に優るとさへ稱されてゐる。

**泉質效能** 無色透明の單純泉でラヂウム、エマナチオンを含有し、溫度三十五度内外、毒蛇、毒蟲の咬刺傷、リウマチス、神経痛、婦人病、梅毒、皮膚病、創傷等に效く。  
**旅館・經費** 新屋、角屋、富士屋其他數軒、宿泊料一泊三食つき一圓二十錢乃至四圓見當、木賃制もある。

古湯温泉 (佐賀縣小城郡南山村古湯)

佐賀驛より五里、自動車の便あり、賃壹圓。



古湯温泉

湯場は熊の川から川上川を溯る事約一里川上、古湯、天川の三川合流する岐に當る小盆地で、四圍は悉く緑、水は飽まで清冽、土地は高燥、空氣は清澄、戸數百數十戸の部落で、熊の川よりも遙かに殷賑だ。

共同湯は鶴泉湯と英龍温泉の二つである。鶴泉湯は、孝靈天皇の御宇、北山に住む不思議な老翁が、或る夜温泉湧出の靈夢を感じて、これを此里に發見したと傳へ、英龍温泉は、戊辰の役の頃、實相院の高僧英龍僧正の發掘にかゝるので此名がある。



附近の曳杖地には、奇岩怪石の妙に富む宮の淵、清水觀音、清水の瀧、龍泉寺、天川取入口、白坂峠などがある。

泉質效能 熊の川に大略同じ。

旅館・經費 朝日屋、恵比壽屋、扇屋、大和屋等其他數軒。宿泊料は一泊三食つき一圓二十錢乃至五圓。

自炊制がある。

### 武雄温泉 (佐賀縣杵島郡武雄町)

長崎本線武雄驛下車(鳥栖、武雄間、約一時間半、賃八十五錢)驛より西方六町、自動車の便あり。賃十五錢。

古來、柄崎温泉と稱されてゐた。又町の一端に聳ゆる蓬萊山の名によりて、蓬萊泉とも云ふ。此湯の發見に對しては白鷺の故事があるが、例によつて動物の爲に先鞭を附けられた湯だ。又神功皇后が三韓御親征の途次御恙あらせられたが、偶々神童の告げによつて此湯に御入浴、日ならずして御快癒に趣むかれ、其著しき效驗を御嘉賞遊ばされたといふ口碑が有る。

湯場は蓬萊山の麓で、南には御船山の奇峰が峙つて居る。昔は此地を柄崎と稱し、城主後藤資義が浴場を設け、豊太閤名護屋在陣の時、此温泉に扶持の朱印をさへ附けられたと史に残つて居る程由緒深き温泉である。

温泉場の入口には、月宮殿や龍宮を偲ばすやうな丹壘粉壁の樓門がある。湯場は此内に有つて、上等湯、五錢湯、二錢湯、家族湯など、別々に設置され、湯町らしい情緒が漲ぎる。

武雄町はこの地方著名の遊覽地で、其位置に於ても、長崎より四時間、佐世保より一時間餘、佐賀より一時間、福岡より三時間で來る事が出来る。加ふるに湯町の諸設備は、現代式で來浴者の満足を買ふに十分であるが、遊樂的氣分が濃厚に漂うてゐる。

近時、温泉株式会社經營となつてから其面目を一新し、二錢湯、五錢湯、貸切湯に區分するなご、萬端の設備を整へた。新館は天平式の丹塗で、十錢湯、十五錢湯、上等貸切湯に區分し、階上には休憩室、食堂あり、庭園は新館の設備に準じて、四季とりくみの配合をなし、蓬萊の奇巖に直面して、秀麗なる環境を作つてゐる。然し旅館に内湯の無いのが白玉の微瑕だ。

附近には蓬萊山を中心とした櫻山公園の勝地を始めとして、御船山があり、萩の尾公園の藤、八疊敷の大楠など名高い。仲哀天皇、神功皇后、應神天皇、武雄心命、武内宿禰を祀れる武雄神社、

爲朝大蛇退治の傳説ある黒髮山、歌垣山として知られた杵島山等名勝史蹟が多い。

尙十月二十三日に行はれる騎射の祭は、壯觀で勇壯を極めたものである。

名産土産物 有田焼、柿右衛門焼等。

泉質效能 新湯、舊湯共に無色清澄の單純溫泉で、弱アルカリ性反應を呈し、泉源温度、新湯は四十五

度六、舊湯は四十八度三を示す。東京衛生試験所の定量分析表によると、含有成分左の如し。

(新湯)

クロールカリウム	〇、〇〇六一	クロールナトリウム	〇、一三九三
硫酸ナトリウム	〇、〇〇三八	重炭酸ナトリウム	〇、四一八二
炭酸ナトリウム	〇、一〇七三	クロールアムモニウム	〇、〇〇〇九
炭酸カルチウム	〇、〇〇三〇	水酸化カルチウム	〇、〇〇四八
水酸化マグネシウム	〇、〇〇〇九	重炭酸亞酸化鐵	〇、〇〇〇六
磷酸アルミニウム	〇、〇〇〇一	硼酸(メタ)	〇、〇〇九九
硅酸(メタ)	〇、〇五九一		

胃腸の慢性疾患、肝臓病、痔疾、便秘、呼吸器病、膀胱及尿道カタル、子宮病、リウマチス等によい。

旅館・經費 東京屋、角樹、東洋館、春慶屋、中樹、三國屋その他十數軒。宿泊料は旅館により一定し

ないが、一泊二圓より五圓位の範圍、二三流の旅館には木賃制がある。

### 嬉野温泉 (佐賀縣藤津郡嬉野町)

長崎本線武雄驛から南へ三里十二町、自動車の便がある。▼同線彼杵驛より東北へ三里餘、自動車、賃六十錢。

東には唐泉の翠巒、西には虚空藏嶽の秀峰が天空に聳え、嬉野川は町の中央を流れて居る、所謂山紫水明の境地である。地名の起原については口碑の傳ふところによると、神功皇后三韓御征伐の御歸途、一羽の白鶴飛び來りて川原に下り立ち、泉に脚を浸すこと暫時、聽て羽搏き鋭く飛び去れるを眺めさせられ、試みに將士をして浴さしめ給うた所、傷つけるものは忽ち癒え、勞れたるものは直ちに恢復するので、皇后これを齋なはせられ「アナ嬉乎」と仰せられた、其嬉しやに嬉野の字を充て、夫が又「うれしの」となつて呼ばれたのだといふ事だ。

共同湯は嬉野温泉株式會社の經營で、町の中央に位し、嬉野河畔にあるゴシック式の建物である。浴場は鶴湯、龜湯、竝に四個の貸切湯に分れて、各浴槽共打せ湯の設備がある。屋上の展望臺からは、嬉野一圓の眺望を擅にする事が出来る。

本館より嬉野川に沿うて三町程下ると、簡素な新湯がある。一號湯、二號湯、三號湯に分れ、塵界を離れて静かな温泉氣分に浸る事が出来る。湯町の西端、稍小高き所に、新温泉の元湯温泉が一廓を造つて居る。こゝは五錢湯、三錢湯、貸切湯に分れ、其附近に數軒の旅館がある。温泉に程近く、太寧山瑞光寺、豊玉姫神社がある。温泉公園には温泉薬師如來の祠があるし、園内には一面に櫻樹を植ゑ、櫻花の綻る候は、路上花のトンネルをなして一段の趣がある。温泉場の東に東公園、西に西公園があり、東公園の小丘の頂に金毘羅宮が鎮座する。河岸の青樓よりは、さんざめく絃歌の嬌聲が流れて、湯町情緒を表はしてゐる。温泉場より上流には三層の瀧、轟の瀧がある。烏帽子岩附近と下流の小草野の長堤は、螢の名所として名高い。

おのが火を木々の螢や花の宿

の芭蕉の句が思ひ出される。名物には嬉野豆腐がある。

木の芽香る茶摘みの頃は、茶摘唄處在から聞えて、床しい田園情緒を味ふ事が出来る。

嬉野茶どころ茶は縁どころ

お茶の仕出しが縁となる

茶山もどりのあの菅笠の

どれが姉やら妹やら

二度と持つまいお茶摘み馴染

廿日あまりで泣き別れ

泉質效能 食鹽含有アルカリ性炭酸泉で、泉源温度九十二度を示し、定量分析表によると、含有成分左

の如し。

重炭酸ナトリウム	一、〇〇八六	炭酸ナトリウム	〇、一八四三
クロールナトリウム	〇、三八四二	クロールカリウム	〇、〇六九九
重炭酸カリウム	〇、〇四八九	硅酸	〇、一三〇三
アムモニア(痕跡)	重炭酸マグネシウム(僅微)	硼酸ナトリウム(僅量)	重炭酸亞酸化鐵(痕跡)
重炭酸亞酸化マンガン(痕跡)	磷酸ナトリウム(痕跡)	硫酸アルミニウム(痕跡)	硫化水素(痕跡)
有機物(痕跡)			

内用は胃腸諸病、慢性咽喉及氣管支カタル、貧血によく、浴用は慢性リウマチス、各種神経痛、慢性婦人病、諸種の麻痺症、腺病質、皮膚病等に特效がある。

旅館・經費 大村屋、和多屋、龜屋、富士屋、鶴屋、玉屋(何れも内湯あり)その他十數軒あり、宿泊料

一等旅館で一泊二圓乃至五圓、二等旅館で一圓乃至三圓、中食料は宿泊料の半額である、この外三食つき八十錢乃至三圓と云ふのもある。

### 田ノ平鑛泉

(長崎縣東彼杵郡大村町田ノ平)

長崎本線大村驛より東方約四町、自動車、俵の便がある。

一名大村鑛泉とも云ふ。地は大村町より東北に當る内田川の中流、多良火山脈の代表たる多良嶽の西麓に位し、頗る閑靜の地である。旅館常盤は、浴場と料理を兼營してゐる。泉質は含鐵炭酸泉で、貧血、胃加答兒、神經痛、痔疾、リウマチス、切創、病後の恢復期等によく、宿泊料は一泊一圓五十錢乃至五圓位で、外に自炊制もある。

名産 大村灣より眞珠の産あり。

尙大村町與崎には最近發見された與崎鑛泉がある。炭酸カルチウム泉で、胃腸病、皮膚病に特效がある。

### 丸田鑛泉

(長崎縣西彼杵郡長與村丸田)

長崎本線長與驛より北へ約十町、俵の便あり。

大村灣の南岸に近く、長與川流域の小平野の東端で、長與連崗の直下にある、背後の連山には、所々に火山岩の奇石峙ち、翠松其間を點綴して、風光極めて佳い。山頂は一面の草地で、眺望展け、西方時津の町より北方に擴る大村灣を、一眸の裡に收むる事が出来る。

名産土産物 蜜柑。

泉質效能 收斂性のある含鐵炭酸泉に屬し、胃腸病、貧血、火傷、子宮病に效く。

旅館・經費 湯元家旅館(内湯あり) 宿泊料は一泊一圓乃至三圓位、自炊制、伺ひ制もある。

### 清水鑛泉

長崎縣西彼杵郡長與村三根郷にあり。長與驛より東方約二十七町、長與川の支流、洗切川に沿ふ盆地にある。泉源地は約三町上流の第三紀砂岩層の裂罅で、泉質は無色透明のアルカリ性炭酸泉、皮膚病一切、切傷、火傷、痔疾、リウマチス、消化不良、婦人病、神經痛等に效く。旅館は清水旅館、内湯を設けてゐる。宿泊料は一日三食附一圓

三十錢位  
蜜柑。

### 道之尾鑛泉

(長崎縣西彼杵郡長與村道の尾)

長崎本線道ノ尾驛下車、東へ六町。

道之尾平野の中央、樹木鬱蒼たる丘陵の麓から湧出するラヂウム含有泉で、リウマチス、痛風、痔疾、皮膚病、婦人病、火傷に特效がある。旅館萬象園は、旅館部と自炊部とに分ち、浴槽は五錢湯、十錢湯、貸切湯(一圓)に區別されてゐる。背後の丘の頂上には躑躅園があつて、眺望開豁、長崎港の出船入船を一眸の裡に收める事が出来る。名物には蓮飯の珍味がある。

### 入船鑛泉

(長崎縣西彼杵郡時津村)

道ノ尾驛より北へ一里半、自動車賃二十錢。▼長崎市より三里、直通自動車あり、賃三十錢。

大村灣の海濱にある。夏は此處に海水浴場が開かれる。此地は長崎人士の遊樂地として有名になつた。泉質は含鐵食鹽泉で、浴用加熱、胃腸病、皮膚病、切傷、リウマチス、神經痛、痔疾、脚氣婦人病、火傷に效く。旅館翠江園、宿泊料は一泊三圓以上。

### 小濱溫泉

(長崎縣南高來郡小濱町)

長崎本線諫早驛で島原鐵道に乗換へ、愛野村驛に至り、更に溫泉鐵道、小濱鐵道を経て終點筑前小濱驛下車(諫早、筑前小濱間合計九十一錢)驛より溫泉場まで自動車の便あり。▼長崎市より茂木港まで二里の間自動車、賃七十錢。茂木港より小濱まで海路によるコースもある。賃三等一圓、二等一等は各五十錢増し。

小濱は雲仙ヶ嶽の西麓にある溫泉場で、背後に雲仙の秀峰が聳え、前面には紺青に染め成せる千石灘を控へてゐる。湯場は、此の風光の中にあつて、濛々たる湯煙を立てる海濱溫泉である。旅館は多く波打際に櫛比して、三層、四層の高樓が少くない。旅館の階上から紺碧の千々石灘を

超して、長崎の茂木港を望む事が出来る。寄せては返す波の音は、或は高く、或は低く、枕頭に迫つて天樂を聞くが如く、得も云へぬ爽快な氣分を味ふ事が出来る。長崎方面から此地を指して避暑に来る外人が多い。彼等は、美しい此海上より、雲仙の秀峰を仰ぎ湯煙立つ瓦葺櫛比の街を見て、『南歐のナポリに行つた様だ』と激賞すると云ふ。

小濱湯の町、湯のよい所、秋はサルバの山から里へ、湯氣の白雲湯町をこめて、春は花咲き小波はよせて、紅そめて錦を着せて、湯姫美し片頬のそくぼ、髪のはつれも温かや、沖のかもめも色香に迷ふ、いざ打連れてもろともに、夏はなほさら海水浴に、月に一しほ風情あり、さらばいそが湯の町へ、松の木蔭の青嵐、さては浮世の冬ともならば、小濱は四季のパラダイス、肌を涼しき白波や、山の緑のほかに包む、

本湯、新湯、天徳湯、明治湯、常磐湯、入徳湯、噴騰湯、間歇湯の八温泉は、埋立地の海岸にあつて、多くは鑿井によつて高く噴騰させてゐるが、海岸から數町の沖合にも自然に湧出する所がある。共同湯は四個所に分れて、十錢湯、五錢湯、三錢湯、一錢湯と稱し、更らに家族本位の特別湯がある。洋式の大浴槽で、新式の設備を有し、別名を『家族湯』とも呼んで居る。

湯町の北方十町、松青き渚に白沙長く布く遠淺の海は、夏季海水浴で賑ふ。小濱より西南五里、有馬村には、寛永年間、徳川幕府の切支丹禁制に端を發した天草の亂に、天草四郎時貞が三萬の教徒を率ゐて據つたといふ原の城趾がある。城趾は海岸の斷崖に枕んだ小丘上にあり、今は悉く田圃と化して農夫の耕作に委せ、唯礎石の僅かに其昔を偲ばしめるばかりである。そこまでは自動車で約一時間の行程である。其の途中小濱より加津佐へかけて、海岸の風景は、美しき島原半島中の更に白眉なものである。小濱神社、光原寺、富澤辨天などの名所までは、大した遠距離ではない。此處より雲仙までは約三里二十一町といはれてゐる。

名物土産物

泉質效能

クロールナトリウム	五、四三二六	硫酸カルチウム	〇、四六九九
クロールカルチウム	一、一五七八	クロールマグネシウム	〇、九〇九七
クロールカリウム	〇、三九八五	鐵及礬土	〇、〇〇五五
硅酸	〇、二二〇〇	アムモニア	痕跡
磷酸	痕跡		

效能は消化器病、氣管支カタル、神經衰弱、神經痛、リウマチス、痛風等。

旅館・經費 一角樓ホテル（和洋兩式）宿泊料洋式五圓五十錢以上、和式四圓以上、伊勢屋、柳川屋、角屋、葛屋、濱松屋、高砂屋、岩田屋、吉田屋等其他大小四十餘軒、宿泊料三圓乃至五圓見當。木賃制によれば室料一日一圓乃至二圓、寢具其他一日三十錢乃至一圓。

### 雲仙温泉

（長崎縣南高來郡小濱町温泉）

小濱温泉より三里二十一町、自動車の便あり、賃一圓五十錢。▲熊本方面よりは海路によるがよい。三角港より島原に至り、それより約六里、自動車賃一圓五十錢。

雲仙ヶ嶽は眺望絶佳、自然の美を極め、一帯の風光は千種萬態變化極めて多く、展望の雄大なる、他に多く其比を見ない。慈母の如き有明の海はゆるく其手を伸べて、恰も愛子の如く軽く其内懐に抱擁して居る。山容の秀麗は九州富士の別名あるに見ても知られる。

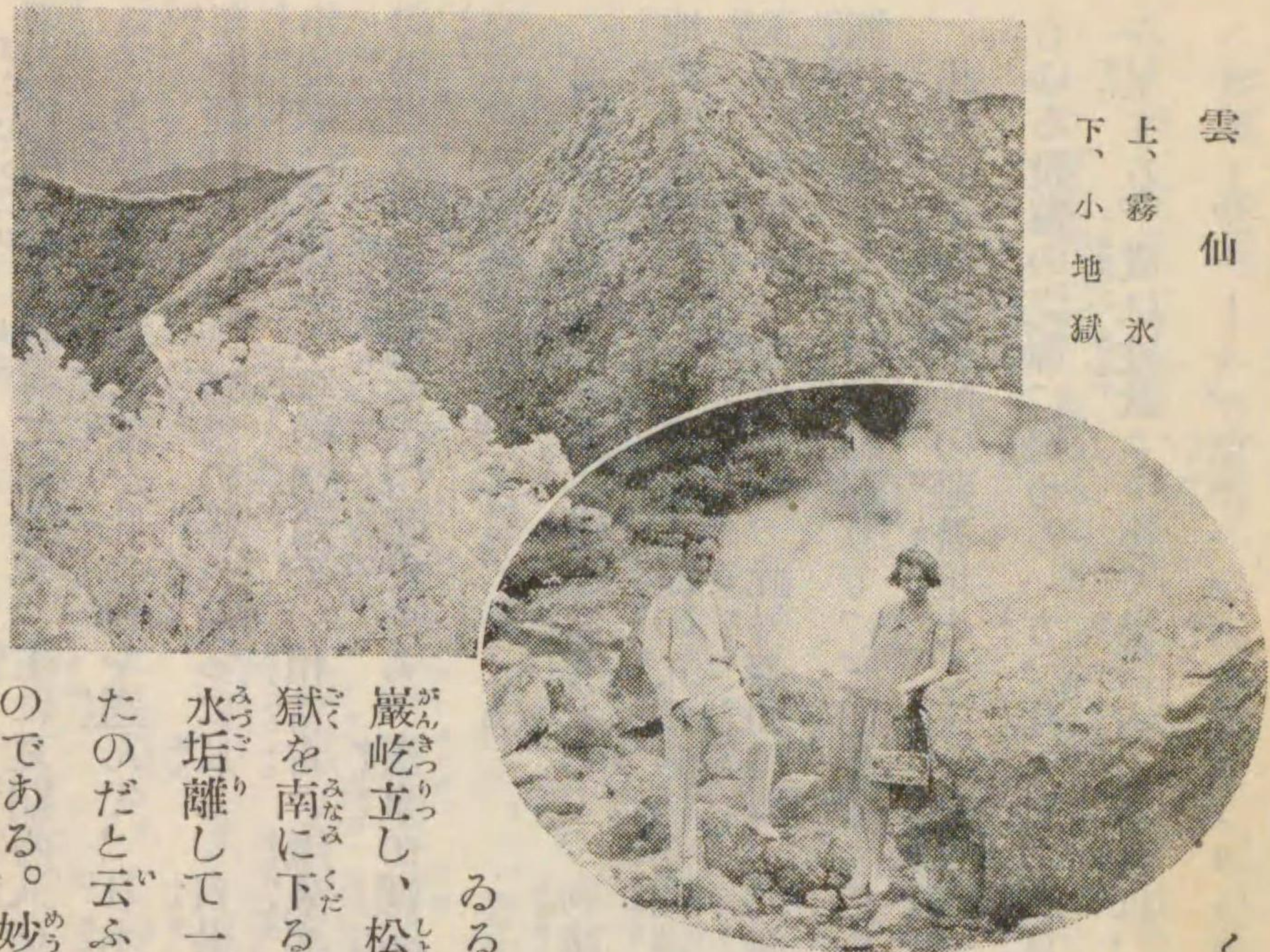
温泉は、この西側の山腹、海拔七〇〇米（凡二、三〇〇尺）の地、即ち矢嶽と絹笠山との間の、舊噴火口の跡に沸々として湧出している。この邊りは緑樹鬱蒼として、幽草珍卉其間を彩り、風光頗る佳麗である。温泉は新湯、古湯、小地獄の三個所に分れてゐる。新湯は雲仙の中心地で、あらゆ

る近代的設備を整へてゐるが、主に夏期外人の避暑客を迎ふる爲、其環境はすべてが外人向である。古湯は昔行基菩薩が此の地を選んで、日本山満明寺といふ一寺を開基したに創まり、千二百餘年を経たといふ。新湯の洋式なるに反し、古湯は純日本式で其対象は一種異様な感を抱かしめる。小地獄は享保十六年の創始で、相當古い温泉場である。浴場裏手の地獄が所謂小地獄で、共同浴場の湯壺は、獨創的な大浴場である。温泉の湧出量最も豊富で、滔々落下する三條の湯瀧は浴客を喜ばせる設備である。

地獄谷附近は到る處に噴煙濛々として、物凄く水蒸氣孔、硫氣孔、泥火山などの噴氣孔がある。地獄は其數三十一、音なく煙の立つのは立間地獄、轟々として地軸凄まじく揺るゝは叫喚地獄、湯玉の二つ竝ぶは兄弟地獄、此外無間地獄、八幡地獄等、それぞれの名稱が附けられてゐる。是等を探訪するのが所謂地獄巡りで、三四十分も費やせば一巡することが出来る。

此所は今や世界的の避暑地として、將又天然の一大公園として、既に世に紹介されて居る上にあらゆる設備の完備に努める一方、此天與の温泉に恵まれてゐるから、温泉季節には殊の外の賑はひを呈する。或は絃歌さゞめく湯の宿もあれば、オーケストラに賑ふダンスホールもある。或はテニスコート、プール、東洋一を誇るゴルフリンクなど、スポーツ方面の設備もある。毎年夏季には遠

雲仙  
上、霧水  
下、小地獄



く上海、香港、馬尼刺あたりから外人の來遊する者多  
く、彼等は此處を東洋のバラダイスと稱してゐる。  
温泉場から頂上までは約一里半、公園には温  
泉神社があり、諾冊二神の御子五柱の神を祀つて  
ゐる。山手の方へ約十町も行けば廣い芝生の平野  
がある。これが池ノ原のゴルフリンクだ。  
尙下の事數町で加治川の流れに出る。溪流巨巖  
の脚を洗うて奔流し、下流には稚兒落し瀧を作つて  
ゐる。落下百尺、亦壯快の極みである。瀑の周圍には巨  
巖屹立し、松柏之を蔽ひ、頗る莊嚴崇靈の觀を呈してゐる。小地  
獄を南に下る七町の所にある一切經の瀧は、昔行基菩薩が此瀧に  
水垢離して一切經を誦する事一百日、祈願成りて満明寺を開基し  
たのだと云ふ由緒ある瀧で、今に傳はる觀音は、當時安置したも  
のである。妙見嶽の中腹を迂迴し、雜木生ひ茂つて晝尙暗い山逕

を辿り、更らに峻坂を攀ち或は岩石を這ひ上り、或は樹の根に縋つて、漸くにして山頂に達すると  
山上は天空開豁、眼界一點の遮るものなく、島原半島を脚下にして、九州の諸山を睥睨する、其雄  
大なる山水の眺望と、廣漠たる自然の風光とは、確かに登攀者の疲れを醫し、涸渴の苦しみを一掃  
するに十分である。普賢、妙見の峽谷には楓樹多く、晩秋になると山といふ山は悉く紅葉に包ま  
れて、全山全く紅に封ぜられ、遠く大村灣、有明灣、千々石の海上から遙かに五彩の丹青を望む  
事が出来る。躑躅の候は、これ又天下に其比儔を見ぬ絶佳な眺めで既に人口に膾炙してゐる。  
「わたしや雲仙、瓔珞躑躅、里に下れば根はつかぬ……」  
と唄はれてゐるが、全山濃紫、淡紅、雪白と、色も鮮かに燃え出でて咲き競ふ。初夏を飾る卵の  
花の純白、雪とも紛ふ美しさ、偕は名物のいぬつけの綠林、冬は又霧氷の奇觀が春の躑躅、秋の紅  
葉にも劣らぬ眺めである。

名物土産物 蜂蜜、葛のステッキ、紅葉羊羹、湯煎餅、氷豆腐、湯の花。

泉質效能 微に白濁し、僅かに酸味を有する硫黄泉で、明礬を多量に含有するから、此湯に浸ると、皮

膚がギシ／＼する。泉源温度五十六度、分析表は、

硫酸カリウム

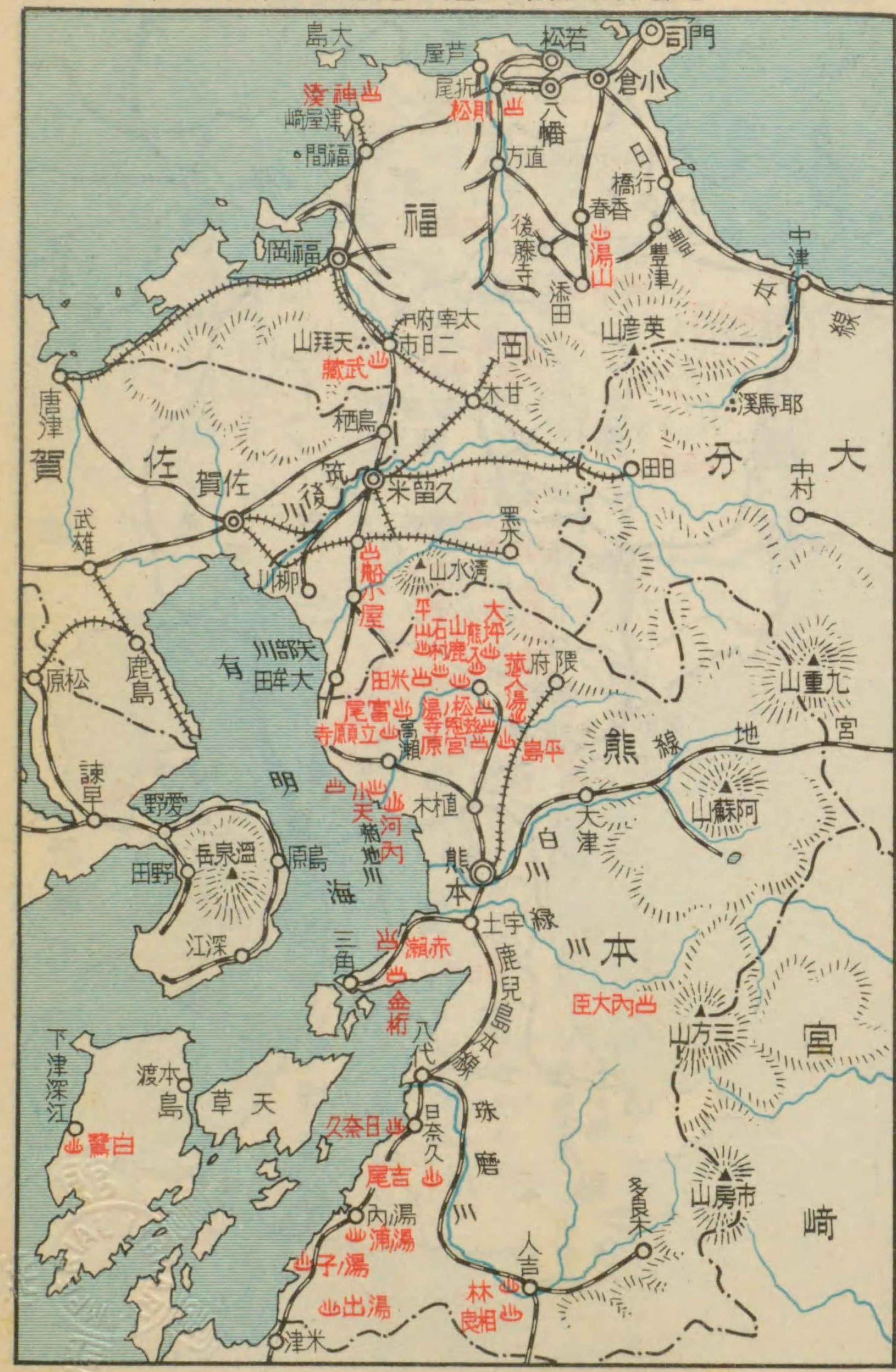
〇、〇一五三

硫酸ナトリウム

〇、〇五七二



(一の其) 鹿兒島本線に沿ふ諸温泉



硫酸アルミニウム	〇、〇二八一	硫酸カルチウム	〇、〇七二七
硫酸亞酸化鐵	〇、〇一四九	硫酸マグネシウム	痕 跡
硅 酸	〇、一・二〇	遊離硫酸	〇、一・七六
遊離鹽酸	痕 跡	磷 酸	痕 跡
アムモニア	痕 跡		

效能は腦病、神經痛、脚氣、花柳病、皮膚病等。

旅館・經費

洋式……(新湯)九州ホテル、雲仙ホテル、新湯ホテル、有明ホテル、緑屋ホテル、高來ホテル、日の出ホテル。宿泊料一日一人室料五圓五十錢乃至十二圓、二人室十圓乃至二十三圓、湯錢毎回三十錢。

日本式……(古湯)湯元、加勢屋、泉屋、萬屋、上田屋、喜久屋、福島屋、氷屋、筑紫館、絹笠館、富貴屋。

(新湯)富貴屋、上田屋、勇屋、若松屋、宮崎館。(小地獄)榊屋、寶屋、徳島屋、丸登屋、大和屋、宿泊料概ね一泊二圓乃至三圓、木賃制もある。この他新湯ホテル、有明ホテルには日本室もある。

湯の烟御山は月の朧なる

雲仙温泉

笹川臨風

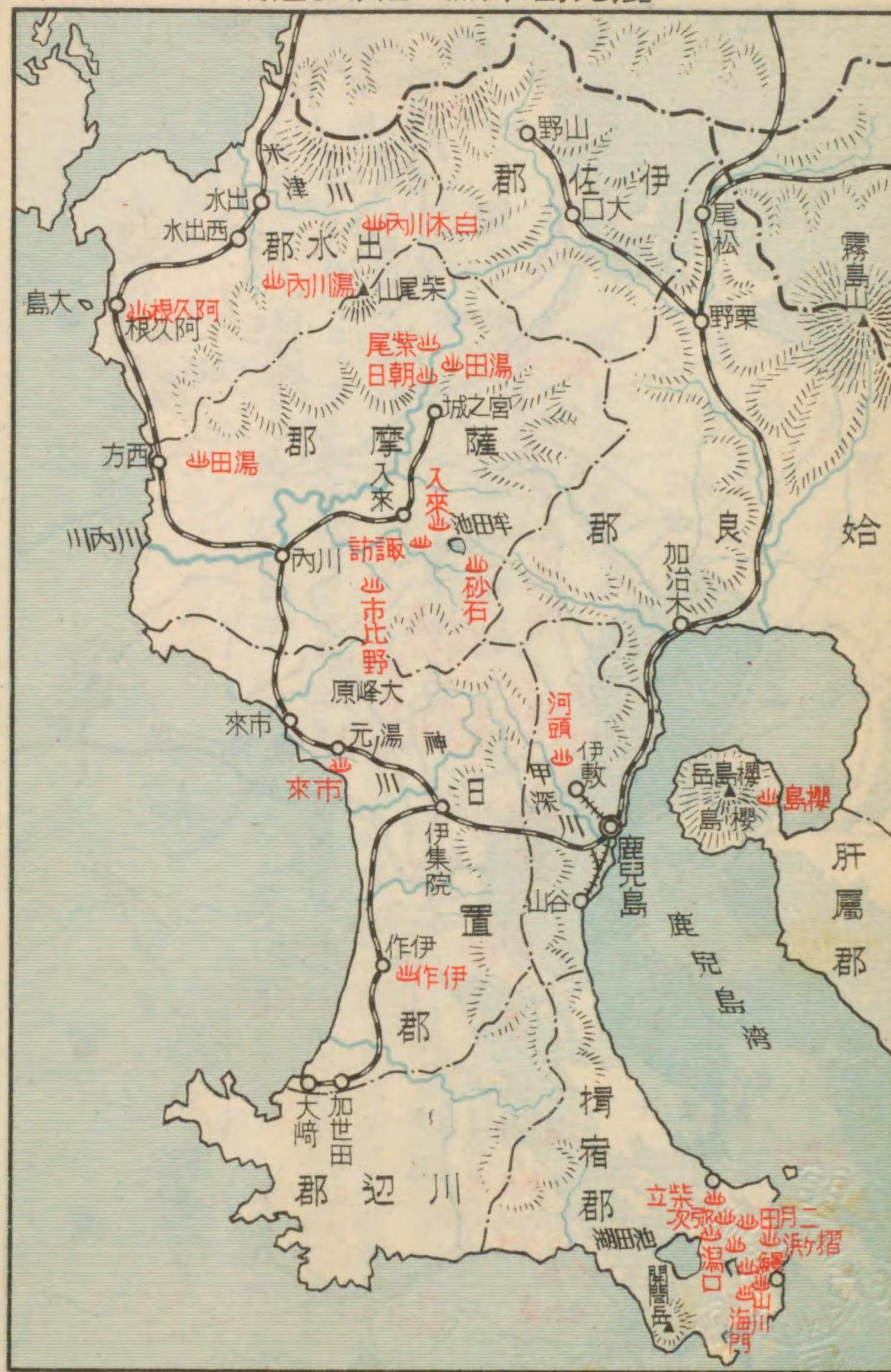
鹿兒島本線は、門司を起點として久留米、熊本、八代を経て海岸線に沿うて鹿兒島市に至る九州縦斷の鐵道である。その沿線、熊本市以北には武藏、立願寺、船小屋、山鹿などの諸溫泉があり、八代より南下するに従つて、次第にその數を増し、小別府の稱ある日奈久を始めとして、附近には溫泉冷泉が到る處に湧出し、一大溫泉群をなしてゐる。八代より分岐する肥薩線には、球磨川下りを以て知られた人吉在の林溫泉などがあり、この地方は九州中でも可なり溫泉に恵まれてゐる地方である。

鹿兒島全線に沿ふ諸溫泉を一括して記述するのは、餘り廣汎に互る關係から、便宜上これを二つに區分して、門司より熊本縣を限界としたもの、即ち水俣迄及肥薩線人吉迄を其一とし、水俣より鹿兒島市に至るまでを其二として述べる事にした。

### 鹿兒島本線に沿うて

#### その一

(二の其) 泉温諸ふ沿に線本島兒鹿



則松温泉 (福岡縣遠賀郡折尾町則松)

鹿兒島本線折尾驛下車、驛より東南十町自動車の便あり。賃十錢。  
洞海湾に注ぐ堀川の邊りにあり、四周は田圃と山林に圍まれた靜寂な地である。  
泉質效能 硫黄泉で、浴用加熱、慢性皮膚病、火傷、婦人病、慢性リウマチス、神経痛、濕性咽喉カタル、氣管支カタル等に特效がある。  
旅館・經費 松屋、藤原屋、宿泊料一泊三食附で一圓五十錢乃至二圓五十錢見當、自炊制も有る。入湯賄によれば一日一圓見當で滞在が出来る。

神の湊温泉 (福岡縣宗像郡神湊町)

鹿兒島本線東郷驛より西北二里餘、同赤間驛よりは約三里、何れも自動車の便が有る。賃各四十五錢。  
此處は玄海灘に臨んで風光繪の如く、夏季は海水浴場が開かれる。附近には宗像宮地嶽神社がある。

泉質效能 弱アルカリ性鹽類泉で、浴用加熱、婦人病及皮膚病等に特效が有る。  
旅館・經費 泉旅館、一泊三食附一圓五十錢乃至二圓五十錢、入湯料一回四錢。

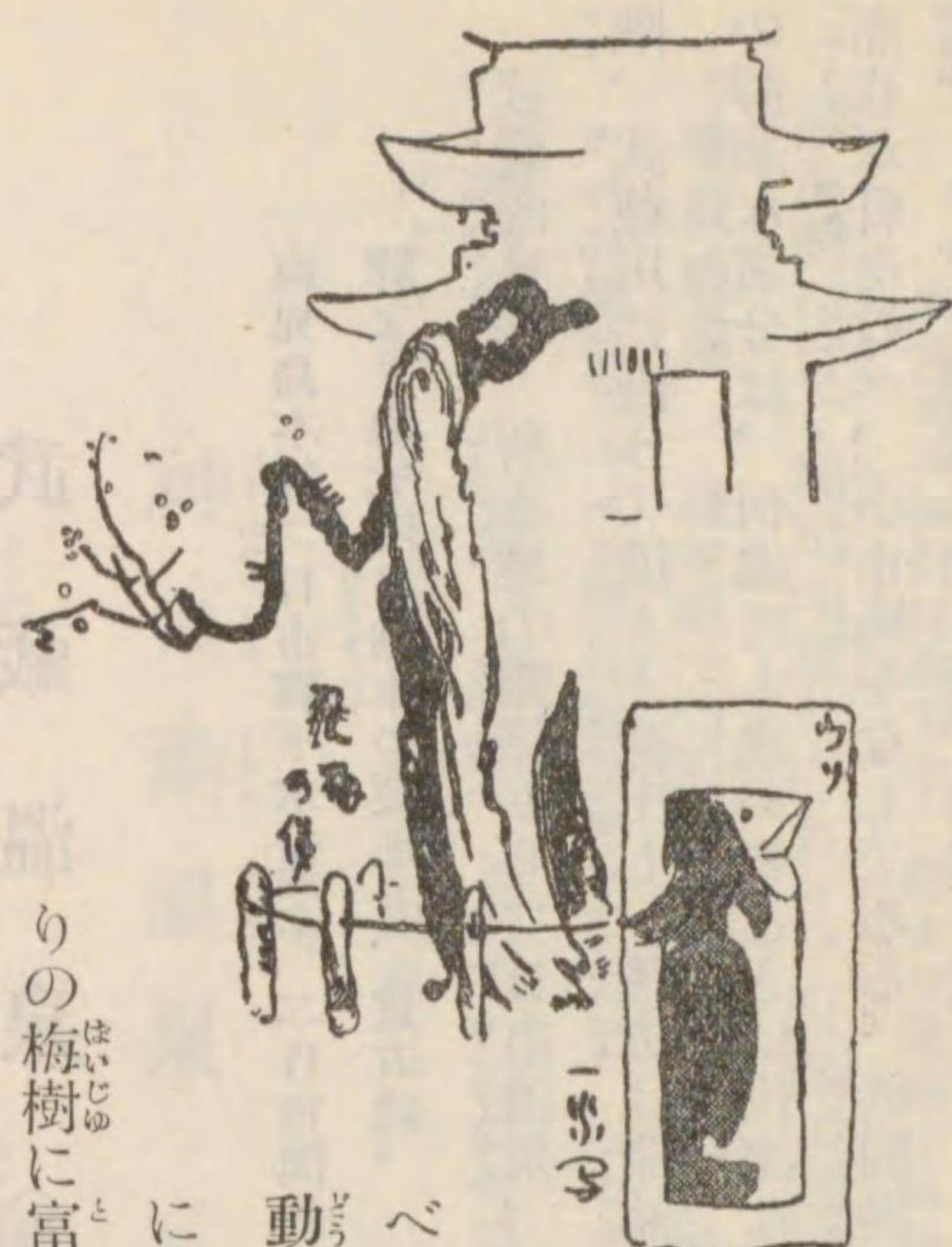
武藏温泉 (福岡縣筑紫郡二日市町武藏)

鹿兒島本線二日市驛下車(博多、二日市間約二十分、賃二十五錢。▼久留米より約五十分、賃三十五錢)驛より約五町自動車の便あり、賃五錢。

武藏温泉は、所在地の關係から二日市温泉、又は湯町温泉とも呼ばれてゐる。湯は筑紫平野の一隅、武藏川に沿つて滾々と湧出し、後方は開豁な田圃が碁盤目に連つてゐる。従つて落附いた谿谷の靜寂な氣分は、何處にも求めることは出来ない。清いせゝらぎの武藏川を挾んで、大小の旅舎や商店が軒を並べ、小市街をなしてゐる。共同湯には御前湯、博多湯、藥師湯、川湯などがある。此川湯は地下一丈餘も深い處に浴槽を設けてあるので、慣れない者は多少奇異の感を持つかも知れない、穴の中へ入つて行くやうな氣がするからだ。旅館には夫々内湯の設備があつて、料理兼業であるから、常に脂粉の香と不斷の絃歌が漂ふ。従つて此處は療養専門の湯治場ではなく、福岡、久留

米等の都人士の遊樂地である。然も此處は菅公流滴の地で、其遺跡にも富んでゐるのに、遊蕩的氣分も相當に濃厚だと聞かされては、一寸案外な氣がする。菅公が天に禱つたといふ天拜山（湯町の西南方）は旅館の窓近く、頂上の一木松も指呼することが出来る。樹下に小祠がある。其處が天拜の跡だと云ひ傳へる。山麓には菅公が齋戒沐浴したといふ龍王の瀧が、水晶簾を翻へして直下する。附近武藏公園と共に浴後の好散策地である。

此地に遊ぶ者は先づ第一に太宰府神社に參拜すべきた。社殿は湯町から僅か東北に三十町（電車、自動車の便あり）寶滿寺の麓にあつて、特別保護建築物に指定されてゐる。境内には樟の大樹多く、又お定まりの梅樹に富み、社殿近くには菅公遺愛の飛梅がある。



東風吹かば香おこせよ梅の花

主なしとて春な忘れそ

の歌も思ひ出でらる。此處から六町の所にある觀世音は、菅公の『觀音寺唯聽鐘聲』の詩に名高

い。仙崖和尚の歌に、

荒はてし西の都に来て見れば

觀世音寺の入相の鐘

此の外、都府樓の古跡、水城の跡など、一時間もかゝらないで探訪する事が出来る。近時郊外急行電車の沿線には、ゴルフ場、運動競技場等も出來た。菅公の遺跡にも、慙うした近代的設備をして客を引く世の中とはなつたのだ。

泉質效能

無色透明の含硫合鹽泉で、ラヂウムを含有してゐる。分析表によると、

クロールナトリウム	〇、六八二	クロールカリウム	〇、〇一三
重炭酸カリウム	〇、〇二五	重炭酸カルチウム	〇、〇二九
重炭酸マグネシウム	〇、〇二七	硫酸カルチウム	〇、〇二五

效能は皮膚病一切、火傷、リウマチス、婦人病、春髓病に特效があるとの事だ。

旅館・經費 大丸館、延壽館、糶屋、鶴屋、海玉館、筑紫館、港屋、朝日屋、武藏館、博多屋、丸丈その他（何れも内湯あり）宿泊料は一定してゐないが、大體一泊一圓五十錢乃至五圓位。

### 湯山温泉

(福岡縣田川郡勾金村湯山)

日豊本線行橋驛より分岐する田川線によつて、香春驛で下車、それより北方約十七町、自動車の便がある。▼小倉鐵道によれば上香春驛下車、それより約七町。

福岡縣田川郡の東端に位し、東より北部にかけて大阪山、障子ヶ嶽の連山を負ひ、西北に香春岳牛斬山を望み、人間の生活に喘ぐ煤煙を絶つた所で、清瀬川の清流を控へて爽快な眺望である。

#### 泉質效能

炭酸泉で、神経系諸病、胃腸病、呼吸器病、皮膚病、心臟病に特效が有る。

#### 旅館・經費

湯山館、宿泊料二圓五十錢以上五圓、自炊制もある。

### 船小屋鑛泉

(福岡縣八女郡水田村)

鹿兒島本線船小屋驛下車、驛の東南八町、自動車の便あり、賃十錢。

町は矢部川と松永川の合流する形勝を占め、川の兩岸には樹木が鬱蒼として茂る、所謂水郷の湯

町である。町の大部分は旅館で占め、二階三階が軒を並べて、矢部川の本支流に臨み、潺湲たる音に疲れた耳を洗ふ事が出来る。浴舎の欄に凭つて見渡すと、近くは竹樹の景を見るを得べく、八女の諸山の外、遠く雲仙、多良の諸山をも望む事が出来る。

浴場は上等湯と下等湯に分け、上等湯は其眺望と設備に於て優れ、下等湯は衛生設備に於て前者を凌いで居るから面白い。湧出源は第一號より第三號に至る三個所で、其中第一號は、湧出量最も多く、底深い洞奥は絶えず轟々として、遠雷の如く、湯珠を跳らして湧き返つてゐる。昔は之を雀の地獄と稱して懼れられてゐたと云ふ。

此地は相當脂粉の香の濃厚な所で、旅館中、料理を兼業するもの多く、夜などは目覺めたやうに絃歌の聲が嬌冶にさゞめく。

舊曆土用の丑の日には、一日が千日の湯治に當ると稱され、各湯場は頗る賑ふのだ。

夫にも増して此地の一番賑ふのは螢の頃である。この季節には久留米、佐賀、福岡、熊本などの遠方からも、好事の人々が集まつて、三味線太鼓で囃し立て、櫻花に集ふ酔客の浮かれ方を其儘の賑ひであるから、反つて螢が光を潜める位だ。

附近の曳杖地としては、清水山の觀世音、日向神社の勝地がある。夏季は矢部川の鮎漁も入浴が

てらの一興で、船内で釣立ての鮎の背越や鹽焼の珍味に、舌鼓を打つ事が出来る。

泉質效能

無色透明の含鐵炭酸泉で、浴用加熱、胃腸病、神經痛、リウマチス、婦人病等に特效がある。

旅館・經費

樋口軒、玉振館（以上内湯あり）凌雲館、竹水館、大正館、第二大正館、吉野屋は一二流どころで以下三十餘軒、宿泊料は何れも三食附で、大體、一等旅館二圓乃至五圓見當、二等旅館で一圓乃至三圓見當、此他に木賃制もある。

立願寺温泉

（熊本縣玉名郡彌富村立願寺）

鹿兒島本線高瀬驛下車（熊本、高瀬間約四十分、賃四十五錢。▼博多から約三時間半、賃一圓四十錢）驛より北々東へ二十町、自動車の便あり、賃十錢。

石貫川の左岸、高津原の南にある温泉場だ。

北に牟田及小代山を負ひ、青葉によく、清風によき地である。此地は明治十年西南戦役の砌、總督有栖川宮殿下の本營を置かれた處で、有名な田原坂の戦蹟は此處から約二里半である。

田原懷古

田原一望秋將老

新戰場荒草木摧

忽見村童三兩四

砂中拾得彈丸來一

の七絶は乃木將軍の吟懷である。其附近には廣福寺の古刹がある。

西南島原海峽を距て、遙かに雲仙の秀峰を仰ぎ、東南の小丘を越ゆれば、富尾温泉に出ること出来る。

泉質效能

アルカリ性含鹽泉で、泉温四十度乃至四十三度で、皮膚病、脚氣、關節炎、神經痛、リウマチス、胃腸病等に効く。

旅館・經費

紅葉館、玉榮館、壽館、彌富館、（何れも内湯あり）宿泊料一泊一圓五十錢以上四圓位、中食料は大體宿泊料の半額。

不二館、古湯、丸湯、新古館は自炊を主とし、一日の滞在費概算五十錢位より一圓五十錢位まで、外に間賃の便もある。

富尾温泉

熊本縣玉名郡石貫村富尾にあり。立願寺温泉とは小丘を距てた地、泉質は

單純泉で、皮膚病一切、神經痛、リウマチス、胃腸病、婦人病に特效がある。

旅館、幸運館、宿泊料一泊一圓五十錢乃至三圓位。

### 小天温泉

(熊本縣玉名郡小天村)

鹿兒島本線高瀬驛より南へ三里半、自動車の便あり、賃五十錢。▼同熊本驛よりは西北約五里、自動車の便あり、賃六十錢。

小天温泉は一名濱屋温泉とも云ふ。此地烟波十里の西方遙に、雲仙の靈峰を天際に仰ぎ、南方宇土半島、天草諸島を青螺の如くに望み、視野廣く且つ清らかである。西南の役に有名な小天浦も程近く、夏目漱石氏の「草枕」中の峠の茶屋は、小天峠の途中にある。現今の温泉場は昭和二年の大潮害を蒙り、未だ復舊に至らず、設備は不完全である。併し尙農家の保養地として多少の客を吞吐して居る。尙附近に有明鑛泉がある。泉質效能總べて小天温泉と同じ。名物には小天蜜柑がある。甘味多漿の名果だが、産額が餘り多くないから、廣く輸出するに至らぬは残念である。

#### 泉質效能

無色透明の鹽類泉で、多量の硼酸を含有して居る。浴用加熱、皮膚病に特效がある。胃腸病、肝臟充血、神經痛、咽喉カタル、氣管支カタル、婦人病、リウマチスにも能く效く。

#### 旅館・經費

濱屋旅館、宿泊料一日三食つき一圓乃至二圓見當。

### 河内温泉

(熊本縣飽託郡河内村)

鹿兒島本線熊本驛より西方約四里、自動車の便あり、賃四十錢。

有明の海に突出せる丘陵よりなる小半島の麓から湧出る。西は渺茫たる有明灣を隔て、雲仙と相對し、後には金峰の連山巍峨として聳え、氣候温暖で夏は涼風を絶たない。秋の蜜柑の熟する頃は、附近の傾斜地一帯悉く黄金の花を咲かせ、一入の美觀を呈する。温泉場の設備は完全とは言へないが、景勝の地の利を得てるから、將來益々發展の氣勢を示してゐる。夏の夕、紫に黄昏れる山色や、鏡の如く靜かな有明の海を前にして、名物河内節を聞くのも何んとなく、氣持だ。

河内やよいとこ金峰の麓

西に有明波靜かトントントン、ドンドンドン

河内やよいとこ蜜柑の名所

色も赤らして味もよいトントントン、ドンドンドン

河内やよいと湧湯が出るよ

年が年中客絶えずトントントン、ドンドン

(河内節)

名産土産物

河内みかん、椿油。

泉質效能

微弱のアルカリ性単純泉で、慢性リウマチス、慢性濕疹、ヒステリー、神經衰弱、麻痺症、婦人生殖器病、腺病質によい。

旅館・經費

廣田屋、金波館、鹿本屋、潮鳴館など、宿泊料一泊一圓五十錢乃至三圓五十錢、自炊制あり。

平島温泉

(熊本縣鹿本郡田底村平島)

鹿兒島本線植木驛で鹿本鐵道に乗換へ、平島驛下車(熊本、平島間、賃五十一錢)驛より約二町。▼植木驛より直通自動車による事も出来る。

合志川の流に枕した、俗に田底三千町と稱さる、平地で、東の空遙かに阿蘇の噴煙を望み、一望十里の間は、風そよぐ緑の田の面が遷透としてつき、秋は黄金の波を打返して豊の恵みの美觀を加へる。周圍に山が少く、平坦な地に緩く開けた温泉場だから、風光は可なり單調で、僅かに南方に雨山の靈丘があり、東に帝釋天の森が眺められるばかりだ。

合志川の雨山洞には群魚常に集團をなし、それより少しく下れば、俗にドンドンと云ふ處があつて、此處にも亦小魚が群つて居るから、垂綸家は見逃し難い所である。更に此下流には中津の島があり、水勢は此邊から少し寛いで、河幅は三十間位に展げ、風光は頗る美しくなる。四月上旬の湯祭の頃は非常に賑ふ。

土産物

温泉せんべい。

泉質效能

炭酸泉で温度四十一度内外、切傷、皮膚病、神經痛、リウマチス、胃腸病、婦人病に特效がある。

旅館・經費

岡部旅館、泗水館、いろは屋、朝日館、黒松屋、(以上内湯あり)宿泊料は旅館により一定せざるも、大體一泊一圓五十錢より三圓位である。

菰入湯

熊本縣菊池郡加茂川村菰入にあり、泉温二十七度の單純泉で、弛緩性潰瘍、濕性水泡疹等に效が有る。

宮原鑛泉

(熊本縣鹿本郡田底村宮原)

鹿本鐵道宮原驛下車、驛より三町。



東方遙かに阿蘇山の雄姿を眺め、三方には遠く紫微の翠巒を繞らし、其中に開ける鹿本、菊池兩平野の相接する所に在る。鹿本郡の中央部に位するのだ。此處には植木町より山鹿町に通ずる直通自動車の便もあり、交通は頗る便利である。此の礦泉は明治二十七年日清戰爭當時發見されたもので、礦泉の效能顯著の爲、其名は次第に昂まつて來た。

泉質效能 含鐵カルチウム性炭酸泉、浴用加熱、神経痛、リウマチス、婦人病、濕疹、腺病、脚氣後の衰弱などに特效がある。

旅館・經費 長命館、有働温泉、宿泊料一泊八十錢乃至一圓五十錢見當。

慈恩寺礦泉

熊本縣鹿本郡田底村にあり、泉温三十二度の硫質炭酸泉、浴用加熱、慢性リウマチス、神経病、慢性皮膚病等に效く。

松の湯

熊本縣鹿本郡田底村にあり、泉温四十一度の炭酸含鹽泉で、貧血、慢性リウマチス、慢性胃カタル、萎黄病等に效がある。

山鹿温泉 (熊本縣鹿本郡山鹿町)

鹿本鐵道の終點山鹿驛下車(植木、山鹿間、約一時間、賃五十七錢)驛より北方約二町、自動車の便

が有る。賃五錢。▼植木驛より自動車賃五十錢。▼高瀬驛より自動車賃一圓。

菊池川の畔にある繁華な小區で、温泉と紙燈籠を以て其の名の高い湯町である。動嶽、久原山、権現堂原、半良、小原山等の峰巒が鹿本平野を東より北西にかけて遠卷に抱擁し、南は曠茫たる平原が坦々として開けてゐる。

傳によれば保元の昔、宇野親治が此邊の山に狩倉を催した際、偶々鹿の群が泉に浴するを見、始めて此處に温泉の湧出するのを發見したと云ふのだ。山鹿の名は實に此故事によると傳へられてゐる。舊藩時代には、此處に旅舎があつて、參觀交代の往復に宿泊したものだと言ふ。浴場は全部町營で、龍の湯、松の湯、紅葉湯、櫻湯、梅の湯がある。就中龍の湯は一に御前の湯ともいひ、舊藩主の入湯に充てられたもので、今日では貴賓用として平日は大切に閉鎖されて居る。櫻の湯は湯壺十二坪、此の他、湧泉の排水を利用して、その下流に洗濯湯が設けてある。昔は『山鹿千軒盥なし』と諺はれた位で、町の婦人達は皆此所で洗濯したものだ。今にその遺風が存してゐる。

此の町には湯祭と燈籠祭の二つの年中行事がある。湯祭は毎年四月十日より十日間行はれるもので、温泉再興の恩人、看明大徳に對する謝恩の祭禮である。八月十六日の燈籠祭は此地方でも有名なもので、昔景行天皇が熊襲を西征あらせられ、賊徒を平定し給うた時、土民が炬火を點じて御迎

へ申上げた故事によるものである。恐らく提灯行列の濫觴と言つてもよからう。此日町民は長時日を費して工夫を凝した、千種萬様の形状をなせる紙燈籠に火を點じ、景行天皇を祭神とする山鹿神社に奉納し、町内は夜を徹して賑ふ。

附近の曳杖地としては一目大明神、涅槃岩、日輪寺等がある。日輪寺には菊池武時の墓及び赤穂義士の中細川邸で屠腹した大石良雄以下十七名の遺髪塔がある。尚附近にある末廣温泉はアルカリ泉で皮膚病神経痛、病後の衰弱に能い。

名物土産物 山鹿傘、肥後半紙、金藏味噌。  
泉質・效能 無色透明の炭酸アルカリ泉で、泉温四十二度を示す。

分析表

重炭酸ナトリウム	〇、〇九七八五	クロールカリウム	〇、〇二三八〇
硫酸ナトリウム	〇、〇一九七七	クロールナトリウム	〇、〇〇八七三
硫酸カルチウム	〇、〇〇八五八	重炭酸亞酸化鐵	〇、〇〇八八三
硫酸マグネシウム	〇、〇〇二九九	硅酸	〇、〇三九〇〇
遊離炭酸	〇、〇二七二五	硫化水素	僅
礬土	少量	磷	僅
		酸	微

效能は重病の恢復期、一般の衰弱、リウマチス、痛風、腹膜炎、盲腸炎、神経衰弱、不眠症、神経麻痺。

旅館・經費 松榮館、櫻井旅館、山福旅館、東館、菟蕪屋、日新堂旅館、新吉田屋、山東旅館、朝日屋、新金屋。宿泊料一泊、一圓五十錢以上四圓位まで。

大坪温泉

熊本縣鹿本郡八幡村にあり、山鹿驛より自動車で約五分で行かれる。温泉としての設備はまだ完備しない。特に旅館の設備と云ふ様なものはなく、皮膚病、神経痛、火傷、切傷等に效く。

熊入温泉

熊本縣鹿本郡八幡村熊入にあり、山鹿驛より北方約三町、自動車の便あり。泉質は弱アルカリ泉で、皮膚病、神経痛、火傷、切傷によく、旅舎には菊池屋、柳屋、湯元屋、徳永屋、筑後屋、濱屋等がある。滞在諸費一日五十錢乃至一圓位。

石村温泉

熊本縣鹿本郡八幡村石村にあり、泉質效能殆んど熊入温泉に同じ、旅館なく、個人經營である。一日の諸雜費大體三十錢乃至八十錢位。

平山温泉

熊本縣鹿本郡平小城村平山にあり、硫黄泉で慢性リウマチス、腺病質、特に慢性皮膚病に效能がある。旅館は大和屋、扇屋、天酒屋、玉名屋。宿泊料一泊一圓二十錢均一。

米田 鑛泉

效が有る。

内大臣鑛泉

熊本縣上益城郡白絲村にあり、緑川の上流、内大臣山の麓、奇岩怪石の屹立する風光明媚の勝地、殊に氣候清冷の避暑地で、香魚の名産地として知られる。内大臣山の官林は、九州第一の大官林で、又九州唯一のインクラインが有る。含鐵炭酸鹽類泉の冷泉で、浴用加熱、腺病、痛風、慢性リウマチス、慢性皮膚病、慢性胃カタル、月經不順等に效が有る。

赤瀬 鑛泉

(熊本縣宇土郡網田村赤瀬)

鹿兒島本線宇土驛より、三角線により赤瀬驛下車(熊本、赤瀬間、賃四十七錢)驛より約五町。

此所は昔蟹の地獄と稱されて居た。前面は有明の海を隔て、遠く紫に霞む雲仙ヶ嶽を望み、近く島原の亂の史蹟湯島を控へ、海には牡蠣養殖の粗朶が海中に密林をなして居る。後方には宇土

半島の山々が折重なり、鄙びた野趣が横溢する。夏季には海水浴場も開かれて、相當の賑ひを見せる處だ。

泉質效能 一種の微臭を帯びた含鐵炭酸鹽類泉で、浴用加熱。濕性リウマチス、月經不順、常習便秘、皮膚病、胃カタル、肝臟充血等に效が有る。

旅館・經費 寶慶館、千鳥館、有明館。宿泊料一圓五十錢乃至二圓五十錢、伺ひ制によれば一日一圓位で滞在出来る。

金柘 鑛泉

(熊本縣宇土郡浦村金柘)

三角線の終點三角驛より東方三十町。自動車、賃三十錢。

鑛泉は翠滴る小丘陵に挟まれた溪間より湧出し、浴舎は丘を負うて建ち、前面は水田適かに開けてゐる。氣候は溫和で、夏季は涼しく、避暑地として佳い。附近には肥前の月ヶ瀬大兄の勝地がある。

名物土産物

鑛泉サイダー、鑛泉ラムネ、魚貝類、蜜柑、梨、桃等の果實。

泉質效能 無色透明の含鐵炭酸鹽類泉で、飲用すればサイダーの如く、忽ち胸が開ける。浴用加熱。慢性胃腸病、萎黄病、貧血症、糖尿病、神經衰弱、ヒステリー、婦人病、性病に效がある。旅館・經費 福原旅館、長尾旅館。宿泊料一圓五十錢乃至二圓五十錢、伺ひ制によれば一日一圓位で滞在出来る。

### 日奈久温泉

(熊本縣葦北郡日奈久町)

鹿兒島本線日奈久驛下車(熊本、日奈久間約一時間半、賃七十二錢)▼八代、日奈久間、賃十八錢、驛より七町、自動車賃十五錢。

此所は詩聖頼山陽が殊に陶醉した勝地鳩山を擁し、東方大阿蘇を雲煙の中に仰ぎ、東南の一面は山又山で、其裾は市街の側背に逼つてゐる。前面は不知火の奇觀を以つて知られた八代海が渺茫として紺碧を漂はせ、宇土半島や天草の島々が悠然と波間に浮んでゐる。其後方高く雲仙ヶ嶽が十分に好意を以て微笑むのも頼母しい。南西には海上遙かに獅子の島が波間に出没し、其間を眞帆片帆に風を孕んだ漁舟が來往して、晴れやかな風色を添へる。町の西端海濱は、夏季海水浴場が開かれ、避暑客で賑ふ。

此處を別府温泉と共に九州の双璧となすものもあるが、四圍の山水の景の相似たるによつて言ふのだらうが、湧出量に於ても、規模に於ても、彼我の開きは可なり有ると見るのが公平である。然し、此處も確かに勝れた山海の景を結束した、有数の温泉地たる事は争へない。旅館の数も多く、建物も大きく、設備も相當完備してゐる。別府の如く温泉氣分の濃厚ならざるところに床しさがあり、親し味がある。従つて療養専門の浴客や、家族連れの逗留客が多い。

共同浴場は四ツある。町の中央にあつて規模最も宏壯なるは本湯である。此湯は日奈久温泉の元祖で、孝子六郎左衛門が神託によつて發見した靈泉だとあつて、一名を孝感泉とも呼ばれてゐる。其の近くに新湯があり、西部には西湯があり、北部に築地湯がある。此築地湯は、昨今では泉温が低下して公共の洗濯用に使はれるばかりで、浴用には殆んど用ひられて居ない。

毎年陰曆六月土用の丑の日に温泉神社で行はれる『おきんちよ替へ』の祭典は、此町の名物として、地方色の豊かなものである。その日、温泉神社に於て一應の儀式がすむと、消魂しい爆竹を合圖に、一個十錢で神前に供へたおきんちよ人形を參詣者に賣り始める。其人形の荒削りの腹部には、いろはの番號がついてゐて、これによつて一等から十等まで景品が出る、此日は近郷近在は勿論、遠く島原や天草方面から、わざわざ一家眷族引連れて、參詣の傍ら此おきんちよの福運にあやから

うと云ふ慾の皮の薄からぬ人々が、雪崩を打つて押寄せて来るのだ。地元の町内では、又思ひ思ひの假装を凝らして、囃子面白く町の隅々まで練つて歩く、割れ返へるやうな賑ひである。此おきんぢよと云ふのは、温泉の発見者孝子濱田六郎左衛門の孝心にほだされて、陰になり日向になり、其父右近の看病をつけたおきんといふ女の義侠と貞節とを象徴したものである。

温泉神社は宮の山に在つて、市杵島姫命を祀つたもの、其右には温泉の発見者六郎左衛門と其父とを合祀してある。境内には老松參差として、翠綠永へに滴り、夏は涼風袂を吹いて、灼熱の暑氣を洗ひ去り、春の花は芳雲のトンネルをなし、秋の紅葉は満山の錦を飾る。

名物土産物

竹細工、高田焼、湯煎餅。

無色透明の炭酸泉で、極微の鹹味を有し、ラヂウムを多量に含有する。分析表は、

重炭酸ナトリウム	〇、三七二五	クロールナトリウム	〇、一九一五
クロールカリウム	〇、〇〇七一	重炭酸カリウム	〇、〇一七三
重炭酸亞酸化鐵	僅 微	重炭酸マグネシウム	痕 跡
硅 酸	〇、〇三八四		

效能は腺病、痛風、慢性リウマチス、神経痛、脂肪過多症、神経衰弱、諸病恢復期、慢性肋膜炎、麻痺

症、ヒステリー、慢性脊髄炎、肝臓充血症、消化不良及胃擴張、婦人病、膀胱カタル等に佳い。  
旅館・經費 金波樓、柳屋本店、同別宅、泉屋本店、同支店、濱伊勢屋、鏡板屋、豊崎屋、長洲屋、旭館  
角鹽屋、薩摩屋、梅屋、大正館、新屋、八代屋、平屋、松野屋、佛師屋、新湯旅館（以上内湯あり）宿  
泊料一泊一圓五十錢以上五圓位、中餐は大體宿泊料の半額、自炊制、伺ひ制もある。

湯の浦温泉 (熊本縣葦北郡湯の浦村)

鹿兒島本線湯の浦驛下車（熊本、湯の浦間二時間餘、賃一圓十四錢。八代、湯の浦間約一時間、賃五十四錢）驛より五町。▼肥薩線白石驛より五里、自動車により佐敷町に至り（賃一圓）それより湯の浦まで自動車一圓五十錢。

鶴城、鬼城の諸峰南に聳え、潺湲たる湯の浦川は、水清く底明らか湯町の中央を貫流し、氣候溫和で、土地は静閑、全く俗塵を隔絶する勝區だ。地は佐敷灣の一角に方つて、遙かに天草島を眺め肥後の三太郎峠中の佐敷太郎峠を北に、津奈木太郎峠を西南に望む事が出来る。此所の温泉は街の内外から湧出し、浴場は芳の湯、松の湯（以上村營）岩ノ湯、篠原温泉（以上個人經營）の四ヶ所がある。

附近には鬼の石材と稱する巨石あり、八角、六角、四角と巧みに加工されたる石材が、縦横に積重なつて小山をなして居る様は、一種の奇観である。

一名湯の鶴とも云はれて居る。水俣町陣内より東南二里、鬼ヶ嶽を東南に、矢筈嶽を西南に控へた温泉場である。温泉場近くには大瀧、小瀧、箱瀧などの勝が有り、矢筈嶽の眺望は雄偉壯大なものである。嘗て頼山陽がこの眺望を詠じた事があつた。山水の美を兼備へた、所謂山紫水明の境地である。夏は清流に鳴く河鹿の玲瓏たる響に心耳を洗ひ、土地清閑で未だ俗化せざる好避暑地であるが、設備は十分ならざる憾がある。

鹿兒島本線水俣驛下車（熊本、水俣間、賃一圓三十三錢）驛より東南約二里、自動車、賃四十錢。

湯出温泉 (熊本縣葦北郡水俣町湯出)

菴の如くに浮び、遠く天草島を雲際に望む。風景は佳いが温泉場としては最近発見の新温泉で、設備は未だ十分とは言へない。泉質效能等も未だ試験中だといふ。旅館なども未だ完備しないが、一泊三食付で一圓五十錢位で宿泊が出来る。自炊制によれば夜具損料は別として一日二十錢位。

三ツ島公園、女島の観光地も程近く、佐敷城趾は北へ一里、湯の浦川にて採れる鰻、白魚、及び海苔は其の名が高い。

泉質效能

炭酸アルカリ泉で、泉温四十三度乃至四十五度。慢性胃腸カタル、胃潰瘍、慢性關節炎、慢性リウマチス、慢性咽喉カタル、腺病、肥胖病に效能がある。

旅館・經費

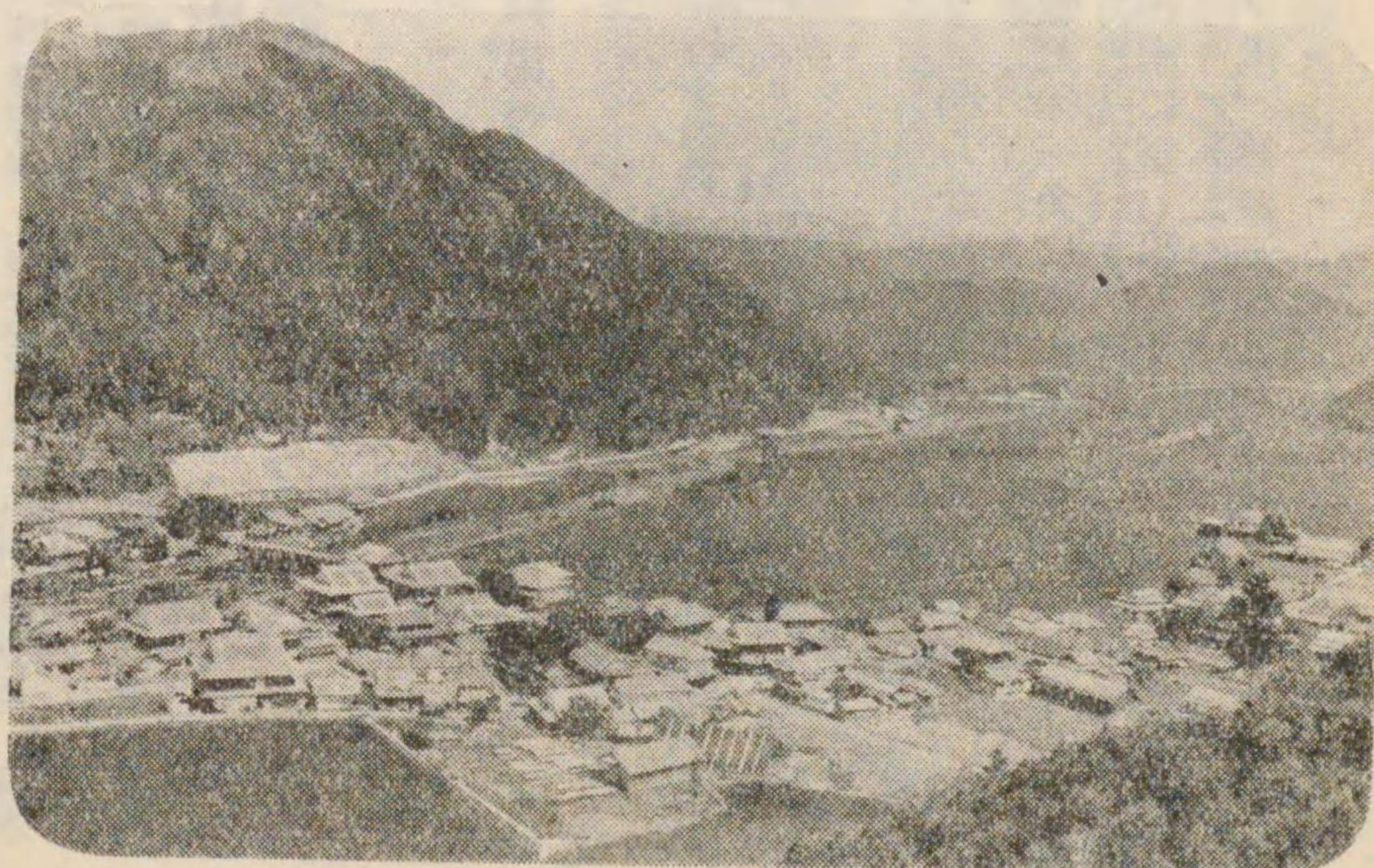
旭館、芳の屋、昭和館、橋本屋、大橋屋、竹屋。宿泊料一泊一圓乃至二圓、自炊制あり、一日食費共一圓以内で滞在出来る。

湯之子温泉

(熊本縣葦北郡水俣町)

水俣町の北端一小灣に面し、平地極めて狹隘である。西北方は不知火の海に面して、眼前には湯ノ子島が巨

肥後湯の浦温泉全景



木折山から湯の傍見れば

裸體人形が踊する

(湯出民談)

泉質效能

鹽類性硫黄泉で泉温四十五度。リウマチス、神經痛、金創、火傷、胃腸病に特效がある。

旅館・經費

四浦屋、平野屋、薩摩屋(以上内湯あり)その他七軒あり。宿泊料一泊三食附一圓五十錢乃至二圓五十錢見當、伺ひ制は一日六十五錢より一圓位にて滞在出来る。その他に手数料十錢、木賃は室料二十錢、夜具損料一枚八錢。

白鷺温泉

(熊本縣天草郡下津深江村)

(1) 下津深江、本渡町間は毎日午前一回定期自動車が行復する。

(2) 下津深江、富岡町間は毎日午前四回午後四回定期自動車が行復する。

(3) 海上は隔日に長崎及鹿兒島に到る汽船と、近村に到る發動汽船がある。

温泉は天草下島の西海岸の中央部に位し、本渡町を距る西方約六里、富岡町の南方約四里の處に在る。東北南の三方に山岳を控へ、西は全く天草洋に直面するのだ。下津深江川は湯場の中央を貫流して直ちに海に注いで居る。此處は天草郡内唯一の温泉で、建武年間、負傷せる白鷺が毎日泉に

浴するを見た者が、始めて此處に温泉の湧出するのを發見したと傳へられてゐる。山奥や片田舎の古い温泉には、鳥獸の爲に發見されたものが可なり多い。此處も其の一例だ。湯場は村營で、他に個人經營のものが一ヶ所ある。

附近海岸は奇岩屹立して老松枝を交し、風光の愛すべきものがある。洋々たる天草洋の怒濤が岩に碎けて、珠沫四散する壯觀は唯壯快の一語で盡きて居る。

名物土産物 鮎、鰻、伊勢蝦、湯煎餅。

泉質效能

鹽類泉に屬し、泉温四十度乃至四十五度。萎黄病、貧血、腺病、慢性胃腸病、慢性呼吸器病

慢性膀胱カタル、痔疾、白帶下、ヒステリー、慢性子宮病、慢性リウマチス、神經痛、皮膚病、火傷、切

傷等に效能がある。

旅館・經費

湯本屋、長崎屋(以上内湯あり)大黒屋、坂本屋、まるや、吉田屋、高橋屋、伊加屋、泉屋。宿泊料、一泊一圓以上二圓五十錢位、木賃制によれば一泊四十錢乃至五十錢見當。

吉尾温泉

(熊本縣葦北郡吉尾村吉尾)

鹿兒島本線八代驛より分岐する肥薩線白石驛下車(八代、白石間、約五十分、賃四十八錢)驛より

一里。

白石驛より球磨川の碧流に沿うて、坦々たる道を下ること三十町、吉尾川の合流する邊りより、流れについて左に折れ、數町を遡ると、翠巒相疊つて深く谿谷をなすところから湧出する。之が吉尾温泉で、湯煙は四圍を立罩め、湯の香が氤氳と漂ふ。全く俗塵を離れた溪間の桃源洞、人家も稀少、二三の旅館の外數軒ある位だ。交通の便利も大してよい方ではないが、其沿道の山水は景趣に富み、風光の明媚を十分に味ふ事が出来る。故に靜かに療養せんとするもの、或は讀書に耽らんとする者に取つては、無上の樂土である。

泉質效能

微かに硫黄臭を帯びたる三十九度の鹽類泉で、胃腸病、リウマチス、創傷に特效がある。

旅館・經費

高野旅館、川原旅館その他。宿泊料一泊八十錢以上一圓五十錢位。

林 温泉 泉

(熊本縣球磨郡中原村林)

肥薩線人吉驛下車(八代、人吉間、約一時間半、賃八十二錢)驛より三十町、自動車賃二十錢。

徳富蘇峰氏曾て此温泉に節を曳いた時、激賞した言葉に、

概して温泉は僻遠にして交通不便の地でなければ、人家櫛比の海濱とか、山間の兩崖束ぬるが如き猫額的の地に多くある。然るに人吉温泉は交通の便と山河の景致とを併せ有し、然も斯る美麗豊富なる好温泉である。云々

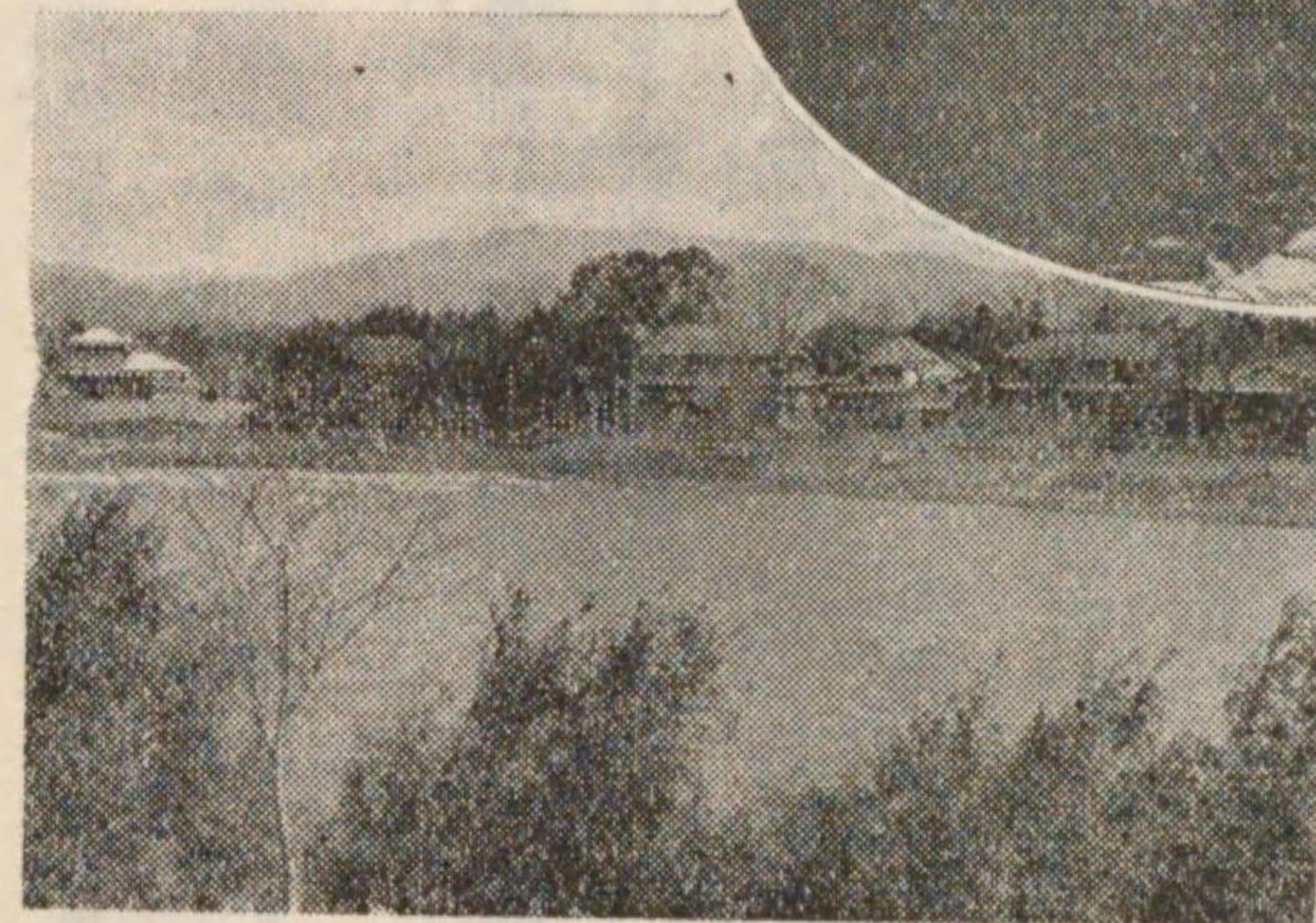
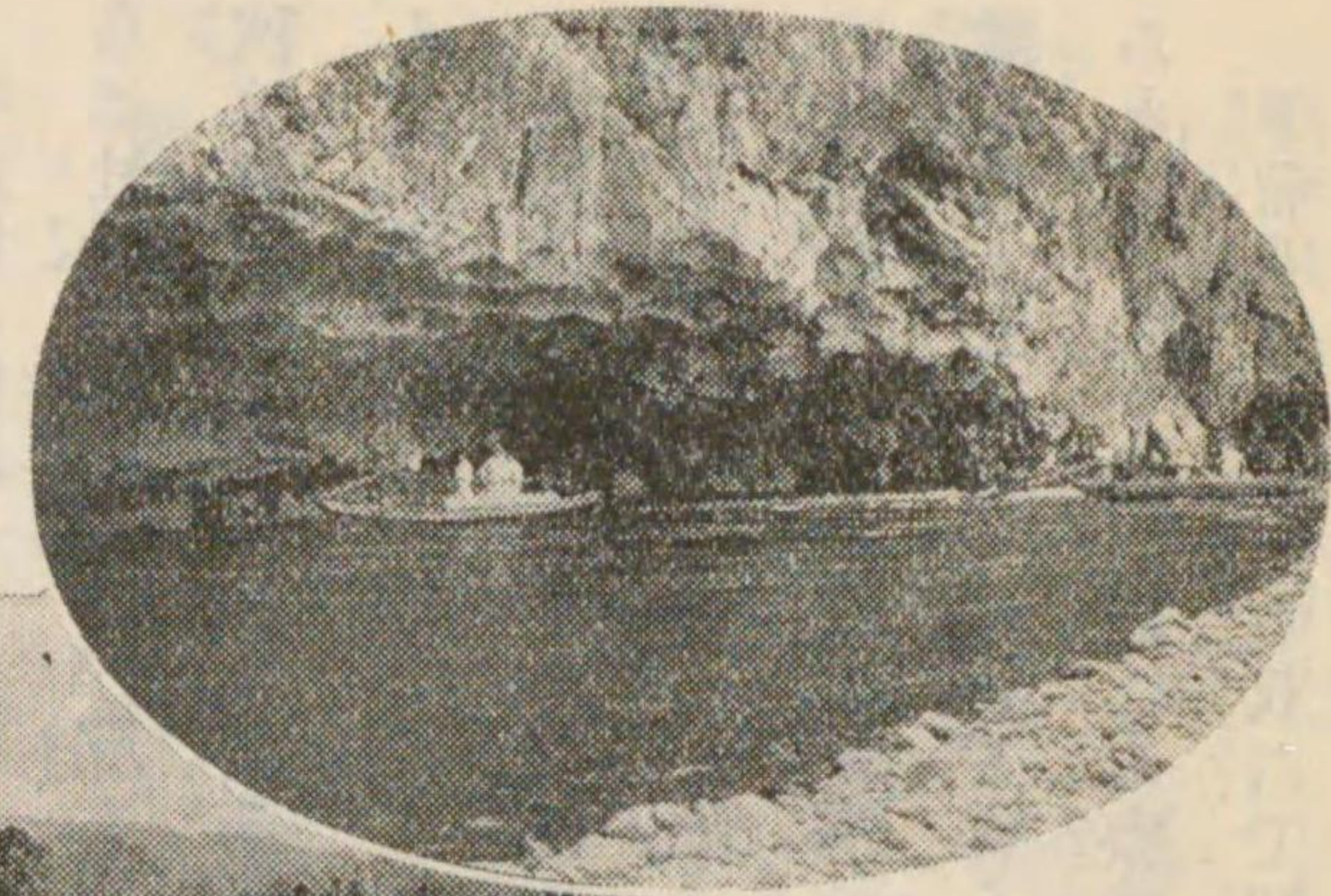
此處は球磨川の急流に臨み、對岸には面虎丘を控へ、山色と碧流の双美を兼備へてゐる。

春は櫻花爛漫として鬱蒼たる常磐木の間を點綴し、夏は玲瓏玉の如き河鹿の妙聲を聞き、山懐からは杜鵑の屢鳴くのが聞える。夜は誰が亡き魂のゆらぐかと斗り、闇に飛び交ふ螢火の景致が有る。秋は四圍の峰巒錦の花衣を襲ね、その間を奔流する球磨川の白泡嚙む急瀨は、玉を碎き銀屑を翻へして、壯絶窮まる處を知らぬばかりだ。

泉質は明澄玉の如く、湧出量も豊富で、常に浴槽に溢れて居るし、その側には清水が噴出して、温度の調節を計り得るが如きは、此温泉の一特長とも稱すべきである。然も尙湧出量豊富で水蒸氣の量頗る多く、空氣の乾濕宜しきを得、氣候は冬暖く、夏は涼しい。蓋し此地が此地方切つての健康地と云はる、所以であらう。従つて交通の便と設備の完備せる點とは、相俟つて遊樂的温泉たると同時に、又閑靜なる療養地と稱すべきである。

淨瑠璃伊賀越道中双六で知られたお米が、其良人の重患を治療なさんと、一命を賭して得たる印





寫眞説明  
上 球磨川槍倒岩洞中  
下 林温泉の一部

籠中の靈藥は、此温泉の湯の花だと傳へられて  
る。當時相良公の典醫がこれを採取製薬して  
公の印籠に納めて置いたものを、公より又五郎  
に賜つたのだと云ふ事だ。

球磨川下りの清興は林や近くの新温泉に遊ぶ  
者にとつて、興味の深い樂しみの一つである。  
人吉より白石まで約七里の間を、凡そ三時間  
下られる。冬酬にして寒林寂寞、山骨秀でた  
る間を急下するのは球磨下り中第一の壯快味で  
ある。その間に舅落岩、清正公岩、槍倒岩、  
神瀬の岩門などの奇勝が見られる。

料金 一艘(貸切)十圓

(午後の發舟は一割増、雨天も一割増で  
ある)

球磨川を遡る

紅梅や水碧なる酒旗の風

前田曙山

附近には相良城趾がある。急流の天險によつて、小城ながら名城の一つに數へられたものだ。其城趾中に人吉神社がある。

名物土産物

芳醇な焼酎、鮎、川海苔等。

泉質效能

無色透明のアルカリ炭酸泉で、ラヂウムエマナチオンを含有し、泉温四十八度。分析表は、

クロールカリウム	〇、〇四八九	クロールナトリウム	〇、三八八四
硫酸カルチウム	〇、一二一八	硫酸ナトリウム	〇、一九三六
重炭酸ナトリウム	〇、三五一二	重炭酸マグネシウム	〇、〇〇三九
硅酸	〇、一三七三	酸化鐵及礬土	〇、〇〇八八
硼酸	僅	硫化水素	痕跡
遊離炭酸	〇、三二二九		

效能は慢性胃腸カタル、常習便秘、慢性咽喉及氣管支カタル、尿道カタル、婦人生殖器病、痛風、リウマチス、糖尿病、腺病、肥胖病、慢性皮膚病に效く。

旅館・經費

翠嵐樓、大觀樓、山賀屋。宿泊料一泊三圓乃至六圓、貸室制六疊一日一圓以上、夜具一枚十  
五錢、副食物一皿四十錢、入浴料電燈料なし、飯代は白米時價の一割増しで、炊事費は取らな。

昭和己巳六月遊三鎮西二投三人吉温泉翠嵐樓。  
同三日徇三律球磨川畔二得二絶。

蘇峰 徳富猪一郎

午炎漸去晚涼微。 一洗征塵二著三浴衣。  
萬點流星明復滅。 不知三水面衆螢飛。

### 相良温泉 (熊本縣球磨郡西瀬村)

肥薩線人吉驛の西南約半里、自動車、俵の便がある。

球磨川畔景勝の地を占む、舊藩主相良侯の下屋敷跡に湧出したもので、開湯日尙淺いにも拘らず浴舎等の設備は中々よく整つてゐる。

泉源は二ヶ所あつて、四十五度位と三十八度位の湯とを湧出している。入浴者は好みによつて湯加減を自由に出ることが出来る。

此處も亦林温泉と同じく球磨川下りの清遊があり、この他附近には願成寺、高寺院、お樂園等の

勝地もある。又五郎屋敷と云ふのは伊賀越仇討の敵役河合又五郎を隠まふ爲に相良侯が築造した小塞の跡だと云ふ。

名物土産物 鮎、球磨焼酎、鮎煎餅等。

泉質效能 弱アルカリ泉で、胃腸病、皮膚病、神経痛には特效がある。

旅館・經費 擲水旅館。宿泊料一泊二圓半乃至三圓。

向、人吉驛附近は温泉地帯として注目的となり、一儲せんとする連中が頻りに掘鑿を試みてる。左のものは最近開湯せる新温泉である。

#### 球磨川温泉

人吉驛の西南十四町、自動車、俵の便がある。球磨川温泉株式會社經營の旅館の外、無料休憩所の設備もある。ラヂウム温泉と稱してゐるが、泉質

#### 寶來堂温泉

#### 中神温泉

は相良温泉と大差なく、温度四十三度、胃腸病、皮膚病によい。宿泊料一泊一圓半乃至五圓。人吉驛の西南十町、自動車、俵の便がある。浴場を錦温泉と云ふ。泉質效能は前者と大差なく、旅館は翁旅館、一泊二圓乃至三圓。人吉驛の西一里、自動車の便あり、泉温三十九度のラヂウム泉で、胃腸病、リウマチス、神経痛には特效がある。未だ旅館專業のものはないが入湯者の希望に依つては一泊八十錢乃至一圓半位で泊める家がある。

### 鹿兒島本線に沿うて 其の二

鹿兒島本線の汽車が鹿兒島縣域へ入ると、その本支沿線及び其附近に温泉の数が頓に増加するを氣付くであらう。車窓より右に海岸の風光を賞し、左に連山の景趣を眺めつゝある間に、汽車は何時か鹿兒島市に着く。

其本線附近で既に定評ある温泉に阿久根、市來がある。支線に入ると市比野、入來、伊作などがあり、薩摩半島の南端には、無名の大泉郷揖宿がある。其他中小を合算すると、優に三十に近い温泉が數へられる。従つて此地方は將來交通の發達と共に、隨所に温泉郷を築き上げる可能性がある譯だ。

### 湯川内温泉

(鹿兒島縣出水郡出水町湯川内)

鹿兒島本線出水驛或は西出水驛より南方一里餘、自動車馬車の便が有る。

地は清水谷の上流川内鹿倉の中腹に在つて、南方に紫尾の高峰を控へ、北は出水平野を距て、遠く天草列島を望見する。内海の島嶼は青螺の如く波の上に浮き出で、展望は極めて快よい。また溪流のほとりには玉を轉がす河鹿の聲を聴く。四圍極めて閑雅幽邃だから、避暑地として好適である。

#### 泉質效能

單純泉で、外傷、慢性リウマチス、濕疹、ヒステリー、神經衰弱、婦人病、腺病質等によい。

#### 旅館・經費

概ね自炊浴客で、下宿の制度もある。間貸料湯錢共一日一人十五錢乃至二十錢である。

#### 白木川内温泉

鹿兒島縣出水郡大川内村白木川内にあり、出水驛より東南二里半、搦鉢の底のやうな山間にあるが、自動車、馬車の便が有る。三方山を以て圍繞された峽谷の溪流に沿ひ、岩窟の狭間から湧出する清冽の温泉で、湯に浸ると四山の空翠が倒しまに落ち來つて、避暑地として最適である。泉質效能は湯川内温泉に同じ、旅館なく、多く下宿屋營業で、一泊三食附、八十錢、間貸料一日十五錢。

### 阿久根温泉

(鹿兒島縣出水郡阿久根町)

鹿兒島本線阿久根驛下車（鹿兒島、阿久根間、約二時間半、賃一圓二十九錢）驛より約十二町、自動車、馬車、俵の便がある。

舞鶴、朝日、兒玉、若松、常磐、玉の井の諸温泉を總稱したものが阿久根温泉である。何れも設備よく整ひ、北薩地方有数の温泉郷と稱されてゐる。地は高松川に沿ひ、鹿兒島縣八景の一たる阿久根海岸を控へ、風光明媚の地で、小松、戸柱兩公園が有る。阿久根港口には累々たる岩礁の中に高さ二丈の巨巖二個屹然として峙ち、時々光を放つ光礁がある。其の光錠は時に白虹を迸らすが如く、或は流星の如く、又月の輪の如く、時に金色に變じ、忽ちにして銀色となる、眞に天下の奇觀である。五色の濱は五彩の眞砂數町に亘り、恰も錦繡を敷詰めた如く、一名錦の濱とも稱へられてゐる。此他阿久根八景、阿久根七不思議など見るべきものが多い。温泉より西方一里の海上なる大島には金刀毘羅神社が有る。又浮田圃は鶴の渡來地として有名だ。冬とは言ひながら、九州の軟らかい日が、平和に枯れた田の面の潦水を温ためると、低い丘續きの松の緑は、早くも清新な瑞氣を仄めかせる。白い大きな影が、スッキリした美人のやうに、三々伍々に漫步く、夫は鶴の群が餌を漁つて居るのだ。種類は多く眞鶴で、丹頂よりは、稍と綺麗さを缺くが、氣品ある王者の態度は、泰山頭上に墜ちかゝるも、驚き忙てる態は無い。無言にして人間の齷齪たる小ささを笑ふので

ある。此鶴の群は冬になると朝鮮から飛來して、春酬になるまで、此邊を徜徉する。即ち彼等は避寒の爲めの轉地を氣取つて居るのだ。此地では鶴を保護する爲、一切狩獵を禁じてあるから、鶴は人を見ても恐れず、長蛇の如き汽車が、三四十間の近間を走つて來ても、驚いて飛立たうともせぬから、車窓を透して、鶴の棲息状態を観察する事が出来る。殊に面白いのは、鶴のお蔭を蒙つて他の禽類迄が弘誓の樂土に逍遙して居る事だ。海岸から僅か一二町離れた岩礁を見ると、何千とも無き鴨が、眞黒になる程附いて居る。之は禁獵地の難有さに酔ふべく、類を盡して集合しつゝあるので、鶴の餘徳が彼等にまで及ぼしたのである。

如才の無い鐵道省では、冬期鶴の渡來が始まると、美しいポスターを各地に頒布して、遊覽の客を惹附ける事を怠らない。

名産 阿久根文旦。

泉質效能 含炭酸食鹽泉で、泉温四十四度、胃腸病、婦人病、皮膚病、リウマチスなどに效く。

旅館・經費 吉田屋、丸田屋。宿泊料八十錢以上三圓位、下宿屋の間貸料は一日十錢以上、他に入浴料十錢。

### 湯田温泉

（鹿兒島縣薩摩郡高城村湯田）

鹿兒島本線西方驛より東へ約一里、自動車馬車の便が有る。地は四圍蜿蜒たる丘阜に圍繞された盆地で、其中央を溪流が貫流してゐる。此の温泉は數十年前に始めて温泉らしい設備が施され、夫から漸次發展して、現在では黄金湯、石塚湯、熊野湯、不老湯、朝日湯、橘湯、御幸湯、綠湯等數箇所に浴槽を開き、次第に發展の機運を示してゐる。西方一里にして鹿兒島縣八景の一つに數へられる西方海に達する事が出来る。

**泉質效能** 無色透明の硫化水素泉で、慢性皮膚病、慢性リウマチス、痛風、腺病、婦人病、慢性鼻咽喉及び氣管支加答兒、經久梅毒、鉛及び水銀中毒症に效能がある。

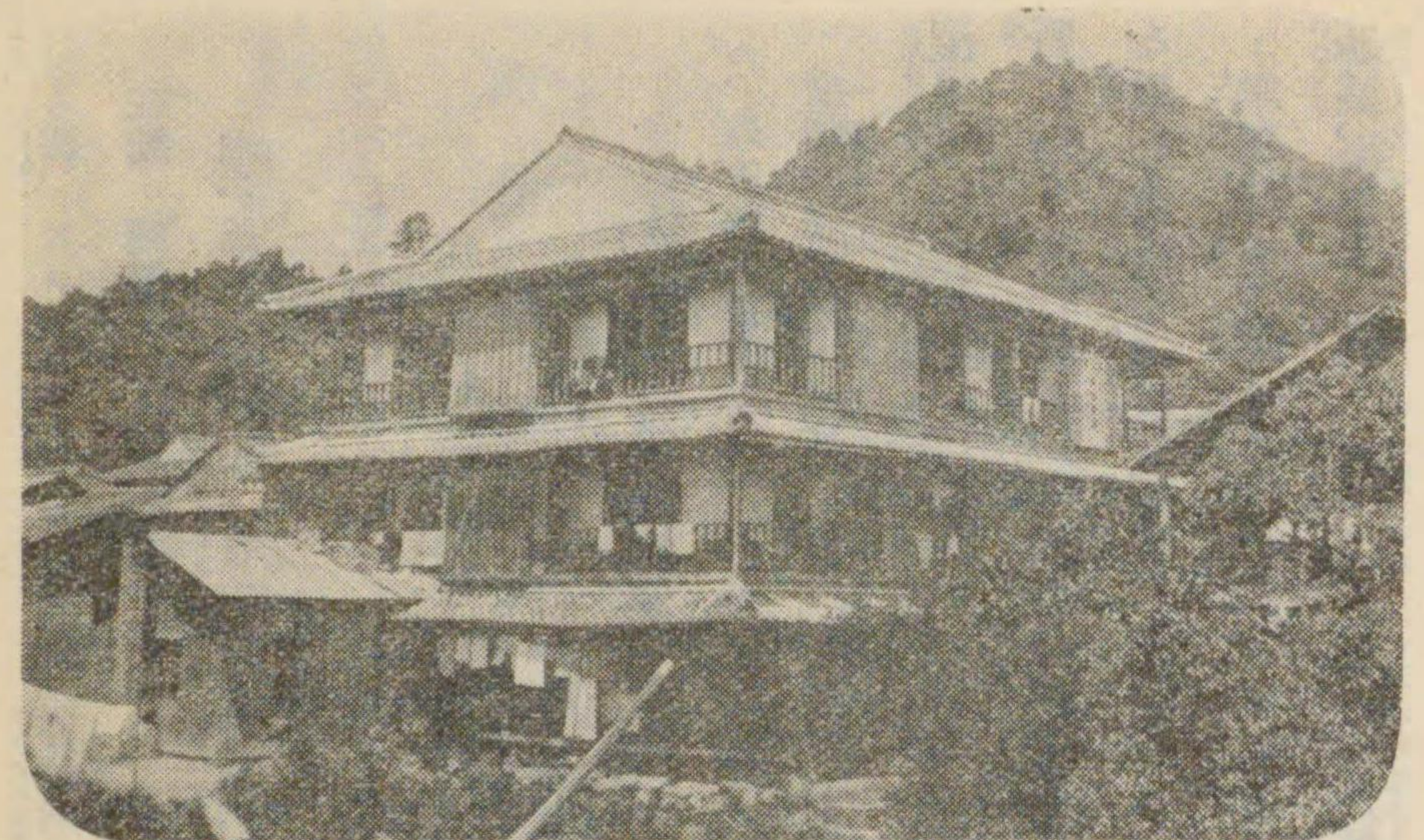
**旅館・經費** 旅館專業はないが、下宿屋は十四軒ある。宿泊料一日一圓内外、問貸料一日二十錢見當。

### 市比野温泉

(鹿兒島縣薩摩郡樋脇村市比野)

鹿兒島本線川内町驛にて宮之城線に乘換へ、樋脇驛下車(川内町、樋脇間約三十五分、賃二十二錢)驛より東南一里、自動車賃五十錢。

温泉地の前面は曠茫たる田圃が遠く連り、近くには樋脇川の清流が快よい音を立て、流れる。山



市比野温泉の景

間の一平野で、遙かに藺牟田の連岡を望み、後方に指月山を背負ひ、丸山の靈峰は雲際に霞の衣を引きはへて景趣を添へる。殊に地は村の中心地に位して居るから、百八十餘戸の湯の街が楯比して構成される。村營の公設湯は上方限に在つて上等湯、戊申湯に分れ、下方限に上等湯、並湯、及び瀧湯を併設する下之湯等があるが、個人經營の温泉も又十數個あつて、湧出量は頗る豊富だ。將來發展の可能性は十分にある。丸山は温泉地より僅か七町の所に峙つて、山頂の眺望は極めてよく、又辨財天を祀つて有る、永照寺の古刹は指月山にあつて、老梅の花開く頃は、風流人の目を喜ばせ、月明林下美人來の韻致が豊かだ。

**名産土産物** 竹細工。  
**泉質效能** 鹽類性炭酸泉で、外傷、慢性リウマチス、濕

疹、ヒステリー、神経衰弱、春瘧病、婦人生殖器病、腺病質などによい。  
旅館・經費 緑屋旅館、保養館、不老泉、二泉亭（何れも内湯あり）朝日旅館、寶満旅館など。宿泊料一泊一圓五十錢以上、自炊制も下宿制もある。下宿は一日一圓内外で滞在出来る。

### 入來溫泉

（鹿兒島縣薩摩郡入來村副田）

鹿兒島本線川内町驛にて宮之城線に乗換へ入來驛下車（鹿兒島、入來間、約二時間半、賃一圓八錢）驛より二町。

一名副田温泉と云ふのは所在地の名に因つてである。東南部には袴腰、天ヶ嶽、愛宕の諸山聳え温泉場は牟田池山の西麓にあつて、連互せる小山に圍まれたる狭い場所だが、宮之城、川内、串木野に通ずる三縣道の要衝に當つて居るから、自から山間の一小都會をなして居る。小料理屋など軒を並べて溫柔氣分を漂はせ、浴場には上等湯、網代、柴垣、櫻湯、紅葉湯、肝付殿湯などがある。牟田池山の頂上迄は約三十町、山頂には周圍一里に餘る蘭牟田湖があり、それを環つて片城、飯盛、愛宕、龍石、山王等の秀峰が聳え、幽邃な眺めをなして居る。此の湖は内務省の天然記念

物に指定され、冬期に入れば群鴨數萬浮遊して、恰も木の葉の飛ぶが如く、蓋し天下の偉觀である。

泉質效能 湧出口は數ヶ所に分れて居るが、泉質は

大同小異、何れも微かに硫黄臭を帯びた含鐵鹽泉で、胃腸病、貧血、梅毒、子宮病、リウマチス等に效があり、就中婦人の瘡に特效があると云はれて居る。

旅館・經費 松屋、山下、石田、淵崎、千歳、新屋、

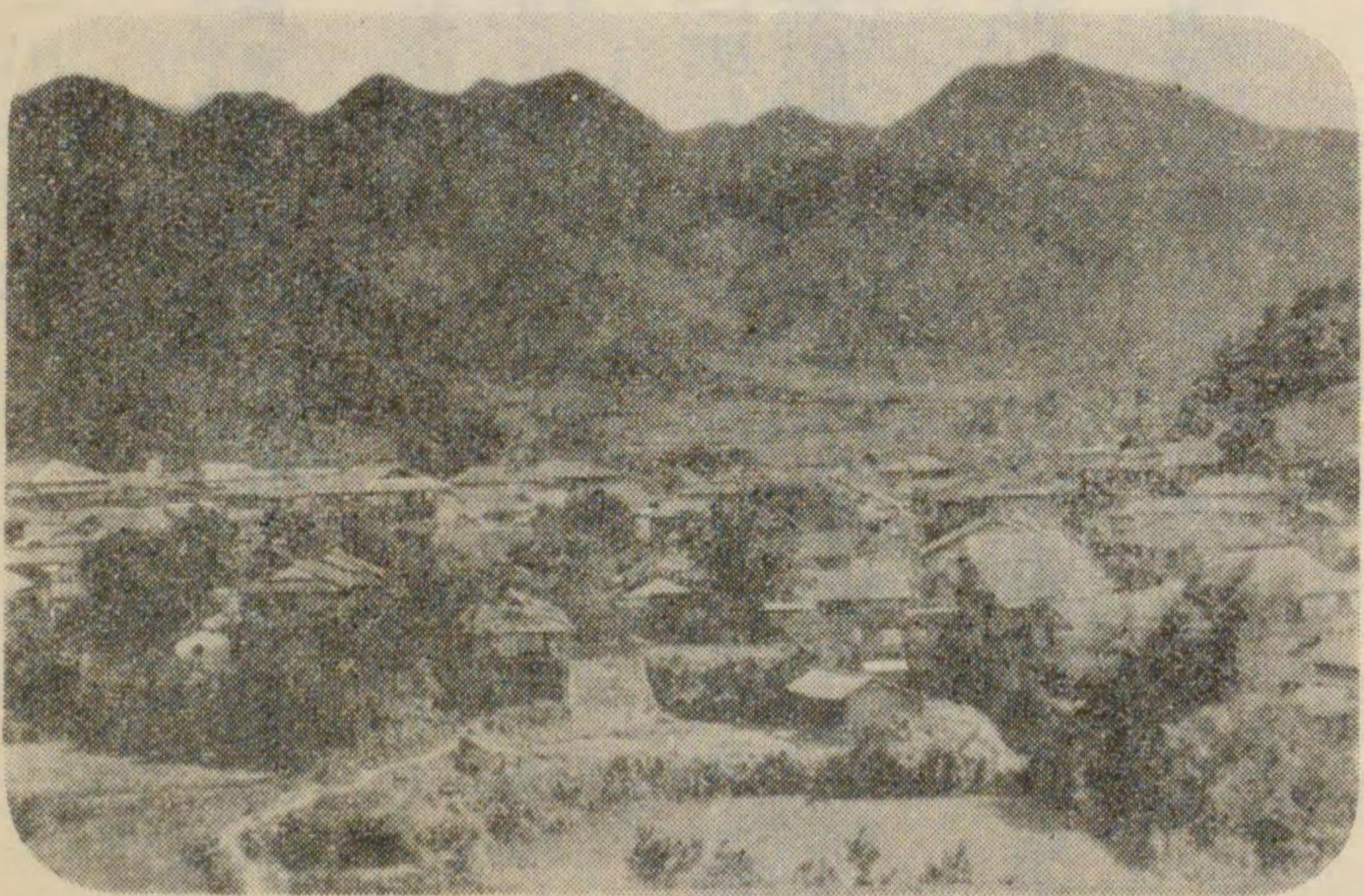
保養館（内湯あり）、朝日、延壽館（内湯あり）、淵上等。宿泊料一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢。

### 諏訪溫泉

鹿兒島縣薩摩郡入來村浦之名卒場石にあり、その地名

から卒場石温泉ともいふ。大正十三年の發見で入來温泉を距る僅か半里、旅館專業はなく、下宿屋ばかりである。炭酸含有食鹽泉で、内服用は胃弱、便秘によく、浴用すれば慢性生殖器諸病、泌尿器諸病、

入來溫泉の景



リウマチス、腺病などによい。下宿料一日八十錢、間代一日十八錢位。

### 砂石温泉 (鹿兒島縣薩摩郡蘭牟田村砂石)

鹿兒島本線入來驛下車、驛より東南二里餘。自動車馬車の便が有る。  
蘭牟田村の南端を流れる砂石川の兩岸から湧出し、北方は翠巒の袖に裡まれ、西南は曠濶たる田園を一眸に集め、山水の景趣に富む。

往昔、此地に一羽の負傷せる鶴が飛來して、其翼を泉に浸して居るのを見て、村人が始めて温泉のある事を發見したといふお定まりの傳説がある。夫が又發展して、温泉に沿ふ溪流を古くから羽晒川と呼んで居る。

**泉質效能** 無色透明の單純泉で、外傷、リウマチス、濕疹、官能性神經病、婦人生殖器諸病、腺病質等によい。

**旅館・經費** 旅館專業なく、下宿屋營業で、宿料は八十錢乃至一圓、間賃料は湯錢共一日十八錢。

### 朝日温泉 (鹿兒島縣薩摩郡鶴田村柏原)

鹿兒島本線川内驛より分岐する宮之城線により、終點宮之城驛下車、驛より東北へ約一里、自動車の便がある。

此處は川内川の激湍に枕み、西北方には紫尾山の高峰を控へた山村水郭の勝地である。附近には名勝多く、亦史蹟にも富む。川内川の上流には奇岩怪石多く、中に墮涙石が有つて、四隣の風光頗る佳なるものがある。

**泉質效能** 食鹽含有硫黄泉で、皮膚病、リウマチス、痛風、腺病、婦人生殖器病、鼻咽喉及び氣管支力

タル、經久梅毒、鉛及び水銀中毒症などに效く。

**旅館・經費** 專業旅館なく、全部下宿營業である。宿泊料七十錢、間代一日一人二十五錢見當。

### 湯田温泉 (鹿兒島縣薩摩郡宮之城町湯田)

宮之城驛より北方一里餘、自動車の便がある。

紫尾の秀峰を西北に仰ぎ、川内川の上流に臨む。戸數二百六十餘戸の温泉街である。此の温泉場はすべて町の經營に屬し、町湯、區湯、内湯、櫻湯の四湯泉に分れる。此處より上流纔かに一町で絶壁の奇巖兩岸を疊み成せる大曲の名所に續いて、八疊敷の奇景がある。其他日本水電の湯田發電所、八幡神社、金吾神社もある。

泉質效能

區湯は食鹽含有硫黄泉で、特に蝮蛇咬傷及び火傷に奇蹟的效能がある。他は單純泉で效能は略朝日温泉に均し。

旅館・經費

旅館下宿屋藤田旅館、朝日館、榮屋、泉屋、外十數軒。宿泊料一圓位より二圓見當、間貸しは一日十五錢位。

紫尾温泉

(鹿兒島縣薩摩郡鶴田村紫尾)

鶴田村の北隅に押詰められて、交通の便は十分とは行かない。紫尾山脈の尾根は南に馳せて峽谷を爲し、北及東西方の三面は鋸の如き山岳に圍まれ、南方一帯だけが遠く開け、其の中を紫尾川の溪流が南へ南へと緑の如く潺湲として流れて居る。紫尾山は北薩隨一の高峰で標高一、五〇〇米

(凡四、九〇〇尺) 巨人の如く中空に聳え立つて、其頂上に登臨すると一望開豁、天草、甌島の島嶼は巨鯨の如く洋上に浮び、薩隅の山河を一眸の裡に收める事が出来る。古來詩歌に名高い紫尾八景や、石童丸塚も此附近にある。又温泉場を距る北西十數町の地に、熱帯植物龍鬚苔が生じてる。植物學者の頗る珍奇とする所である。

泉質效能

單純泉にして效能略朝日温泉に同じ。旅館・經費 下宿屋一軒、宿泊料は四十錢より二圓位まで。貸間料は一日一人八錢。

市來温泉

(鹿兒島縣日置郡東市來村湯之元)

鹿兒島本線湯之元驛下車(鹿兒島、湯之元間、約一時間、賃四十六錢) 驛より南へ四町、人力車、賃二十錢。

湯之元温泉ともいひ、坊主湯、打込湯、福之湯、川端湯、田之湯などを總稱するのだ。此處は薩摩地方の温泉中最も地の利を得て居る爲め、鹿兒島市や川内町方面から遊山に出かける者多く、歡樂境として可なり知られてゐる。従つて町一帯に脂粉の香が漂ひ、料亭や湯宿から絃歌の音が人を



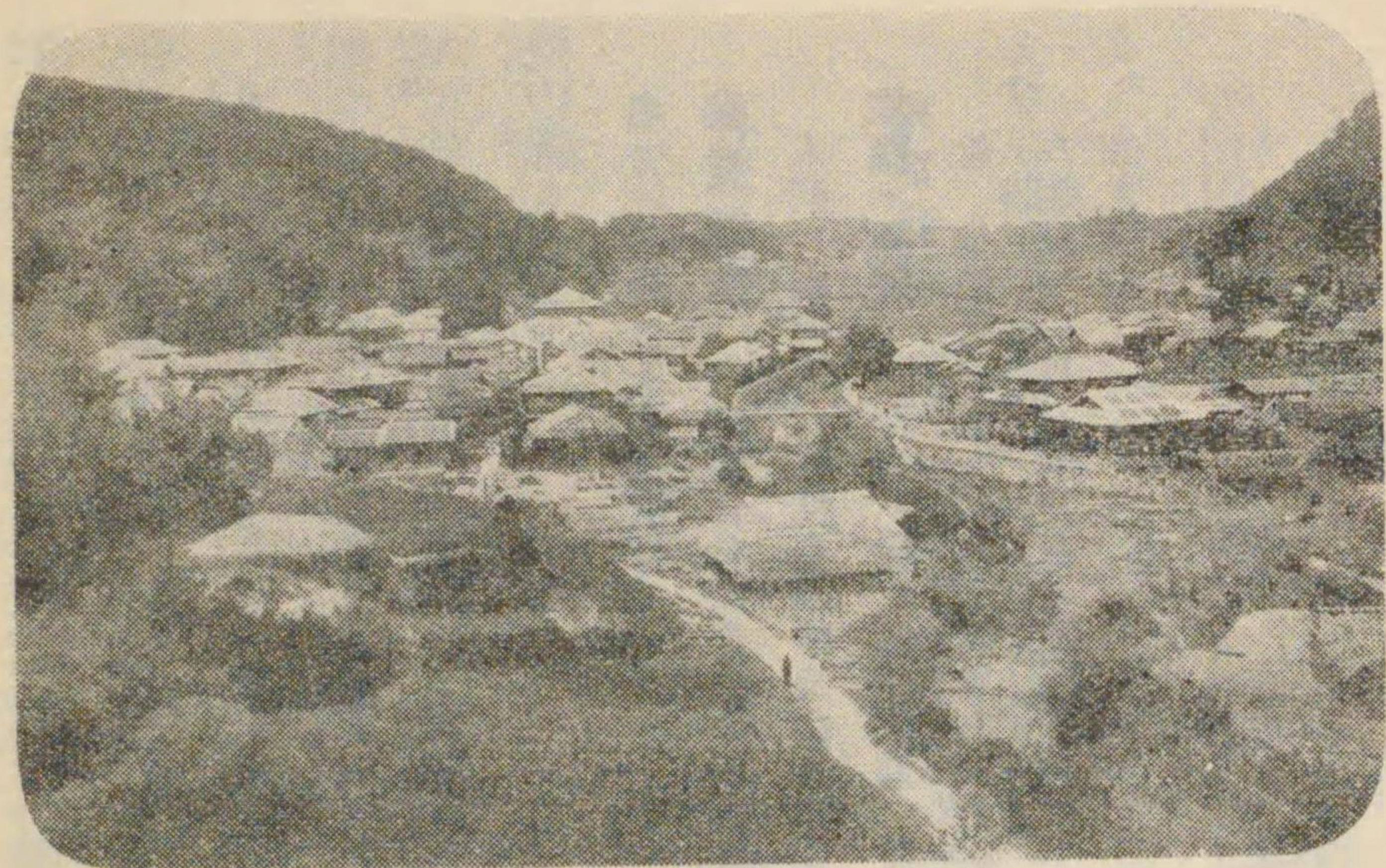
峻かす賑かな湯場である事は已むを得ない。  
東西十數町南北十町に擴がれる盆地で、温泉場は此盆地の東半部を占め、東南には諏訪山を負ひ  
稻荷山の連崗が蜿蜒として北西を劃して西市來村に走り、  
西方の海岸は吹上濱の長汀曲浦が続いて、赤崎濱の秀  
美な眺めが有り、其眺望は相州鎌倉の由井ヶ濱に似た  
ものがある。

附近には遠見番山、大峰ヶ原、七曲峠などがあ  
り、海岸には戸崎鼻の長く海中に突出するのが、千  
古の蒼翠を戴いて、潔よく碧波を浴びて居る。尙此  
外鶴丸城、丹後局の墓、鍋ヶ城趾、民部大輔廣言の墓  
彌陀山來迎寺趾、萬年山金鑛寺趾、鶴ヶ岡八幡宮、大日寺  
趾、龍雲寺趾、桂庵入薩の事蹟など史蹟が多い。

**泉質效能** 食鹽含有硫黄泉で、無色透明、硫化水素臭を放ち、概ね四十五六度、慢性皮膚病、リウマチ  
ス、婦人病、痛風、腺病等に效く、川端湯は明礬泉で眼病に特效がある。



市來温泉の大瀑



伊作温泉の景

### 伊作温泉

(鹿兒島縣日置郡伊作村)

**旅館・經費** 朝日屋、喜久屋(何れも内湯あり)、二葉屋、  
玉屋(内湯あり)、山口、鶴屋、不老館、千歳館、一力旅  
館など。宿泊料、一泊一圓五十錢から二圓位迄。此他自  
炊向の下宿屋數十軒あり、一日五十錢より一圓五十錢位。

鹿兒島本線伊集院驛で、南薩鐵道に乘換へ伊作驛下  
車(鹿兒島、伊作間、約一時間半。賃七十九錢)驛  
から東方二十五町、自動車賃二十錢。  
又の名を湯の元温泉とも云ふ。古來有名な温泉場で  
旅館の設備も相當整つてゐる。此處も鹿兒島人士の遊  
樂地として賑ふ湯街である。温泉は町湯を始めとして  
中島湯、壽の湯、株式湯、大正湯、新湯、みどり湯、

等が有るから、湯治客も相當の數を示してゐる。東南は山を負ひ、北は湯の浦川に枕み、西方には縣下第一の風光美を誇る吹上濱を控へてゐる。凡て此附近には勝地多く、又舊跡も少くない。綠樹に圍繞された幽邃な仙境碧池は、浴客の眼を慰めるに十分な景致である。龜丸城趾、島津日新公の誕生跡には記念の碑が建設されてゐる。此他大穴牟遲神社があり、境内には老樟數十株鬱蒼として枝を交し、千本樟の稱がある。又西郷南洲來遊の碑もある。

名産 文旦漬。

泉質效能 食鹽含有硫酸泉で、泉温四十八度内外、慢性皮膚病、慢性リウマチス、痛風、腺病、慢性婦

人病、麻痺症、慢性鼻咽喉及び氣管支カタル、經久梅毒、鉛及び水銀中毒症等に效く。

旅館・經費 みどり屋、福住旅館（何れも内湯がある）、敷島館、南薩館、千代屋旅館の外、下宿屋二十有

餘、宿泊料一泊一圓八十錢以上、下宿は一日一圓二十錢位、別に自炊制もある。席料は一日二十五錢、伺ひ制は、一日一圓乃至一圓二十錢位。

### 河頭温泉

（鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村河頭）

鹿兒島市より約二里、自動車で約二十分、賃二十五錢。

西南の役娘子軍が活躍した甲突川の溪流に臨み、四方連山に圍まれた靜寂なる山峽の保養地である。而も交通が至便だから、鹿兒島市其他よりの浴客は年を逐うて増加の傾向を示してゐる。此處より里餘で、比志島丸岡の勝地があり、眺望もよく、桂庵禪師の墓も程近くに在る。

#### 泉質效能

無色透明の單純泉で、外傷、リウマチス、官能性神經病、婦人生殖器慢性諸病、腺病質などによし。

#### 旅館・經費

旅宿二軒、下宿五軒、旅籠料は一日普通一圓五十錢見當、下宿は一圓乃至一圓二十錢位。間賃料は一日六十錢と定めてゐる。

### 揖宿温泉

（鹿兒島縣揖宿郡揖宿村）

鹿兒島市より南方十二里、自動車の便あり、二時間半にて達す、賃一圓五十錢。

畑ほれば畑にも湯湧き砂ほれば

砂にも湯湧くいぶすきのこと

薩摩半島南端の揖宿村を、日本一の煙草の産地と知る者はあつても、此處が日本屈指の一大温泉郷である事を知る者は多くあるまい。山一つ越えた鰻池より、鹿兒島灣に至る東西二里、數町歩の地は砂地と云はず、田畑の別を問はず、地下三尺掘れば、熱泉沸々として湧き、到る處熱湯煮えかへる。此の如く泉量の豊富な事は此の温泉の最も誇りとする所だから、後年次第に發達し、設備が向上したら、或は別府に比肩する温泉地となるかも知れぬが、今の處ではまだ前途遠達だ。若し周圍の風光の美が温泉地を價値づける一要素ならば、靜波を湛へる鹿兒島灣を越えて、遙かに大隅半島を望み、背後には薩摩富士の稱ある開聞嶽の翠微を仰ぎ、夏季は海水浴によく、冬は避寒地として好適である。恙して泉量に於て、風光に於て、將又氣候に於て別府温泉に鬚髯たる事は確だ。別府が湯の上に泛ぶ街ならば、揖宿は地下一面に湯を湛へる泉郷と云ふを得べく、日本最南端の名勝區である。

此温泉は非常な高熱で、湧出した湯其儘では、如何な熱湯好でも入浴する事が不可能だから、原湯と浴槽とを三段に區劃して、始めて體温に適する温泉に入浴されるのである。此高熱を利用して温熱園藝を行つて居る栽培者が有り、早出しの蔬菜は鹿兒島に向つて輸送される。嚴寒にメロン、胡瓜、茄子など累々として熟するを見、殊にトマトの促成は、色彩が美しい。又近時其高熱を製

鹽事業に利用してゐるのも、此處なればこそだ。

鹿兒島から揖宿へ行くには、鹿兒島灣の明媚な風光を左に見ながら、南へ南へと下るのだが、漸次繪の中へ入つて行くやうな夢の彩りに酔ひながらも、道路に多少の凹凸あつて、聊か興趣を破られるのは遺憾である。一體に九州は道路が良くない。夫で熊本縣へ行けば、熊本程悪い處は無いと仰ち、鹿兒島縣へ入れば、鹿兒島程悪い處は無いと呟やくが、自動車で飛ばして見ると、事實世辭にも良いとは云へない。此揖宿街道も平坦ではあるが、往來一面に小さい穴が碁布して居るから、車中の人は可なり疲れる。

然し此とても、決して道路課で放擲して居る譯ではない。絶えず修理してゐるやうだ。更に又鹿兒島揖宿間の鐵道線路も着々として進行してゐるやうだから數年ならずして全通を見るであらう。其曉には南別府とも稱さるべき一大温泉郷の出現を見るであらうと此地方の人々は期待してゐる。

鹿兒島から揖宿へ行く途中に、喜入といふ小市街がある。此處には天然記念物に指定された琉球筍といふ亞熱帶植物が、鬱々として繁茂して居るから、寸暇を割いて一見すべきである。車が揖宿近くなるに従つて、次第に亞熱帶地の状態が、先植物の上に訪れて来る。藁荷の丈が八

尺に餘り、太さが五寸にも及び、葉が二尺に垂たるがある。人家の前庭に在る金盞花は一根にして四疊半位に擴がり、濱菊が二疊敷程に繁茂して、無數の白花を簇らせるのも、中部地方では見られない風趣だ。柴立近く揖宿川に沿つて行くと、二月嚴冬の候だといふに、杉菜の翠の髪が、蓬々として二尺に餘つて戦ぎ、枸杞の葉が翡翠の玉を刻んだやうに、老兒たる枯木に春の温たかい恵みを見せびらかして居る。

薩南有名な靈山開聞嶽は、蒼穹遙かに紫に匂つて、我々の自動車は豆より小さく這つて行くのを、面白く興有るものに一瞥を呉つ、微笑するではないか。

開聞は又海門と書く、古字は後者の方であつたかも知れぬと思ふのは、日本最南端の關門であるからだ。巍然として海を抽く幾千尺、其形は富士山の如くにして、尾根が短いだけに、勾配が急峻に見える。一見して火山の形態を具備し、現に盛んに燃えつ、ある活火山だ。

顛娃の開聞さんな美しいお嶽

雲の帯して鹿の子の小袖

伊達をこぎやるな薄化粧

之が此地の俚諺で、開聞を禮讚したものである。

温泉地より西方約三里半の處には、幾多の傳説を持つ池田湖がある。周回四里二十九町、水深百九十尋と稱へられ、九州一の湖水である。此他多良濱の勝景があり、鹿兒島縣の試培地もある。南國氣分が横溢する處だ。

柴立温泉

形作つて居る。

泉質は無色透明の鹽類泉で、胃腸病、リウマチスに效がある。旅館は園田、泉屋。宿泊料は一泊一圓三十錢乃至二圓。

二月田温泉

腫物、子宮病、腰痛に特效があるので、態々遠隔地から湯治専門に来る者がある。旅館は月見旅館。一戸あるばかりだ。

村の湯温泉

村の湯は名詮自稱、重に附近の村民が澡浴する處の鹽類泉で、胃腸病、リウマチスに特效がある。

彌次の湯温泉

で、胃腸病、貧血、婦人病、神経系諸病に效く。旅館は本郷館、鎌田館等がある。

瀉口温泉

場は摺ヶ濱の偕樂園と共に揖宿温泉中の白眉である。旅館は海水園の旅館部の他濱田、元祿館、高砂屋等数軒、泉質は鹽類泉で胃腸病、神経痛等に特效がある。

摺ヶ濱温泉

地は瀉口から約一里、揖宿温泉地帯の最南端で、海岸に密接した平地から湧出する、泉量の豊富と泉温の高い事と、湯の綺麗な點とは、揖宿温泉中最も卓れ、往年薩摩公が入浴した大浴槽が、其儘修築されて、立派な混浴場となつて居る。之に浸つて神身を縦つ時には、焔波炎が肌を這つて、蘭湯夢を温ため、恍惚として無何有の郷に入る思ひあらしめる。浴場に接近して、百餘坪の深い石崖を疊んだ池がある。底は砂で水は僅かに二三寸、濛々として湯烟を捲し立て居るのは、谷底から白雲の湧き上るやうだ、之は以前の砂湯の跡だ、今では別府と同じやうに、海濱で砂湯に蒸されるから、此設備は自然廢滅に歸したのである。

摺ヶ濱の砂風呂は、海岸に丸太の支柱を建て、其上に苦家根を葺いたゞけの事で、浴客は各自に砂を掘つて、夫へ身體を横へる、極めて原始的の行き方だが、熱氣の蒸騰が快よく肌を抱擁して我知らず眠氣を催ほす程である。惜しむらくは潮が差して来ると、砂風呂は海に埋まり、三四尺の水深有るから、干潮時でなければ使用されない。

春立つや知林の島の緑より

知林の島はいつも青々として、目が覺めるほど鮮かである。此邊の海は一體に漁業の盛んな處だから、晝は神の御舟の白帆の影が、童話の昔語りのやうに漂よひ、夜は點々たる漁火が、不知火の燃ゆるやうに流れる。揖宿一の絶景である。

此邊の季候は頗ぶる南國的だから、春二月にして菫花咲き、櫻の早咲も笑みかたまける。菫麻子などは、大きな掌状葉を擴げて、何處に冬があるかと涼しい顔をして茂つて居るのも心憎い。

曙 山

旅館、偕樂園は其海濱に肉薄して建てられた大きな湯宿で、内湯の設備もあり、貸別荘の設けもある。

泉質は鹽類泉で、胃腸病、リウマチスに效く。宿泊料は一泊二圓以上、室料一日一圓乃至二圓五十錢。

### 山川温泉 (鹿兒島縣揖宿郡山川村)

摺ヶ濱より南へ一里、薩摩半島の南の涯、袋状をなして展開する山川港の西岸から湧出する温泉で、展望極めて明媚な地である。此温泉は近く大正十一年の開湯で、爾後温泉場の設備も漸次整ひ、現在は田村湯、大村湯、みのる湯、濱の湯などがある。

附近は鹿兒島縣下著名の漁場で、鯉の漁獲殊に多く、年額二百萬圓と稱されてゐる。夜など闇を通して山川港の街の灯を見る眺めは頗る美しい。附近には猿田彦命を祀る枚聞神社がある。此處を過ぎて二里も奥へ入れば、池田湖の絶勝に達するのだ。

泉質效能 田村湯、みのる湯、濱の湯は何れも弱食鹽泉で、外傷、慢性リウマチス、慢性濕疹、官能性

神経病、脊髄病、麻痺症、婦人生殖器慢性諸病、腺病質。

大村湯は食鹽泉で、慢性リウマチス、麻痺症、痛風、慢性婦人生殖器及び泌尿諸病、貧血、萎黄病、腺病質、濕疹等に效く。

旅館・經費 田村旅館、大村旅館。一泊一圓五十錢乃至三圓五十錢、間貸下宿等はない。

### 鰻温泉

じがある。従つて旅館として、諸般の設備は不完全だが、附近一帯に熱湯が噴出して、常に白煙濛濛として立昇つてゐるのは見ものである。前面の鰻池は周回一里餘、池中には長さ一間、重量四貫に餘る巨大な鰻が群棲するので名高い。

泉質は無色透明の硫黄泉で、慢性皮膚病、慢性リウマチス、痛風、腺病、慢性婦人生殖器病、經久梅毒、鉛及び水銀中毒、慢性鼻咽喉及び氣管支カタル等に效く。旅館なく下宿營業十軒あり、多くは貸間制度で、一人一室一日五十錢、合宿一人一日十七錢と定めてある。

### 海門温泉

鹿兒島縣揖宿郡山川村にあり、本泉は最近の發見で、實に昭和二年の開湯であるから、諸般の設備は未だ完備して居ない。地は鹿兒島灣口に當るか

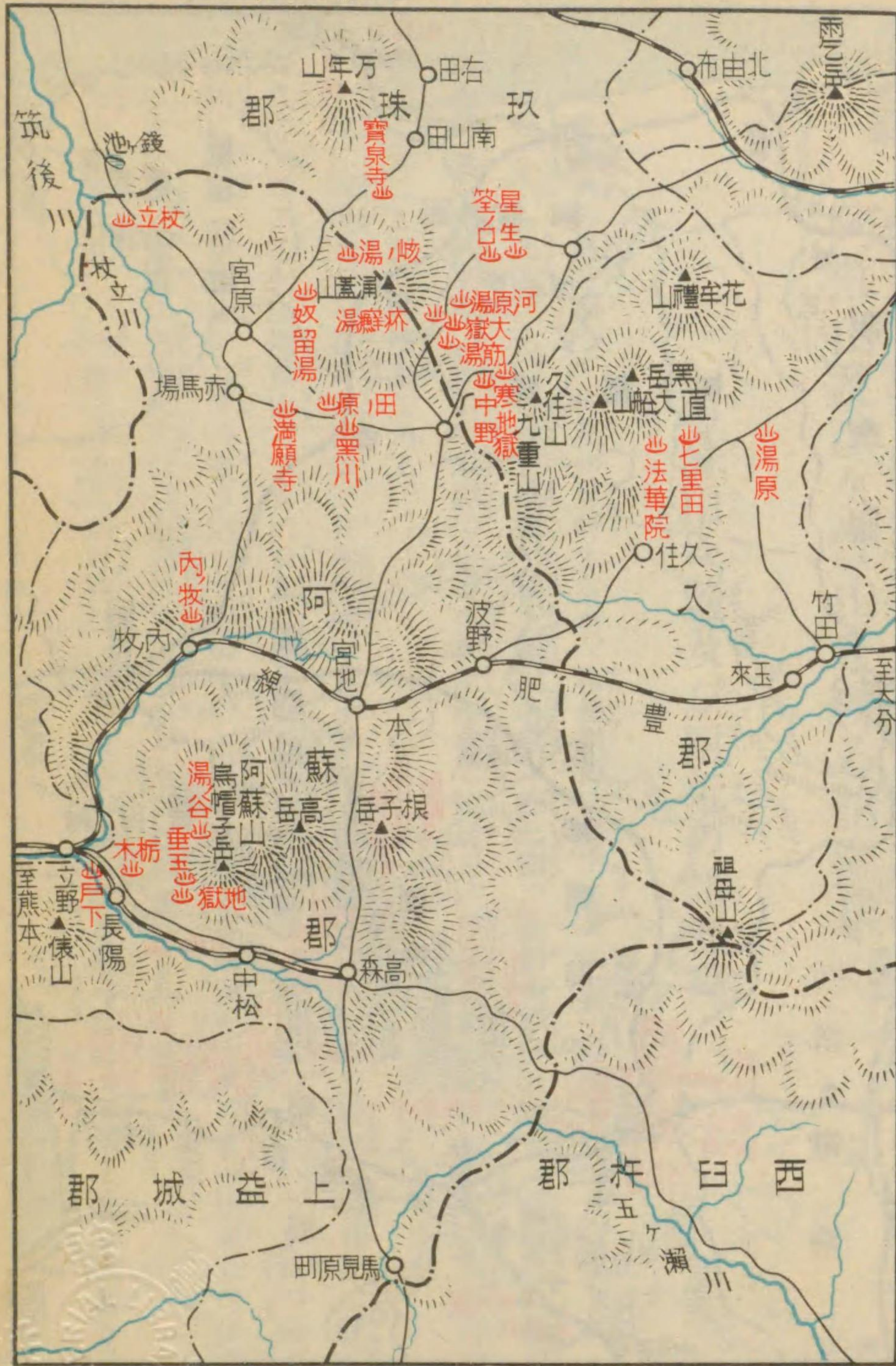
ら、風光の絶佳なる事は言を俟たない。夏季は海水浴が開かれる。泉質は微かに溷濁せる弱食鹽泉で、鹹味を有し、リウマチス、胃腸病、神経痛、神経衰弱、婦人病、痔疾、打身、火傷、切傷、皮膚病などに効く。旅館には海門旅館がある。

古里温泉

鹿兒島縣鹿兒島郡東櫻島村古里にあり、鹿兒島波止場より汽船、和船の便がある。南岸中央部の傾斜地で、安政年間に湧出した温泉場である。村湯は石疊で、防波堤を有し、二個の大きな浴槽がある。泉質は弱食鹽泉で、泉温四十五度を示し、胃腸病、リウマチス、皮膚病、婦人病に特效がある。旅館には上村旅館(内湯あり)宿泊料三食つき一圓乃至二圓、竹元旅館は三食つき八十錢以上一圓五十錢位である。

櫻島は盤上の香爐に似た秀麗な山が、美しい圓錐状をなして、鹿兒島灣の蒼波の上に泛ぶ。鹿兒島灣の風光は此櫻島の爲に錦上更に花を添へるのである。島は周回十里、九州の南端にありながら、盛夏も尙華氏九十七度を超ゆる事稀で、嚴寒に於ては華氏四十度を下る事はない。而して此島には温泉の湧出する個所多く、東岸より南岸にかけて古里、有村、黒神の三温泉があつたが、大正十二年の大爆發の際有村及黒神の兩温泉場は熔岩の爲めに埋没されて全滅したが、湧出量未だ豊富な爲、目下復舊工事中である。名物は櫻島大根。

阿蘇山及久住山を繞る諸温泉



天地正大の氣、凝つて一座の靈峰となり、萃然鎮西に秀でて、阿蘇の崢嶸となつた。高さ約一、四〇〇米（凡四、七〇〇尺）高嶽、根子嶽、中嶽、杵島嶽、烏帽子嶽の五嶽で、完全なる複成火山を構成し、鞍ヶ嶽、俵山、扇嶽の三寄生火山を有して居る。夫は富士山に於ける寶永山の如きもので、無くもがなの噴起である。

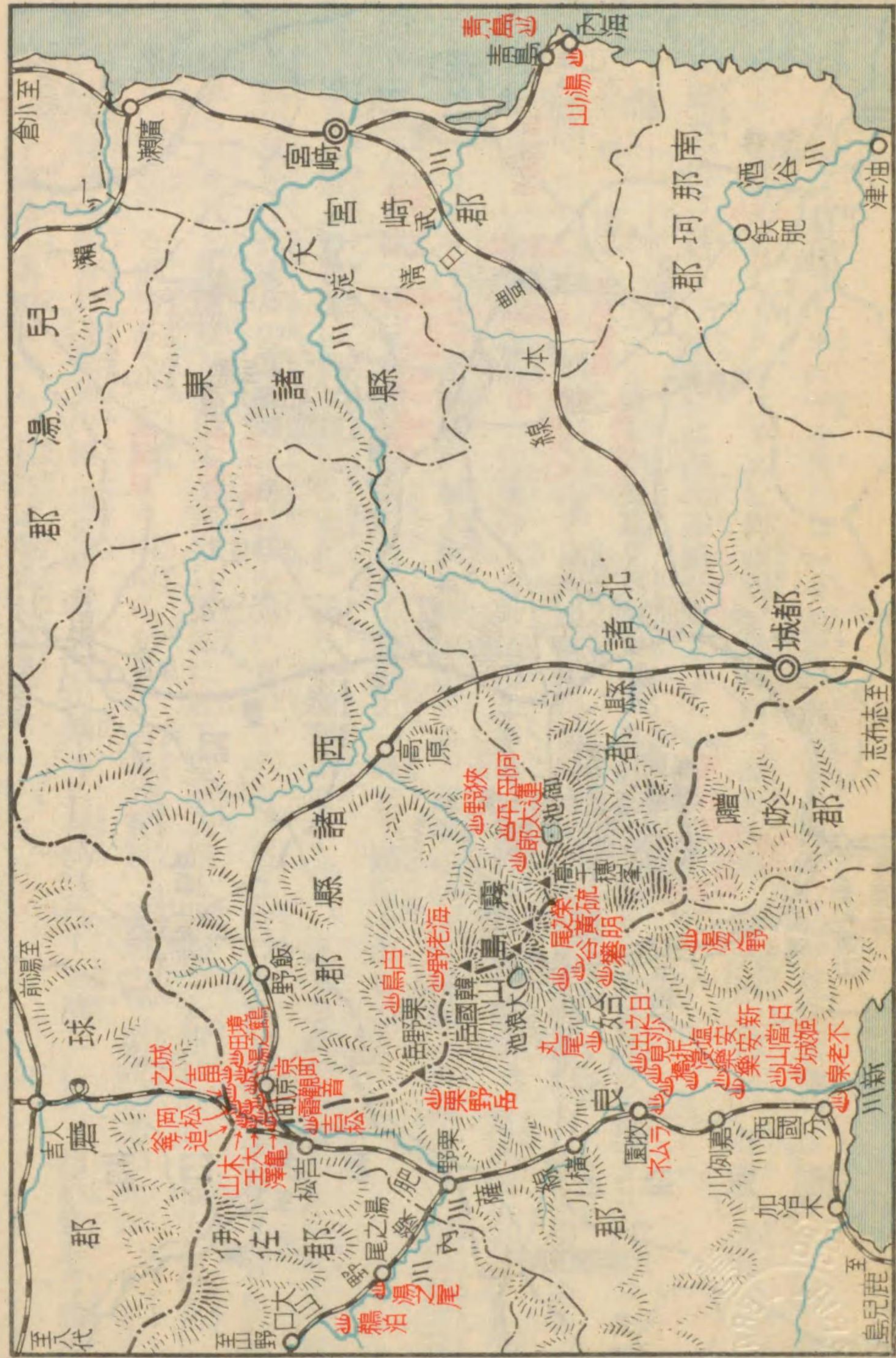
今現に噴出しつゝ、有る火山は、日本全國で五十餘座、休眠火山は何百を以て數へる程だが、就中噴火孔の大なるものは阿蘇山で、昔に日本に於て大なるのみならず、世界第一の大いさを持つのだ。如何に世界一を自分の懐へ搔き込む米國でも、天然の世界一を如何ともする事が出来ぬのは痛快ではないか。阿蘇の舊噴火孔は、南北の長徑六里、東西が四里に亘つて居る。

今の新噴火孔は、明治三十九年六月八日の曉天五時、鷄鳴夢を破る時に、天地も裂けるばかりの

### 阿蘇山及び久住山を繞る諸温泉

#### (一) 阿蘇山々麓及び附近の諸温泉

阿蘇山々麓及び附近の諸温泉

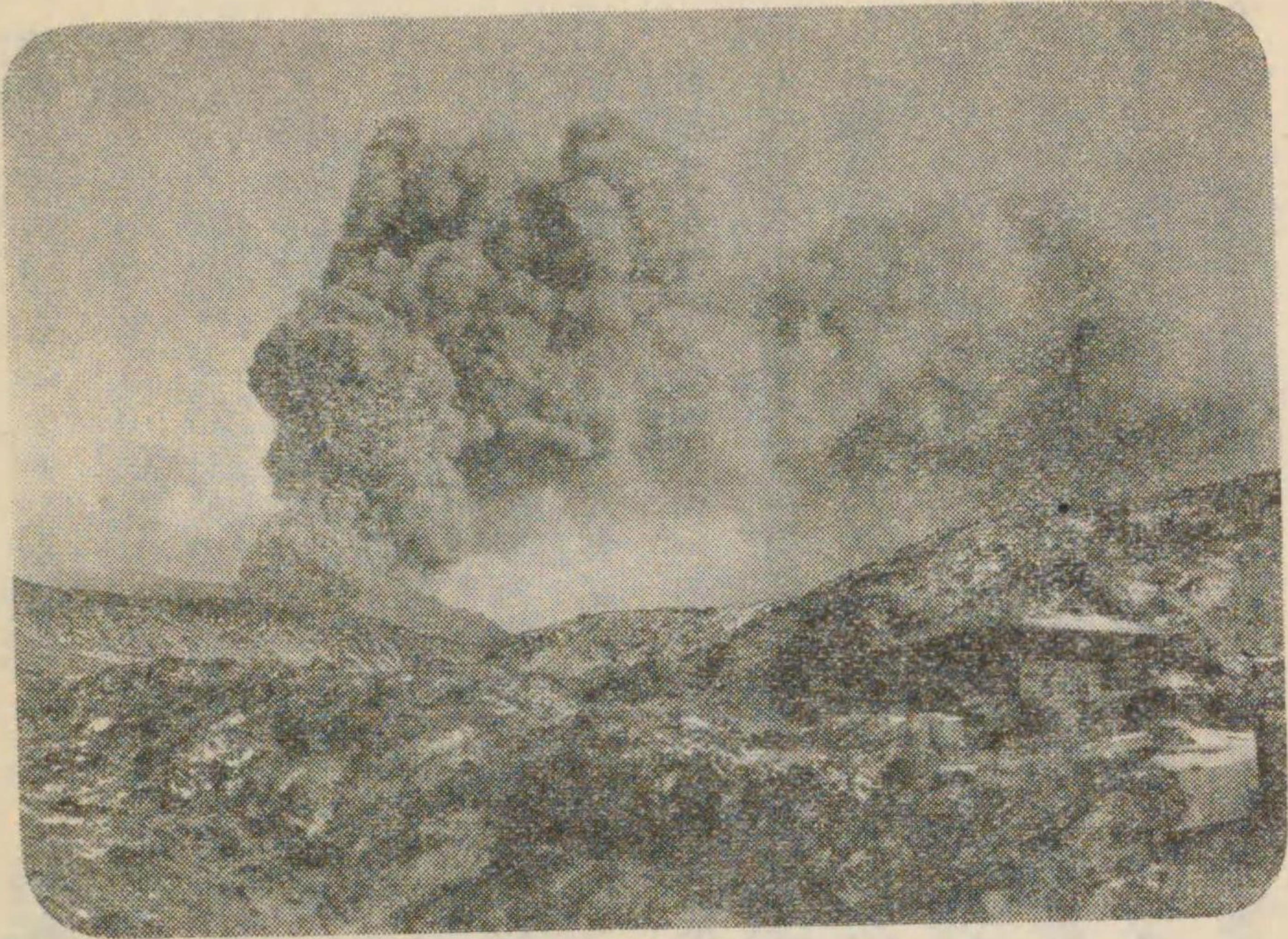




大鳴動と共に爆發したので、黒烟天を蔽うて晝尙暗く、數日の間山形を認める事が出来なかつた。此新噴火孔は直徑六〇〇米、深さ一二五米、中嶽の一角を微塵に碎いたものである。

阿蘇山が復成火山の標本的である事は、先づ第一に外輪山が完備して居る事で、豊肥線の汽車が外輪の一端を抉つて、廣漠たる火口原へ突入すると、阿蘇の主峰を中心の王座として、遠く屏風を引繞らしたやうに圍繞する外輪山の筈立、いづれも同じやうな高さに連互し、内面は直立して山肋を露出するも、外部は邇透として勾配の有るなだらかきを見せる、何の事はなく、山の表面をソツとして置いて、裏面を鋭利な剃刀で直角に削り取つたのである。而して此外輪山と阿蘇山との間は平坦なる南郷谷、阿蘇谷の大火口原、其處には豊肥線が走つて、波野、宮地、坊中、内牧、赤水、立野の停車驛があり、驛のある所は必ず多少の市街をなして居る。火口原の包有する處三町十一ヶ村之に衣食する住民實に五萬に上るのだ。火口瀨なる黒川は、同じ火口瀨の白川と、戸下温泉で合流し、外輪山の山峽を抉つて流出し去るので、何人が汽車の窓から眺めても、直に此外輪山の屏立に心附くのである。

阿蘇登山の順路は豊肥線坊中驛よりする坊中道によるのが最も便利である。驛より馬車で約一時間走れば見晴臺に着く。此處から噴火孔までは僅かに一里半、さほど急坂ではなく、休憩の茶店



阿蘇山の噴煙

が一合目毎に設けてある。此邊り、山は一面の草山で、見る眼は緑の毛氈をかけるやうで美しい。噴火孔の間近は、ザラ／＼と稱さる、熔岩で、周囲は草一本生えてゐない。生は得がたし命有つての物種といふ石標が立つて居るのは、噴火孔へ投身する不心得者を誡める注意か。坐る凄慘な氣に打れる。噴火孔は掃鉢を五つ不規則にくつ附けた様に並び、其中三つは空だが、一つは熱湯の池で、濛々と湯氣を立てゝゐる。残の一つは即ち新噴火孔で、大地の底の底から凄じき鳴動と共に黒煙を噴上げてゐる。火口の邊りからは、幾百幾千の湯玉を飛ばしながら噴出し、後から後からと噴き上げる勢ひの猛烈さは、如何なる豪傑も身ぶるひせずには居られない。

噴煙は間斷なくモク／＼と噴上つて来て古綿の如く、止め度も無く渦巻き昇ると、中天で崩れて霧の如く降つて来る。壯觀とも奇觀とも我々の持つ貧弱な形容詞では、其一端を言ひ表はす事が出来ない。附近は一望荒寥たる焼野原ではあるが、眺望開豁で、外輪山の雄姿を一眸の下に瞰下される。此處を過ぎれば山道は下りにかゝつて、砂千里ヶ濱を西に下る事約八町、阿蘇神社の奥の宮があり、道の兩側には三四軒の茶屋がある。その茶屋を過ぎる頃から、代赭色の焼野道は漸く軟らかい緑野に恵まれる。此處が阿蘇勝景の一つに擧げられる千里ヶ濱だ。此處から阿蘇谷、南郷谷の火口原を取巻く外輪山や、神話に残る二重峠などを鮮やかに指點することが出来る。

此雄大なる活火山の占むる面積は、百三平方里で、東西十二里九町、南北十一里半に達するのだ。而して此火山の寵兒たる温泉は其東西側の山麓から中腹へかけて頻りに湧出するので、登山者を驚かす爲の馳走振を示すかのやうだ。立野から行く戸下、栃木、湯の谷、下田から近い垂玉、地獄の諸温泉、外輪山となつて、大分縣と境する北小國、南小國の村には、杖立温泉を始めとして、満願寺、黒川其他の諸温泉が湧出する。然し是等の温泉中には、從來交通不便の爲、入浴の困難を感じ、和だし、寔境は閑雅だし、眞面目に療養したり、避暑したりするには詭へ向である。

阿蘇の郷は古へ阿蘇氏の領土として、威武を鎮西に張つたものである。阿蘇、飽託、球磨三郡は殆んど其勢力範圍であつた。阿蘇三郎忠國が其女白織を爲朝に妻したと云ふ、華やかな美しい話は、弓張月の綺語ではあるが、當時阿蘇氏が肥後に雄飛しつゝ、あつたのは想像に餘りがある。

豊後の府中に居た爲朝が、愛臣須藤重季を雷火に打たせ、併せて馴狼山尾を失ひ、鬱々として樂しまぬ、或夜の夢に、白綾の桂袴に紅の花を簪にした一人の上臈が、端然として枕邊に来て言ふには、  
「妾は近頃御許が養ひを得て、我身に恙なき嬉しさに、告げ參らせることの侍る。明日妾を具して肥後國へ立ち越え、阿蘇の宮の邊にて妾を放ちたまへば、必ず賢しく艶やかなる内室を娶り、宜き後援を得たまふにこそ」

言ふかと思ふと、南柯の夢は覺めたが、倩ら考へる處、近頃にも遠頃にも、女を養つた覺えといふものは無い、只先頃木綿山で、一羽の鶴を助けて今猶飼育して居るのがある、夫は康平六年三月源義家放之といふ黄金の札を脚に附けて居た、其札が木の枝に絡まつて飛び去る事が出来なかつたのである。康平六年から今久壽元年までは九十八年、其の長い間天地を悠々と徜徉して居た靈鳥、夫が夢枕に立つのは故有るに違ひないと、爲朝は翌朝主人季遠に辭して、鶴を下郎に昇がせながら、肥後の國へと鹿島立ちした。而して阿蘇山下の今の宮地へ懸ると、其處は阿蘇三郎の居館でもあり、阿蘇神社の鎮まり在ます靈地である。町並も整つて、人の往來も多い。爲朝は物珍らしげに見廻しつゝ、神宮の方へ行かうとすると、忽ち銷魂

しい人の叫び、轟く聲、狂人を趁ふ不狂人のやうに、何かは知らず、我もく、と山麓の方へ駆けて行く。其處には文珠院といふ眞言の伽藍があつて、寺門は左右に押開かれ、高い五重の塔が其正面に聳え立つて居る。

『太い畜生も有るものだ、人間に構つたと。猿では無い狒々だらうぜ』

『何だか知らぬが、其猿奴が御姫様の侍女の若葉といふのを咬殺して、文珠院へ逃げ込んだのだ。だによつて御領主様がお怒りになつて、彼様に大勢で取詰めて御座るが、彼の通り猿は頂邊の九輪の上へ登つて、御領主様に尻を向けて調戲つて居るのだ、手の附けやうが有るまいな』

物見高い見物の噂に、爲朝がヒヨイと見上げると、果して雲際遙かの塔の上に、八歳九歳の子供かと思はれる猿が居て、宙返をしたり、逆立をしたりして、塔の下に犇々と詰め寄せた武士を飽まで欺むいてゐる。如何に勇猛な阿蘇一黨でも、元より打物は用ふべくもなく、矢も届く筈はないから、手を束ねて忿激するばかりである。

寺門には一枚の貼紙が有る。『文珠院塔上の猿を射落したらん者は、最愛の女兒白縫をもて妻はすべきものなり、久壽元年三月日』と、墨黒々と認められた。之なり之なり、夢に告げた鶴の夢枕、正しく我身の運が開くべき時節だと、爲朝は東々と門内へ進み入つて、掛の者に向ひ、

『某こそ彼猿を射落し申すで御座らう』と申し出た。

忠國が見ると、其人は年の頃十六七で、筋骨逞しく、面白くして鼻梁通り、眉は遠山の緑、唇は春の花

の紅、耳厚く瞳二つ有るといふ異相だ、身の丈七尺餘り、寔に只人とは見えぬから、忠國は殆んど驚嘆した。

『御身能く彼猿を射落しなば、我家の婿とするに仔細は有るまい』と言つた。

『兎もあれ、某が弓勢の程を知らせ申すで御座らう』

爲朝は従者を顧みて、手馴の弓を取寄せた。名にし負ふ日本一の強弓彎き、宛ら鐵を撓めて弦を張つたやうだから、忠國始め並居る家來は驚き呆れた、是程の弓を彎かん者、古へにも絶えて聞かず、況して後の世に有るべくもないと、頼母しく覺えた。

すると塔上の猿は、爲朝を見て驚き忙てた、人もあらうに日本一の弓取の箭先に懸つては、逃れる術は無いと、いふ靈感が、狡獪なる老猿を脅やかしたのである。忽ち顔を掩うて泣く眞似を始めた。其處へ住職から命乞を願ひ出たのは、

『當山は畏くも仁明天皇の勅願にして、塔の上には勅封の佛舍利を奉安して有るから、之に向つて弓を彎かんこと、之れ朝敵佛敵に齊しかるべく存ずる、且彼猿罪ありとも一度寺内に入り候を、無下に殺さん事、法師の忍び能はざる所、旁々御宥免下し置かれるやう。』

尤もらしい可笑しな理窟を附けて、是非に許して呉と有るので、忠國が聊か躊躇ひ、爲朝も遠慮して元の處へ退くと、其處は猿の淺智慧、もう占めたと思つて、俄かに元氣を出し、又しても翻筋斗を始めたたり、尻を敲いて辱しめた。

今は許すべきに非ずと、忠國は火の如くに憤激する、爲朝も痛く望みを失つたが、此時籠の中の鶴が急に羽叩きを始め、今にも飛立たん氣勢を示したので、八郎御曹子之を見て曉り得た、夢に妾を阿蘇の宮にて放せと言つたのは此事に違ひない。

『慮外ながら某、弓矢を用ゐず致して、彼の猿を打落して御覽に入れるで御座らう』

『オウ何かは存せぬが、一段の事である、疾く〜試みるやう』

激昂に激昂した忠國は、弓矢の外に猿を屈する事が出来れば手段を選ばない。

御曹子は束々と籠の側に立寄つて、静かに籠を取除くと、丹頂の鶴は唳々と名残の一聲を遺した儘、上

九萬里を搏つ翼を張り、蒼空高く翔ひ上ると見えたが、塔上の猿を見向もやらず、其儘行方も知らず飛去つて了つた。

忠國も驚けば、爲朝も呆れ果てた。並居る郎黨は心の中に、鶯雛ならばいざ知らず、鶴が雀を取ること

さへ聞かぬを、世にも白痴者があるものだと思つて居ると、忽ち人々の間に動搖めきが起つた。

『あれ見よ、鶴が歸つて來たぞ』

『夫れ〜、西の方から鶯地に飛んで來るわい』

上下の瞳は束になつて虚空へ惹附けられて了つた。空は高く日は朗かなり、天際一點の黒影、黒子の如

く蒼空に現はれたかと思ふと、見る〜鳩の大いさとなり、鶯の大いさとなり、忽ち中天に環を描いて、

悠然と翼を搏つ雪白玲瓏の名鳥、塔の火珠の上一反ばかりを、大きな環から小さな環に縮めつゝ、猿を中

心に渦を描いて居る。猿は九輪の頂きに捉まつて、不思議さうに夫を見上げながら、近く寄れば掴み控がうとする見幕だ。

『鶴と猿の喧嘩が始まるぞ、前代未聞だ』

『鶴が獸を取るといふのを聞いた事はないが、此鶴ばかりは怪態ぢや』

門の内外鳴を沈めて閑として音なく、虚空に有つては晴の勝負である。

忽ち猿は呀と忙て、顔を押し、急いで火珠を下らうとする途端、鶴は流るゝ虹の如く、颯と落し來て、

長い嘴で猿の脊を突いたかを見ると、猿は彈丸の如く控と大地に墮ち、鶴は直に虚空遙かに舞ひ上り、南

を指して飛び去つて了つた。

空を見上げて居た群集は一時に歡呼の聲を上げ、津浪の如く雷動した。猿は脊より胸へと貫ぬかれ、目

鼻の間には夥だしく砂が懸つて居た。鶴に鶴が一度飛び去つたのは、砂を啄む爲で、猿に目潰しを呉れた

のであつた。飛ぶ禽と雖も、事に臨んでは能く強敵を拉ぐの智がある。

之から御曹子が本名を名乗つて、阿蘇氏の駙馬となり、美姫白織の深閨で、『白織風流女兵を操る』の嬌

艶な場面となるのである。

此阿蘇氏の居館たりし宮地は、海拔凡五四〇米（一、七六七尺）今の宮地驛の南十町に阿蘇

神社が有る。西國一の官幣大社で、皇祖神武天皇の御孫健甞龍命を祀る。命は宗室の親を以て西

國鎮撫の大命を受け、筑紫に下つて肥後の國に入り、阿蘇津媛を娶つて、此宮地に住ませられたの

で、火の國開闢の祖である。  
大宮司として、世々阿蘇神宮に奉仕する阿蘇氏は、實に神孫直系の家柄で、男爵を授けられて、今尙宮司として時めかれるのである。

戸下温泉 (熊本縣阿蘇郡長陽村)

鹿兒島本線熊本驛より、豊肥線により、立野驛下車(熊本、立野間、一時間餘、賃五十二錢)驛より十八町、自動車賃三十錢、馬車賃二十錢。

戸下温泉は阿蘇温泉境の玄關口とも言ふべき位置を占め、立野驛の直下、密樹鬱鬱たる山峽に、白川と黒川とに挟まれつゝ、雲糸縷々として湧く谿谷に在る静寂境だ。

阿蘇の山麓でありながら、阿蘇を見る能はざる程、近い四山が眉宇に落ち懸つて来る。然も其山たるや黛柏蒼松森然として、容易に攀ぢ登る事が出来ぬ程意地悪く屹立して居る。白川の對岸に在る北向山、名からして皮肉であるだけ、其鬱々たる大密林は、太古からなる原生林で、曾て斧鉞を入れた事が無いと言ふから驚く。凡そ原始の處女林で、多少とも人里に近い處にある者は、必ず人

間の汚漬を蒙つて居るから、天に誓つて純潔と言ひ得る者は無いのに、此北向山ばかりは、交通極めて至便の地に在りながら、今日まで賤しい洗禮を受ける事無しに潔い貞操を保ち得たのは、寧ろ奇蹟である。殊に此山の紅葉の美は、刮目して仰ぐ程嫵媚たるもので、名利に齷齪する人間に在るべき景地ではなく、悉皆漂渺たる仙境である。剩さへ野猿の蕃殖を保護すべく、絶對禁獵區となつて居るから、月に啼く猿の叫び、妻戀ふ鹿の聲、夜の哀れを詩腸に濺ぐには、戸下温泉の一夜が、如何に遊子の腸を搔き巻るであらう。

此地は栃木温泉と共に、阿蘇登山の準備地とされて居るが、今では立野から汽車に乗つて、坊中驛で下車し、其處から登るのが便宜になつて居る。戸下から直ちに登攀するならば、栃木を経て、乙ヶ瀬、湯の谷、千里ヶ濱、阿蘇奥社の靈前に詣して、中嶽の噴火孔に至るまで、坊中道から見ると、遠くして且つ峻嶮である。

附近の名勝には鮎返の瀧がある、九州へ入ると溪流に瀧があれば、極つて鮎返りと呼ぶ、別府然り、耶馬溪然り、此處も御多分には洩れないが、しかし人眞似をしたわけではあるまいが九州には此名の瀧が可成り多い。尤も何處が本家だか夫は解らない。

閑話休題として、此處の景色は見逃せない形勝だ。又十數町を隔てた黒川の上流に下野の狩場と

いふのがある、之は阿蘇氏全盛時代に慣行した狩獵地、實は一種の練武場だつたのだ。右大將頼朝が富士の卷狩をする時、豫じめ人を派して、阿蘇氏の卷狩の様式を窺がはせたといふ事である。數鹿流の瀧、白糸の瀧は黒川の主流に有つて鞆鞆四山を震はせる大瀑布である、其上方兀たる丘陵の上に京都大學附屬の火山研究所が設置され、本邦唯一の火山究理所と稱せられる。高森線の白川に架けられた鐵橋は、長さ五百尺、高さ二百尺、宛がら銀河の落ちて峽谷に横はるが如く、汽車で此上を通る時よりも、下から見上る方が、一層身ぶるひが出るのである。

泉質效能

本温泉は四町を距る栃木温泉より分湯した石膏泉で、泉温四十二度、リウマチス、神經痛、酒精中毒、婦人病、痔疾等に效能がある。

旅館・經費

碧翠樓一戸、普通湯、特等湯、家族湯等の設けあり。宿泊料一泊二圓五十錢乃至六圓まで、中食はその半額位、自炊は席料及副食物で一日七八十錢乃至一圓位で滞在出来る。

栃木温泉

(熊本縣阿蘇郡長陽村栃木元湯)

豊肥線立野驛より約一里、自動車賃五十錢。▼高森線長陽驛より十五町、自動車賃二十錢。

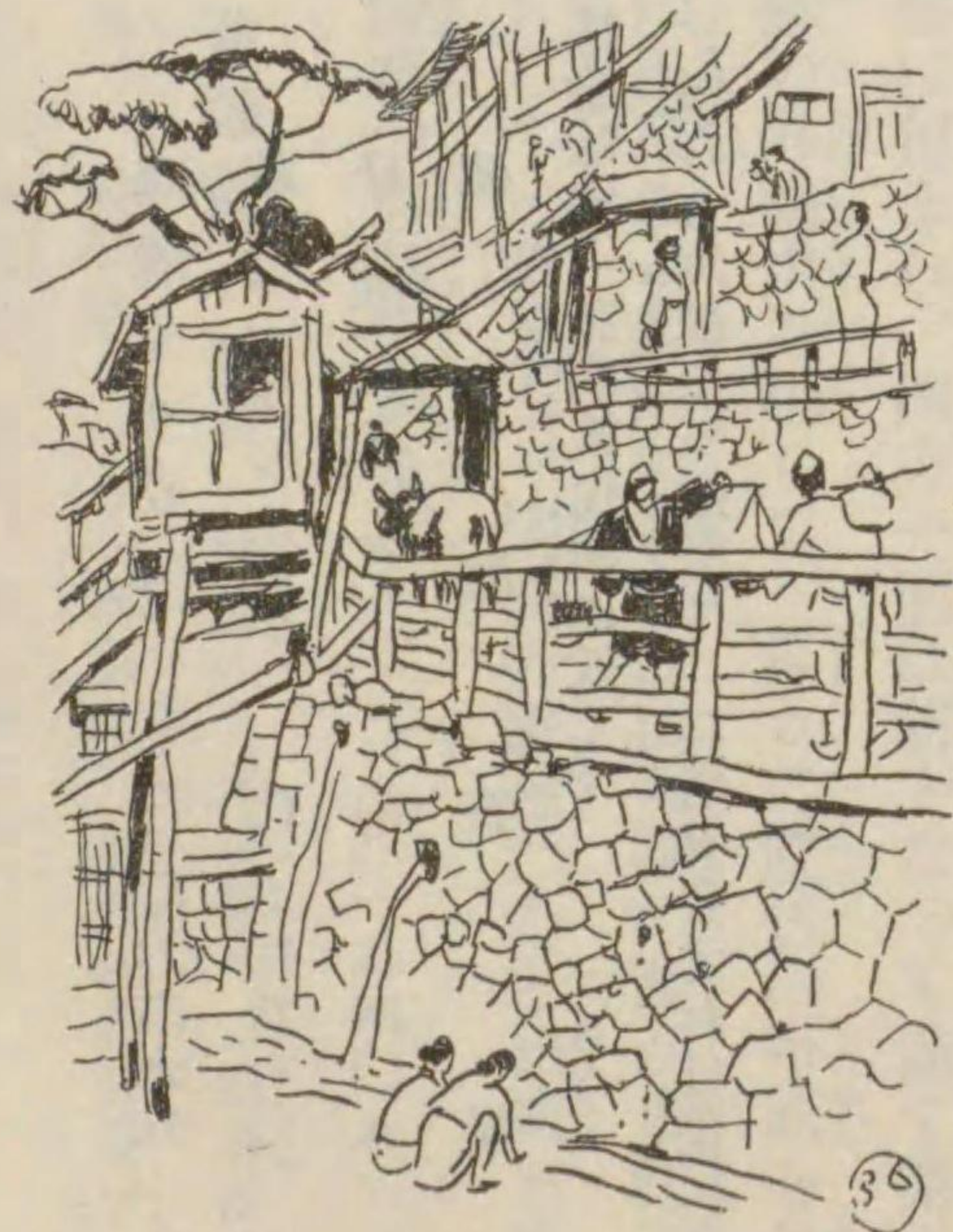
戸下より更に半里登ると、翠巒四周を繞らし、白川の溪谷に臨んだ所である。此處は盛夏尙冷氣を覺ゆる塵外の別天地で、客舎は斷崖に倚つて建てられ、溪流を枕にする景趣は又一段と深い。此處から溪流に沿うて數十間、絶壁開けて奔水直下するところ、其處は前項にも記した『鮎返の瀧』で、夫と相對する目覺の瀧は、百尺の天絲が虚空より落下するの壯觀が有る。

温泉は古湯と新湯とある。

古湯はこれを三槽に分ち、冷水を加へずして自ら微温(觀音湯)、温(平湯)、熱(熱湯)の三泉を湛へてゐる。新湯も浴槽三ヶ所を有してゐる。

此湯は今を距る二百六十餘年前、寛文四年に肥後熊本藩主細川侯の家臣達が、阿蘇へ猪狩に行つた時、偶々手負の猪が此温泉に傷を温めて居たのを見て、始めて發見したと云ふ物語を傳へる靈湯である。

其の後此の温泉は舊藩時代にも發展はして來たが、近時に於て諸般の設備も著しく改善され、



撞球場が有り、温泉プールが出来るといふモダン振である。

泉質效能

古湯—『観音湯』は無色透明、三十九度の含鐵明礬泉、『平湯』は無色無味、四十二度の石膏泉、『熱湯』は四十七度の鹽類泉、新湯は無色透明の石膏泉で、泉源温度四十六度半を示してゐる。九州藥學專門學校の定量分析による鹽類表によれば、その含有成分左の如し、

新湯(石膏泉)

クローリナトリウム	〇、一九八七〇	硫酸カリウム	〇、〇六二九五
硫酸カルチウム	〇、〇六八三五	硫酸マグネシウム	〇、二四八一〇
重炭酸マグネシウム	〇、二二八二五	硅酸(メタ)	〇、一八四〇八
硫酸アルミニウム	微量	硼酸	微量

リウマチス、慢性濕疹、神経痛、婦人生殖器病、外傷性諸障害、諸病恢復期に效く。

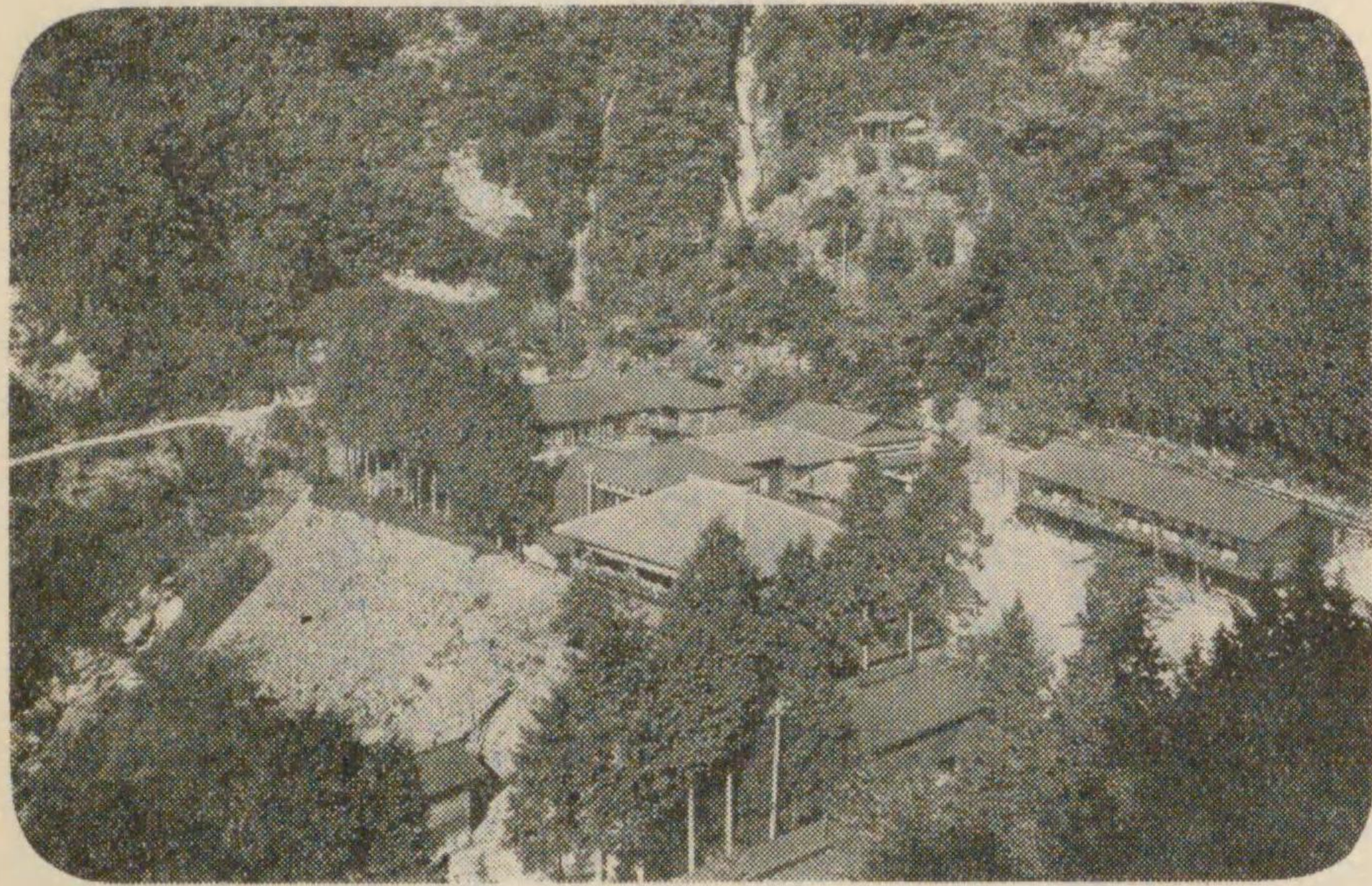
旅館・經費

古湯に小山旅館、新湯に荒牧旅館がある。何れも宏壯なる建築で、二者を合すれば優に六七百人は收容出来る。宿料其他、略く戸下に同じ。

垂玉温泉

(熊本縣阿蘇郡長陽村河陽)

豊肥線立野驛より分岐する高森線により長陽驛下車、それより約二里、自動車賃六十錢。



景の泉温玉垂

栃木温泉より約二里、阿蘇登山道栃木口の中途にある。こゝは眼界濶く、栃木、戸下の諸温泉を俯瞰し、背後には夜の峰が天を衝いて聳えてゐる。三面は絶壁に包まれ、西方一面は谿となつて遠く開け、大阿蘇の外輪山を越して、遙かに肥後の平原を見通す事が出来る。西南の碧崖には金龍の瀧が飛沫玉を迸らしつゝ、落下し、崖樹の鬱葱たると相映じて、幽邃清絶の形勝である。

泉質效能

新湯、油湯の二泉が有る。前者は硫黄泉で、神経痛、リウマチスに、後者は石膏泉で胃腸病、神経衰弱、腦病、婦人病に效く。

旅館・經費

垂玉温泉旅館一軒、宿泊料一泊二圓以上四圓位。自炊一日五十錢以上、伺ひ制によれば一日一圓内外で滞在出来る。

### 地獄温泉

(熊本縣阿蘇郡長陽村)

垂玉温泉より南の方坂一つ越えた夜の峰の中腹から湧く。海拔七六〇米(凡二、五〇〇尺)の高原に位してゐるから、展望も佳ければ、夏も透き徹るやうに涼しい。肥前肥後二州の景はデエオラマのやうに双眸に集つて來る程、晝の如くに展開する。眼下に見る白川の流れば銀蛇の蜿蜒たるが如く、飽託の平野を縫つて、有明の海に乘込む様も見られ、遙かに海を隔て、雲表の彼方に雲仙の雄姿を望む事も出来る。此雄大開豁なる眺めと空氣清澄なる環境とは、正に此温泉の絶大の價値で無くばならない。

温泉は本湯と新湯とに分れて、各々その泉質を異にしてゐる。

#### 泉質效能

本湯は含鐵酸性泉で、泉温九十五度、新湯は明礬泉で、六十度を示してゐる。熊本藥學專門學校の定量分析による鹽類表によれば、その含有成分は左の如し。

本湯

クロールナトリウム

〇、〇〇三五一

硫酸ナトリウム

〇、〇五七七四

硫酸カリウム 〇、〇二五三六

硫酸アルミニウム 〇、二〇五四三

硫酸亞酸化鐵 〇、〇八八〇四

硫酸カルチウム 〇、一〇七九二

硫酸マグネシウム 〇、〇四四七五

硅酸(メタ) 〇、一三二四〇

遊離炭酸 〇、〇七三三五

效能は大同小異で、皮膚病、腦病に特效あり、婦人病、貧血、慢性胃腸カタル等に效く。

旅館・經費 岩本館(内湯あり)。宿泊料一泊一圓五十錢以上四圓、自炊制あり、室料諸道具料その他一切にて、一日六十錢以上で滞在出来る。

### 湯の谷温泉

(熊本縣阿蘇郡長陽村)

豊肥線赤水驛より一里半、立野驛より二里半、高森線長陽驛より一里餘、栃木温泉より一里半。

阿蘇五嶽の烏帽子岳の中腹にあつて、海拔八〇〇米(凡二、六四〇尺)の高處、阿蘇温泉中最高地を占めてゐる。肥後の平野を一眸の裡に收め、有明の海を越えて、遙かに雲仙ヶ嶽を望むべく、風光明媚にして阿蘇中の白眉と稱される。

長生館の東方、八千草生ひ茂る小丘の下に、沸々として濛氣立騰る雀地獄がある。湯の谷温泉は



此處から引湯したもので、附近には大小幾多の噴氣孔が、蜂の巢の如く散在し、恰も大噴火口の縮圖を見るが如く、地質研究者の見逃すべからざる地である。又四季の景觀はそれぞれ異つた山の景色を描き出す、殊に晩秋紅葉の候には、眞向ふの雲仙の姿が愈々澄んで、眺望更に雄大を加へる。  
近時、夏季には温泉講堂が設けられ、修養會、講習會場などに充てられるのは、土地が高燥清涼の爲である。

泉質效能 酸性明礬綠礬泉で温度泉源九十二度。

定量分析表は、

硫酸カリウム	〇、〇〇二七
硫酸ナトリウム	〇、〇一二七
鹽化ナトリウム	〇、〇一一四
硫酸亞酸化鐵	〇、〇一六四

湯の谷温泉の雀の地獄



硫酸アルミニウム	〇、〇一三三	硫酸カルチウム	〇、〇三〇九
硫酸マグネシウム	〇、〇一六三	遊離硫酸	〇、一一一九
硅酸 (メ、タ)	〇、三一〇五		

效能はリウマチス、貧血、腸胃カタル、神經痛、臍病、切傷等によい。  
旅館・經費 長生館。宿泊料一泊二圓以上五圓位。自炊一日六七十錢位。伺ひ制一日八九十錢より二圓位にて滞在出来る。

### 内牧温泉 (熊本縣阿蘇郡内牧町)

豊肥線内牧驛より北方約一里、自動車、馬車の便あり、自動車賃十錢、馬車賃十五錢。  
此湯は阿蘇火山口原の内牧平坦部に在る。近く明治三十年頃から湧出したもので、内牧町内にある約數十ヶ所の温泉と西部にある折戸温泉、東部にある湯山温泉を總稱して、内牧温泉と云ふ。  
昔は細川公參觀交代の道筋に當り、當時は相當の茶屋なども在つたといふ事だ。温泉場としては他と大して變つた處もないが、此處から仰ぐ阿蘇の景は實に雄大である。高嶽、中嶽、往生嶽、烏帽子嶽など、一々指點するを得べく、又、高嶽より少し左に離れて、根子岳が畸形なる峰頭を巉立

してゐるのを、眉間に仰ぐ事が出来る。徳富蘇峰氏が大觀峰と名づけた外輪山の遠見ヶ鼻は、此處より東北方一里の處にあり、頂上まで自動車を通ずる。

此地は三伏の盛夏にも華氏七十度を超ゆる事稀だから、避暑には好適して居る。夏期大學其他諸種の講習會等が避暑時を選んで、毎年開催される。

泉質效能

炭酸性弱アルカリ泉で、泉源温度四十六度を示し、慢性氣管支カタル、胸腹膜、内滲出性疾患、腺病、肥胖病、病後の衰弱、慢性リウマチス、婦人生殖器病、慢性カタル、慢性皮膚病に效き、内服すれば消化器系諸病によい。

旅館・經費

西帯屋、誠屋、八代屋、小松屋、大觀樓、角萬屋等。宿泊料一泊一圓五十錢以上四圓。

杖立温泉

(熊本縣阿蘇郡北小國村杖立)

豊肥線内牧驛より北方約九里半、自動車の便あり、賃二圓二十錢。近時熊本市より直通自動車の便が開けて、賃三圓二十錢(夏季は二圓五十錢)五時間で行ける。

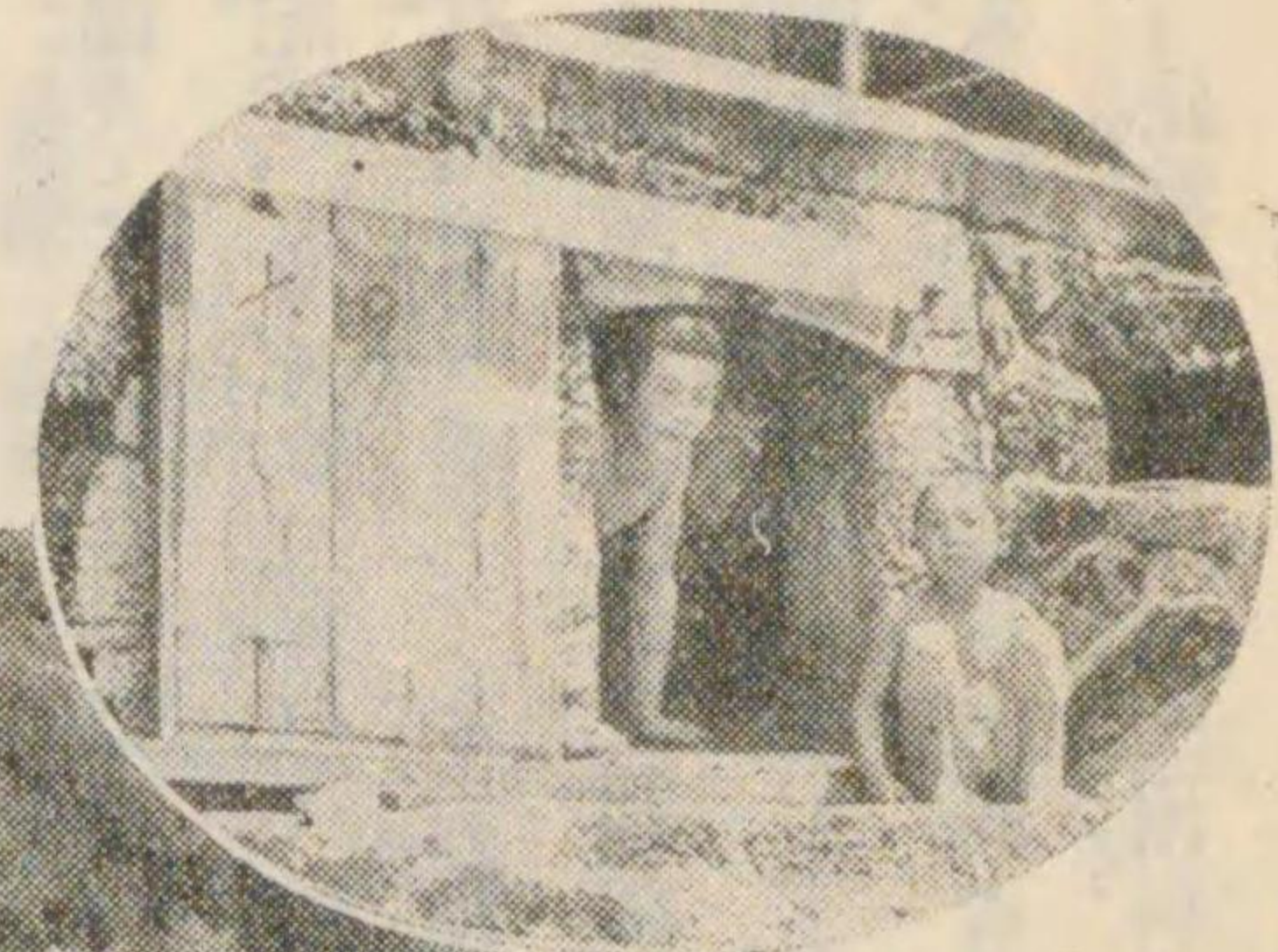
神功皇后御懷妊に御在して、三韓を征伐あらせられ、瑞たく此地に凱旋になると、俄かに御産氣附かれたので、取敢ず御産湯の靈泉を求むべく、侍臣は急ぎ筑後川に沿うて、眞清水の湧く處を探

ると、途で清癯鶴の如き白髮の一人人に遇ひ、其指示に因つて、亂石を躡んで狭き蹊を分け入り、雲霧濛々として立昇る處に、自からなる玉の温泉が湧き出で、白玉の岩の凹みから、潺々として溢れて居るのを發見した、清き事人心をも滌ふばかりである。侍臣は驚喜して夫を掬み、誕生の皇子(應神天皇)に、甘露の淨浴を薦め參らせたと言ふので、今も尙産湯の名が残つてゐる。

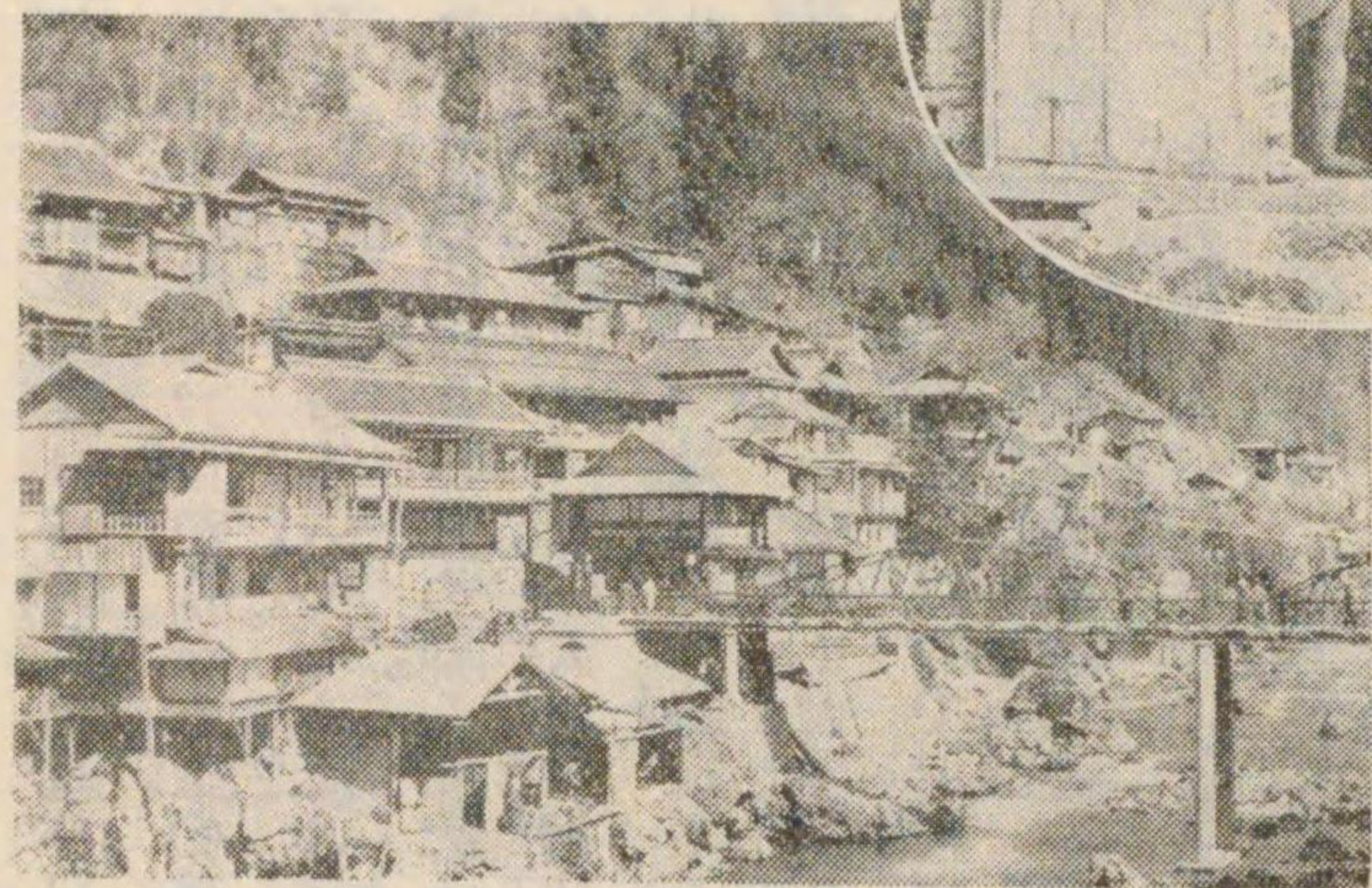
其の杖立の名の有る所以は、光仁天皇の御代に、弘法大師空海が、衆生濟度の爲に諸國を巡錫した、其の時此湯を試みて、效驗の奇特なるを知り、現世最上の靈湯と稱へ、薬師如來の尊像を彫み、消洞山雲泉寺を建て、夫を安置した上、末代弘誓の印として、携へた所の竹の杖を立てた處、其節々より倒まに枝葉生じて繁茂したので、杖立の名が生じたのだと云ふのは、何れも同じ高僧靈驗記で、東京の市中でさへ、麻布善福寺の逆さ銀杏の如き、親鸞上人の杖から伸立つたと云ふ傳説があり、斐々として今尙繁茂しつゝ有る。

今も杖立には、大師が入湯したと傳へる薬師湯が存して居る。藩政時代には藩主細川越中守が度度此地に遊ばれたので、其名國中に高く、御前湯の稱が残つて居るが、近年浴客頓に増加し、日奈久、栃木、垂玉、山鹿と共に熊本縣下五温泉の一指を屈せられて居る。

此地は筑後川の上流なる杖立川の谿谷を、左右沿岸の山々が緊縛するかの如く締め附けて居るか



上 杖立温泉むし湯  
下 杖立温泉全景



ら、目の之く所は緑の雲と白い水の涼々たる流れ、其の緑の中には、紅黄紫白取々の花が咲き亂れ、秋は満山の錦に、立田姫の袖を翻へして舞ふ天壇のダンス場である、全く俗寰を杜絶した神仙境で、大氣は飽く迄清く、氣候は彌が上にも軟らかい。酷暑にも八十度を越える事は稀で、夫も日盛二三時間に過ぎない、水が清く谿が明なので、蚊と云ふものが孵かないから、蚊帳は全く必用が無い。夏の夜は蚊を疵にして五百兩の句は有るが、此處は蚊が居ないから、春宵一刻の價値と同じに、千金の尊さがある。然も冬は熱泉の爲に、一帯の雰圍氣は極めて温潤、四山の頂きは白衣を着ても、此邊には霜も結ばない。

附近には名勝多く、西南部の温尼淵に臨んで、杖

立公園が設置されて居るが、特に公園といふ都會の亞流に泥つまずとも、杖立全山が業に公園であるのだ。此處より二町餘にして、百餘尺の懸崖を碎いて、銀河天上より迸下する白絲の瀧が有り、湯見嶽には八間岩の偉觀、觀音岩の天工、又下城の瀧、上田の瀧など、懸水の奇變端倪すべからざる絶勝が有る。

杖立より東方二里半、宮原町に古傳説を水底深く沈める鏡ヶ池、碧瑠璃の泉を湛へて、古蒼人面を照すの觀が有る。

醍醐天皇の御代に、清原少納言正高朝臣が、事を以て遠く火の國へ下られたが、海山萬里を隔て、其の音信は全く絶えて了つた。すると朝臣と深い契を交した官女が、思ひに堪へ兼て都を迷ひ出で、蹤を慕つて此地まで憶がれ來たが、其處には渺茫たる千頃の池が有り、漫々たる水を湛へて、蛟龍も棲むかと思はれる。池の畔の小高き丘は老樹鬱蒼として晝尙暗く、魑魅木精の隠れ棲む魔所かと思はれるばかり、丈なす草に埋もれて、何とも知れぬ古祠が、傾く軒場に蜘蛛の巢を張り渡して居る。

朝臣を尋ねあぐんで、精も衰へ、根も盡きた上臈は、草鞋に食はれた玉の足に血を滲ませながら、神前に平伏して、朝臣に逢はせたまへと、必死の祈りを上げた。人事を盡して力及ばねば、神の袖に縋るより外無いのだ。祈り畢つた上臈は陽炎のよるめくやうに立上つて、池の汀に臨むと、都より携へて來た粧奩の鏡、夫には女の魂が宿つて居るのである。夫を龍神への贄として、颯と水面に投げた。不思議や、鏡は

直ちに水に沈みもせず、少時水面に浮いて居たが、懸て静かに静かに水底へと平らに沈んで行く、一寸二寸三寸、明晃々たる光の面は、次第に蒼白く消え失せる、一輪の明月が薄い霧から深く雲へと隠れ去るのである。

美しき衣着たる上臈が、汀の柳の下に立つて、心からの祈願を罩める幻のやうな姿、蒼々とした池水が岸を浸して、贅の鏡を呑み去る物凄い場面が、今も尙池畔に立つて想見される程、四邊が太古のやうに静かだ。俚人の信ずる處によると、四邊濛霧に閉ざれて、湖面静寂の時、水中に鏡の影が現はれる、或は三つ五つ、時としては八つの淀んだ圓形の光物が朦朧として水面下五六尺の處まで浮上り、曇つた銀の幻となつて、有るかと思へば無く、無きかと思へばある。大抵の者は物凄くなつて、再視する事は出来ないと言ふ事である。

泉質效能 殆んど無色清澄で、鹹味を有し、弱アルカリ性反應を呈す。泉源に於ては沸騰温度を示してゐる。定量分析による鹽類表によれば、その含有成分は左の如し。

クロールカリウム	〇、〇二〇六九	クロールナトリウム	一、〇三〇五〇
硫酸アルミニウム	〇、一三七七四	重炭酸カルチウム	〇、〇八六六七
重炭酸マグネシウム	〇、〇一〇二七	硅酸(メタ)	〇、二三六一四
硼酸	微量		

慢性リウマチス、麻痺症、痛風、慢性生殖器及び泌尿器病、貧血、萎黄病、腺病質、皮膚病、切創、軽度

の血管硬化症、諸病恢復期等に效く。蒸湯は腦病に特效がある。

旅館・經費 肥前屋本店、同支店、若松屋、泉屋、米屋、田代屋、山水館、上田屋、日田屋。宿泊料一泊八十錢以上四圓位。

### (二) 久住山を繞る諸温泉

本来久住山は元クヂユウ山と呼んだので、豊後國直入、玖珠二郡と、肥後の阿蘇郡界に連互する九重山々彙の主峰で、九重山より高き事僅かに七十四尺、標高一、七八八米(五、九〇〇餘尺)である。此山彙は巨人の如き山と山とが、野球戦メンバーの配置のやうに、前後左右に筍立して、飛球の如き日輪を睨み詰めて突立つ。近く三俣山は九重、久住と共に、三山鼎立の形を成し、北に大船山平治嶽、東に泉水山、南に黒岩山、獵師嶽、飯田高原を隔て、は崩平山、其他大小の山々が、夜の銀座の人のやうに、肩摩轂撃しつゝ、丈比べをして居るのである。而して久住と九重、字は違ふけれど、音が相通じて居るなどは、一種の皮肉である。蓋し九重と久住とは、殆んど一座の山で、峰頭相岐れて居るに過ぎぬから、孰方が誠の九重であるか、元は多分二山を併せて九重と言つたも

のらしく、日本山嶽史に據れば、

『豊後國直入、玖珠の二郡、及肥後國阿蘇郡界の連山を九重山と總稱す、其中高峰十數、何山の九重山たるを知らず、提要(日本地誌提要)に據れば三俣山なるが如く、地名大辭典に據れば、九重山、三俣山、久住山皆別山なるが如し、風景論(日本風景論)に久住嶽一名九重山とあり、且つ九重、久住音相通するを以て、暫らく風景論に據り以て後考を俟つ』

と有る。要するに鎮西第一の高山で、九州アルプスの盟主である。其山上には天に向つて巨口を開く二個の大火口湖が有る、一は空池と呼ばれて全くの無水池だが、他は御池と稱へられて周囲十餘町、常に清冽な水が盛られて居るから、夏の真中に汗水くになつて、喘ぎ／＼登つて來た登山者には、天より下される甘露の恵みかと、難有味が骨肉に徹る。

此山へ登るには、豊肥線の竹田驛、夫は旅順閉塞の勇將で、七生報國の丹心、日東帝國を感忿せしめた廣瀬中佐の出身地である、山間の小都會だけれど、大都市の縮圖のやうな賑ひが有る。此處から紙漉、轟木、神田を過ぎて久住町へ出で、久住高原を経て登る道と、更に其正反對に大湯線湯平驛から、扇山を東に、崩平山を西に仰いで、雪深峠を超え、廣漠たる飯田の高原を踏破して硫黄山を経て登ると、今一つは大湯線の豊後中村驛から寒の地獄を経て登る道が有る、又南由布驛か

ら荒八峠を越えて飯田高原へ懸ると、湯平から雪深峠を経て、飯田高原へ出る道とピッタリ出會ふ事が出来る。

久住九重の山脚には、久住飯田の兩高原を左右に擴け、其間所々に温泉又は冷泉が湧出する。曰く満願寺、曰く七里田、曰く筋湯、曰く寒の地獄、曰く湯原等、其湧出量も頗る豊富である。此地は大分縣と熊本縣との境界相接する處で、元より阿蘇火山群とは言ひながら、見様によつては阿蘇山と久住山が裾を合せて戯れに絡み附くかの觀がある。地は高原性の風光雄大で、氣候は頗る温和、酷暑も尙八十度を超ゆる事なく、眞に銷夏的好避暑地である。又近時一大キャンプ場として其名遽かに昂り、九州輕井澤の稱が有る。而も初夏の躑躅、深秋の紅葉は、雲仙ヶ嶽自慢の美觀にも優るとさへ云はれる位だ。

### 滿願寺温泉

(熊本縣阿蘇郡南小國村滿願寺)

- (1) 熊本—滿願寺間 直通自動車賃三圓
- (2) 大湯線森驛—滿願寺間、自動車賃二圓五十錢(但し宮ノ原乗換)

(3) 豊肥線内牧驛—満願寺、自動車賃二圓二十五錢（但し内牧町、南小國村市ノ原乗換）  
阿蘇外輪山の北部地方、海拔約四五〇米（凡一、五〇〇尺）の高原で、東北方には九州アルプス久住山の裾野が尾根を引いて遙かに西に流れ、筑後川の水源地賀瀬川の流域に在つて、鬱蒼たる森林は古蒼滴たるばかり、誠に神代からなる仙境である。温泉は支流志津川の沿岸から湧出してゐる。

今より千百年前、弘法大師が七尾七谷八尾八谷の相を観じて、靈壇を此の地に奠めんとし、七日の間腰掛岩に結跏趺坐したと云はれて居る。

此處には古刹満願寺があり、又北條氏の古墳が残される。金毘羅杉は熊本縣天然記念物に指定された巨樹で、其抱四十尺、高さ九十三尺、蟲々として蒼穹を支へ、雲際遙かに聳える。

温泉は大湯、上等湯、河端湯、寺の湯に分れて居るが、惜しむらくは内湯の設けがない。

**泉質效能** 大湯竝に上等湯は無色透明のアルカリ泉で、泉温四十二度、神経痛、胃腸病、腺病に效があり、

河端湯及寺の湯は微少の硫黄質を含み、泉温四十一度、皮膚病、潰瘍等に效能がある。

**旅館・經費** あらた屋、大平屋、三島屋、扇屋等。宿泊料は一圓、一圓五十錢の二種。滞在客の爲めには

一日七十錢で賄つてくれる。

### 田ノ原温泉

（熊本縣阿蘇郡南小國村田ノ原）

豊肥線内牧驛より宮原町を經る道と、大湯線引治驛より宮原町を經て至る道とあり、何れも自動車の便が有る。

久住山の西麓、筑後川の上流に臨み、夏は河鹿の嚙喰を聞く程、清澄な避暑地である。附近は蔚然たる大谿谷をなし、夫婦瀧、男瀧、七瀧の勝がある。俚傳には大江山の賊を退治した源頼光が此地に遊び、其砌側近に侍つた女に儲けた落胤が、此處に土着したといふ事である。浴舎は二階建て、階上を娛樂室に充てゝゐる。

**名物** 筍、椎茸、蕨、獨活。

**泉質效能** 無色透明の鹽類泉で、泉温九十度、慢性リウマチス、濕疹、腺病質、痛風、潰瘍、子宮内膜炎に特效が有る。

**旅館・經費** 鶴屋（内湯あり）龜屋、筒井屋、梅屋、高光屋（内湯あり）霞屋、仲屋。宿泊料一泊三食附七十錢以上。自炊、伺ひ制あり。

### 黒川温泉

(熊本縣阿蘇郡南小國村)

熊本市より南小國村市ノ原まで直通自動車の便がある。賃二圓八十錢、それより約二里山路を徒歩する。別途豊肥線宮地驛より古城村を経て温泉地に至るもの。

九重山麓にあつて地勢高峻、海拔約六〇〇米(凡二、〇〇〇尺)の高山温泉だから、風光明媚は言を俟たない。附近一帯は阿蘇山の展望を擅にする事が出来、心氣自ら爽快として、凡骨仙化の思ひが有る。共同湯には薬師湯、穴湯、ウタセ湯の三湯、穴湯は川邊にあつて、自然石を湯壺とした極めて原始的なもの、又蒸湯の設けもある。

#### 名産土産物

箕、椎茸、玉蜀黍、エノハ、栗等。

#### 泉質效能

鹽類性硫黄泉に屬し、泉温四十度、效能は骨膜炎を第一として、切傷、火傷、胃腸病、疝氣、リウマチスなどに效く。

#### 旅館・經費

新明館、御客屋、新屋、祝屋、菊池屋(以上内湯あり)湯本屋、角屋、御國屋、鶴屋等。宿泊料は一泊三食附八十錢以上一圓五十錢位。自炊制あり、室料一日二十錢位。

### 奴留湯温泉

熊本縣阿蘇郡北小國村北里奴留湯にあり、宮原より東北一里半の地點にあり、無色透明無味無臭の酸性泉で、泉温三十八度、劇症の粘液漏、慢性カタル、癩、梅毒性潰瘍、皮膚病等に特效が有る。

### 咳の湯

熊本縣阿蘇郡北小國村にあり、地藏原より西南一里半、湧蓋山の西麓海拔七〇〇米(凡二、三〇〇尺)の地に位し、無色透明の單純炭酸泉で、胃腸病、疝氣、疝癩、切傷に特效が有る。地は僻陬なだけ、頗ぶる静か、一鳥啼かず山更に幽なりの感じがする。旅舎には萬屋外四軒、萬屋には湯瀧、蒸湯などの設けもある。宿泊料は一日六十錢以上二圓位まで。

### 筋湯温泉

(大分縣玖珠郡飯田村大字湯坪)

大湯線豊後中村驛下車、驛から温泉場まで自動車、賃一圓五十錢、冬季は客馬車、賃一圓二十錢。

日本新百景中の白眉、飯田高原の奥の院に當る温泉で、寒の地獄とは黒岩山を中に挟んで西方一里隔つて居る。泉量の豊富な事で有名な所だ。綺麗に澄み切つた湯が、四十條の湯瀧から鞆鞆として

て張り落ちると、夫が千人風呂の大浴槽に受けられ、更に溢れて湯川となつて流出する様は、實に壯觀である。そして入浴後の爽々しい身軀に浴衣を引かけて、緑蔭深い谷川にアブラメでも釣つて居れば、夏を忘れ、世を忘れて、身は藐姑射山中の神人となつた心地がするであらう。  
此處は海拔、一、一〇〇米（凡三、六〇〇尺）の山中だから、夏の盛りでも涼しさを通り越して朝夕綿の入つたものが欲しい位である。だから熱鬧な都市や學校の生活に疲れ果てた神經衰弱者、虛弱者又は病後衰弱者の神身を復活させるには恰好な處である。  
附近には九重山、寒の地獄、九醉溪、震動瀧、地熱研究所、陸軍飛行場等、一日の行樂地として好適である。

泉質效能

皮膚病。

無色清澄、鹽類泉で慢性胃腸カタル、下腹充血、リウマチス、肋膜炎、腺病、神經衰弱、皮膚病。

旅館・經費

兩筑屋、寶珠屋、入福屋、橋口屋、梅屋、丸屋旅館、米屋、筑後屋。宿泊料一泊三食付一圓乃至二圓五十錢、木賃三食を含み一日六十錢乃至一圓五十錢位で滞在出来る。

星生温泉 (大分縣玖珠郡飯田村)

交通筋湯温泉と同じ。

頑強な皮膚病に靈效を有するので知られてゐる。此處も九州アルプス久住山に近く、高原性の眺望に富む。

泉質效能

特效がある。

旅館・經費

朝日屋。旅館料は一圓乃至一圓三十錢位。内湯の設はない。

筧ノ口温泉

酸及炭酸鹽類の含有量多く、胃腸病に卓效がある。

疥癬湯

同飯田村にあり、筋湯を距る北方十町の地にある。泉質は硫黄泉で、皮膚病によい。



河原湯

大嶽地獄

腸病に特效がある。

寶泉寺温泉

自動車道に沿うてゐる。  
つてゐる。

同飯田村にあり、筋湯を距る半里。泉質は單純泉で、胃腸病、婦人生殖器病に特效があり、神經衰弱、ヒステリー、リウマチス、痛風などにも效く。同飯田村にあり、此附近には稀に見る素晴らしい地獄である。濛々たる蒸氣を噴出し、熱湯をたぎらせる態は、身の毛も彌立つばかりだ。湧泉は胃

大分縣玖珠郡南山田村にあり、飯田高原の門戸に當り、地藏原より西北一里。附近には川底、串野などの諸温泉もあり、何れも、玖珠、小國間の自

寒の地獄 (大分縣玖珠郡飯田村)

日豊本線大分驛で大湯線に乗換へ、豊後中村驛下車(大分、中村間、約三時間二十分、賃九十三錢)驛から温泉まで四里。自動車賃一圓二十錢。



寒の地獄附近の景

地は九州アルプス山麓、海拔一、〇〇〇米(凡三、三〇〇尺)の高原である。最近夏季キャンプ生活が営まれる事によつて俄かに知られた。在來交通の便は俗に長者ヶ原と云はれてゐる千町蕪田までしか、自動車が通じなかつたが、最近豊後中村驛から温泉場まで直通する様になつたから交通は自由である。此處の鑛泉は天下に類の少い寒冷泉で、土地の人に云はせると、鎮西第一の高峰九重山の精氣が凝つて、此靈泉に集まり來り、寒冷透徹して、眞夏の日盛りでも此の泉の傍に佇めば、須臾にして冷氣肌に迫るを覺ゆと有る。  
此冷泉の靈效の驗かな事は、強ち土地の人々の手前味噌ばかりではなく、高原療法と水浴療法の靈域

としての寒の地獄の名は、可成り著名なものになつてゐる。此冷泉に浴して後、徐ろに體温を恢復して行く道筋の爽快な心地は、誠に天下第一品で、夢に羽化登仙の思ひがある。

百年前までは此邊は一面の大森林であつたが、或獵師が偶然病猿の浴するのを發見して奇異の思をなし、自らも試み、又人にも勧めなどして、其偉大なる效驗に驚き、荆棘を切り開いて入浴の出來るやうにしたのに始つたといふ事である。

此附近の雰圍氣は只爽涼の二字に盡きてゐる。氣温は盛夏でも七十四五度位、剩さへ寒冷泉浴と來ては全く夏知らずで、凍り附くやうな涼しさがある。麓の村で、一年中に蚊が三匹出れば豊年だと云ひ傳へてゐるのに徴しても、其清涼さが察知されるではないか。

此邊一帯の高原は眼界闊く眺望頗る雄大である。九重山、九醉溪、震動瀧、陸軍飛行場等を包含し、登山に散策に、珍奇な野外植物の採集に、旬日の閑を消すに足るのみか、附近には筋湯温泉をはじめ、到る處に温泉が湧出して、夫れが何れも現代文化の風に荒されなから、清純健全な避暑療養地として、恐らく關西屈指の仙窟であらう。少年團日本聯盟は、關西唯一の野營地として此の地を選定して居る。

泉質效能

透徹寒冷骨を刺す硫酸性寒冷泉で、皮膚病(疥癬、白癬、頑癬、癬風、濕疹、潰瘍等)神經衰弱、陰萎、腺病、花柳病、婦人病、胃腸病に特效がある。此冷泉に浴すれば、皮膚が極めて強壯になり、特異の抵抗力を生じて、容易に感冒に罹らぬやうになる特色がある。

旅館・經費

寒の地獄株式會社旅館部、宿泊料一泊(三食付)一圓二十錢乃至二圓五十錢。

中野温泉

寒の地獄を距る十町の所にある。單純硫酸泉で皮膚病に效く、寒の地獄の控へ宿として利用されてゐる。

法華院温泉

大分縣直入郡都野村にあり、豊肥線豊後竹田驛より自動車(賃一圓)が山麓まで通じてゐる。地は九州アルプスの中腹で、背後に久住山を負ひ、横に三俣山を仰ぎ、前は廣々とした盆地が思ひ切つて横はり、大船山と相對峙して、全く俗塵を離れた別天地で、九州アルプス登山者の足溜場として利用されて居る。往昔は天台の僧坊堂舎のあつた所、今は其舊趾に旅舎がある。泉質は硫酸泉、鐵泉、炭酸泉があり、宿泊料は一圓乃至二圓五十錢位。

七里田温泉

大分縣直入郡都野村にあり、豊肥線竹田驛より北方約五里、大船山麓に在る温泉場で、自動車の便あり、賃一圓。大船山頂上まで約二里、久住町へは一里二十町、黒嶽へは二里。泉質は無色透明の炭酸泉だから、胃腸病に特效がある。附近には蝙蝠洞と稱する洞穴がある。此の地は大船山、黒嶽の登山口に當り、附近一帯は景勝に富み、夏季は

冷涼たる避暑地である。

### 湯原温泉 (大分縣直入郡長湯村)

豊肥線竹田驛より北方約四里、自動車、賃八十錢。▼大湯線小野屋驛より西南五里、自動車賃二圓。

九州アルプスの東麓、海拔九五〇米 (凡三、一〇〇尺) に位する久住高原の裾野で、高原的景觀を遺憾なく發揮するから、此處から望む九州アルプス、大阿蘇の靈峰、祖母三山の鼎立は天下一品の壯觀である。當温泉は舊岡藩主中川侯の所領で、藩主も屢々此處に來浴された。御前湯を始め薬師湯、長生湯、不老湯、天満湯などがある。酷暑にも尙八十度を超す事なく、嚴寒にも二十度を降る事がない。周圍に温泉の湧出が多い爲、乾濕よろしきを得、夏は蚊を見る事なく、轉地療養、避暑避暑の好適地である。

#### 泉質效能

無色透明で刺戟性の臭氣を有するアルカリ土類炭酸泉。胃腸病、泌尿器病、神経系諸病、慢性リウマチス、痛風、腺病、病後の衰弱、肥胖病、濕疹、頑固なる潰瘍等に效く。

#### 旅館・經費

丸善旅館、大丸旅館、萬屋本宅、紺屋、泉屋、油屋、清水旅館、立花屋、角屋、右丸、龜屋、朝倉屋、萬屋、緒方屋、仲村屋、津留屋、常盤屋、金子屋、旭屋、田中屋、明治館、米屋。宿泊料一泊一圓乃至三圓位。木賃制あり。

## 霧島山麓及び其附近の諸温泉

天孫天津日子番能邇邇藝命、豊葦原水穗國を知ろし召さんとして、天之石位を離れ、天之八重多那雲を押し分け、稜威の道別き道別きて、天の浮橋に浮きまじり、そりたゞして、筑紫の日向の高千穂の靈異ふる峰に天降りしました。掛巻も畏こき其高千穂靈峰こそは、霧島山麓中の東霧島山である。

太古茫漠として雲霧濛晦、日は麗らかに照つても、地表の山河は尙夢の漂よふ如く、巨樹老木は天に朝し、丈なす草は渺茫と戦ぎ互つて、珍禽異獸が我物顔に出没する、其筑紫の島根の八雲立つ峰の上に、御矛を突き立たして、遙に四方の山河を觸はせられたる天孫の颯爽たる雄姿よ。天之兒屋命、布刀玉命、天宇受賣命、伊斯許理度賣命、玉祖命等の、勇士烈女が左右に侍し、天忍日命、天津久米命が、天の石鞞を取り負ひ、頭椎の大刀を取り佩き、天の波士弓を取り持ち、天の眞鹿兒矢を手挟んで、金剛力士の如く御前を守護した勇しきには、如何なる天魔波旬も近寄り難く見えた。

此大火山麓は日向國西諸縣北諸縣二郡から、大隅國始良郡の間に跨り、遠く阿蘇山の南部から、九州の脊梁を成して、一文字に縦走した揚句、南の方櫻島や開聞嶽を突き飛ばして、洋上遙かに琉球までも走り込んで居る霧島大火山帯で、此霧島山は實に其盟主である。我建國の第一頁を飾る靈跡として、探勝の名山として、温泉の淵源として、其名は天下に高い。

山は東西の二峰に分れ、東は即ち高千穂の峰で東霧島山、其頂きに天の逆鋒が鎮まりますので、

矛の峰ともいひ、別稱東嶽、又御岳とも言はれ、海拔一六五七米（凡五、五〇〇尺）西なるは韓國嶽で、通稱は西霧島山、別名は西嶽と呼ばれ、海拔一六七七米（凡五、五三四尺）高千穂の峰より僅かに高い。

由來山彙の頂上は、大抵缺尖圓錐狀を呈して居るが、東霧島山は極めて鋭尖で、西霧島も尖端を天に朝し、巍然として聳えて居る。不斷の噴烟は馬の背越しの大活火口から吐上げられるので、數箇の舊噴火口も有り、數箇の火口湖もあり、數箇の硫氣噴孔も有り、數箇の温泉もあり、日本の精氣たる熾烈の熱火は、燃ゆる魂となつて、此處に渦卷くのである。

史に記されたる霧島噴火の度數は、甚だ少くない。年代に順つて列擧すると、

聖武天皇天平寶字八年十一月噴火。

桓武天皇延暦七年三月四日噴火。火炎盛んにして響雷の如く、土砂を雨ふらし、峰下五六里の間、砂石委積する事二尺、其色黒し。

朱雀天皇天慶八年噴火。

鳥羽天皇天永三年二月三日震動噴火。

六條天皇仁安二年噴火。

安徳天皇壽永二年噴火。

四條天皇文曆元年十二月噴火。

後柏原天皇大永四年噴火。

正親町天皇永祿九年九月九日噴火、人多く死す。

同天正二年一月大震動噴火。

同天正四年噴火。

同天正十五年四月十七日大震動噴火。

同天正十六年三月十二日大震動噴火。

後西院天皇明曆二年震動、泉水涸る。

靈元天皇延寶五年噴火。

中御門天皇享保元年九月二十六日噴火。夜半西嶽震動し、周回三里半程處々に噴火破裂し、其地内の山林神社佛院は悉く焼失せり、燒失家屋六百軒、負傷者三十一人、斃死の牛馬四百頭、田畑の被害六千二百

四十町歩餘、其農産物六萬六千八百八十二石餘。後三四年の間灰降りて恰も春霞の如し。（此噴火は未曾有の大爆發と思はれるが、損害の記載此の如く詳細なるに拘はらず、死人の數を逸したのは不可解である）

後桃園天皇安永元年噴火、人著多く害を被る。

明治天皇明治二十一年二月二十一日噴火、一晝夜三四回鳴動し、噴烟天を掩ひ、飛灰四五里に及ぶ。五月

九日又噴火す。

同明治二十二年十二月十日噴火、山海大いに鳴動す。  
同明治二十四年六月十九日頃より噴火を始め、鳴動する事一晝夜十四回、黒烟を發し、砂石を飛ばし、灰を降らす。十一月十日頃より、晝夜十四五回づつ鳴動し、黒烟を噴き、灰を降らせり、二十日頃より漸次沈靜に歸す。

同明治二十八年十月十六日噴火、黒烟を吐き、火石を四方に飛ばす。  
同明治二十九年二月十五日爆發、偶々登攀せる佛國海軍少主計リール氏は負傷し、案内人は死す。  
同明治三十二年八月二十八日俄然鳴動、黒烟を噴き、光景凄然たりしも、人畜に被害なし。

以上は日本山嶽史收むる處の噴火年表から拔萃したものである、恐らくは此外にも再々小爆發があつたらうから、其噴火回数著しく多數に上つたであらう。

霧島へ登るには東峰道と西峰道との二つが有る。東峰道は高千穂即ち東霧島登山道で、明礬温泉の背後から、翠綠滴たる山路を辿り、湯之野温泉を過ぎて、溪谷に沿ひ、晝尙暗い太古の森の中を、そことも分けず登つて行く、道は漸次急峻になり、上るに従つて、森林を開放れると、眼界はガラリと一變する。此處は海拔六八〇米（凡二、二五〇尺）の處で、磊砢たる絶頂は、忽ち頭上に落ち懸つて来る。路の峻嶒は意地の悪い女姑の様に邪慳だ。漸く登つて火常峰の西北側に這ひ着く。此處は御鉢と呼び做される噴火口で直徑凡そ四五五米、周回二、〇〇〇米、深さ約九〇米、火口の



望遠の穂千高峰

西側からは、盛んに硫氣と水蒸氣とを噴き上げ、其の響きは轟々として耳も聳せんばかり、大地の間斷無き旋律が、四肢にまで傳はつて来る。此處へ通ずる道を馬の背越しと稱へ、左右は千仞の谷で、一步毎に火山灰がザラザラと谿間へ這り落ちるから、行人は只戰々兢兢々此時ばかりは淺ましい邪念などは消し飛んで、生れた時の無念無想になる。火口から愈登つて、始めて高千穂の頂上へ登ると、眼界の壯大雄宏なる、全く俗界と離れて、高く雲の海の上立つのだ。鹿兒島、都城、宮崎の都市を包含する大平野を目の下にして、櫻島開聞の諸山は、足下に俯伏する奴僕同然である。而して此身を化して日本創世の昔に還らしめ、天孫の御供をして、側近に侍りつゝあるやうな、打上つた晴がましさを覺える。

所謂神代の靈物たる天の逆鉾は、此縹渺たる紫微の天壇

に建つので、實は黄銅の鑄造物である。高さ二尺四寸八分、最上部の幅五寸六分、左右から火山岩で圍み止めて、上部と東面とのみが開いて居る、鋒の最下部から一尺七寸上つた處に、人間の鼻が二個射出されて、一は東面、一は西面、即ち一身二面の形で、耳、目、口とも井然として認められる奇工である。

此天矛の建つ地積は極めて狭少だし、常に烈風が吹き荒むから、永く底止することは出来ない。高天ヶ原、四皇子の峰、縣社榎觸社、天の眞名井、吾平山陵、高千穂神社、國見嶽、窓の瀬、天の岩戸など、日本創世史に表れたる幾多の史跡や傳統を持つ舊趾が澤山ある。

西峰道即ち韓國嶽へ登るには、榮之尾温泉から一時間ばかりで、噴火口に到達するのだ、火口は周回三千里、深さ凡そ二十六米、口内は全く死滅して空池となり、烟草の烟ほどの噴烟もない、夫から熊笹や灌木の生ひ茂る間を分けて絶頂に登ると、東に夷守嶽、丸岡嶽が敵立ち、其二山の麓には、大浪池、空池、枇杷池の三火口湖が並び、東南に矢嶽、龍王嶽、新燃鉢、中嶽が有り、其の肩越に高千穂の峰が巨人の如く挺ん出て、渦巻く烟を天へ吹き附けて居るのを見る。南には一碧瑠璃より青き大浪池が、脚下を浸さんばかりに漫々と昂まり、剩つさへ蒼黒の檜が蒼蔚として湖畔に生ひ茂るから、神秘彌増して物凄まじい。

池の南には燒地獄、砒霜燃が有るし、北には鉾立山、飯盛嶽、飢嶽が一つ一つに獨立し、其間にはビヤクチ池、白鳥池、不動池の三火口湖がある。

霧島全山は映山紅を以て有名だが、今は映山紅より普通の山躑躅の方が多く、韓國嶽の大浪池附近は、見上ぐる嶂壁巉巖盡く花ならざるはない。殷紅煥發して、日輪が天上より落ちたかとかばかり、四方が明る過ぎる程に照り映える。然し花は此邊のみならず、温泉附近は元より、野と言はず山と言はず一面に野生するのだから、花候には全山彙で飾花祭を舉行した様に見える。

今東京に澤山栽培される映山紅は、寛文年間に藤堂和泉守が此山から取寄せたに始まり、其後引續いて輸送させたのを、染井の下屋敷に植ゑさせたのが、當時の種樹家として有名な伊兵衛（伊藤氏）が其の枝を乞ひ受けて、挿木や接木にしたのが濫觴だと言ふのである。

大浪池から海老野へ行く處は、曠茫たる火口原で、天然記念物に指定された幾十株かの野海棠が有り、高さ二十尺、周圍二尺に及ぶ大木がある。

賽の河原は一眸熔岩礫の狼藉たる傾斜面で、六觀音、觀音池を過ぎて白鳥温泉へ通じる道がある。温泉の位置は霧島山の西部の山腹にあるので、東北西は蔚然たる森林に圍まれ、急湍岩に躓いて奔騰する溪流は、其峽間を縫つて流れ、附近一帶に滾々として湧出し、湯の川、湯の瀧の贅澤な豪

奢を見せるのだ。此温泉地は高燥な爲に、展望は極めて潤く、大隅薩摩の二大半島に懐かれた錦江灣上に浮ぶ櫻島を眼下に瞰、秋高く氣澄む時は、遠く水天彷彿の間に、種ヶ島屋久島を望み、温泉所在地としては、展望明媚にして、其景の雄大なる、稀に見る所である、加之ならず、霧島登山者や史蹟踏査の學徒、乃至は科學的研究者に取つて、此温泉は休息所とも準備地ともなる便がある。

### 丸尾温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村)

肥薩線牧園驛下車(鹿兒島、牧園間約一時間半、賃七十二錢)驛より三里半、自動車の便あり。賃七十錢。

霧島山腹の高地にあつて、後には鬱蒼たる大森林を控へ、前方の眼界は遠く展げ、錦江灣上櫻島の風景を一眸の裡に瞰下し、霧島山中優秀の位置を占める温泉場である。附近には丸尾の瀧、千疊敷、布引の瀧、岩風呂などの名所がある。

この温泉は文政二年に發見されたが、明治二十七八年頃から別莊地として知られ、諸名士の山莊が續々建築され、最近、旅館、浴槽などの設備も整つて來た。

泉質效能 アルカリ性炭酸泉で、慢性胃腸カタル、慢性咽喉及び氣管支カタル、尿道膀胱カタル、婦人

生殖器慢性カタル、痛風其他に效がある。

旅館・經費 丸尾温泉旅館、宿泊料一泊一圓五十錢以上三圓。

### 榮之尾温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村榮之尾)

牧園驛より自動車の便あり。賃七十錢。

谿に潺湲たる水の調べを聞きながら、千古斧鉞を入れざる新床官林の鳥の唄に耳を澄す幽邃境である。旅舎の欄によつて、松山の緑の葉越しに見る薩隅の連山や、雲煙けふる錦江灣に浮ぶ櫻島の眺望は、雄大にして、渾麗の極致である。誰しもこの豁然たる山海の眺めには酔へるが如く恍惚として、鬱胸の披くを覺えぬものはなからう。

此温泉は昔藩主島津公の別墅の置かれた所で、其居室や浴槽は、榮之尾旅館内に其儘保存されて有る。泉質は多種多様で、硫黄泉、鹽類泉、含鐵泉、明礬泉などがあり、泉温も一樣でない。湯は浴槽に滾々として溢れ、翁合して湯の川、湯の瀧をなして居る。この邊の氣候は酷暑でも八十度を

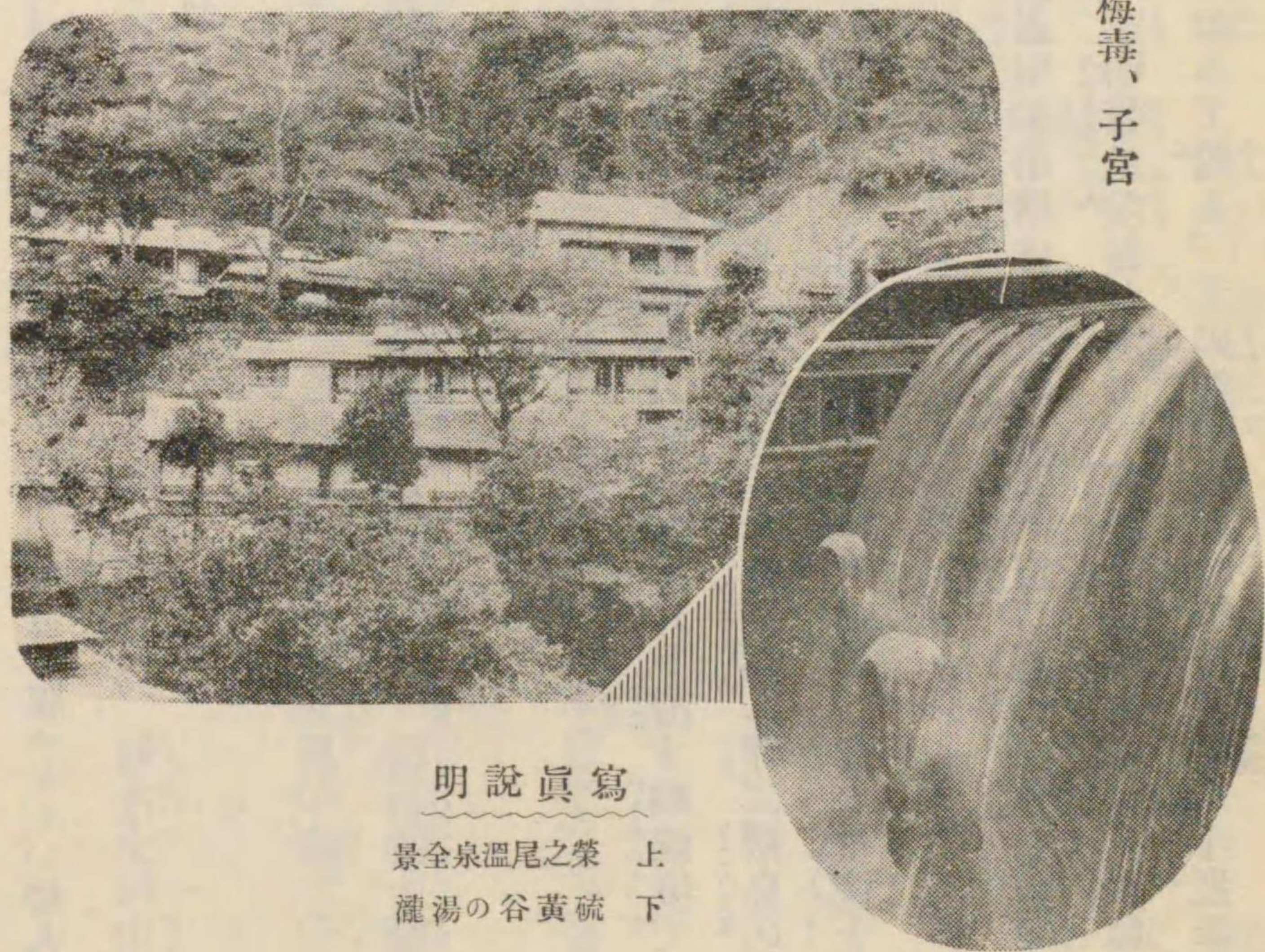
超ゆるる事は稀だから、避暑地として絶好である。

泉質效能

硫黄泉はリウマチス、皮膚病、痛風、梅毒、子宮病。鹽類泉は胃腸病、神経痛、婦人病、創傷。含鐵泉は貧血、神經衰弱。明礬泉は腺病、貧血、胃腸病。子宮病に效能がある。

右の中東京衛生試験所の定量分析による硫黄泉の鹽類表の含有成分は左の如し。

クロールナトリウム	〇、〇四七八
硫酸カリウム	〇、〇二八五
硫酸ナトリウム	〇、〇八一六
重炭酸ナトリウム	〇、〇五七三
水酸化ナトリウム	〇、〇六四〇
硫酸カルチウム	〇、〇六六五
重炭酸マグネシウム	〇、〇四一七
重炭酸亞酸化鐵	〇、〇〇六〇
硅酸(メタ)	〇、二一二九



明説眞寫 上 榮之尾温泉全景 下 硫黄谷の湯瀧

遊離炭酸 〇、一〇六三 遊離硫化水素 〇、二三七四  
旅館・經費 榮之尾館、宿泊料一泊、二圓乃至四圓位、自炊制もある。

硫黄谷温泉

(鹿兒島縣始良郡牧園村硫黄谷)

牧園驛より自動車の便あり、賃七十錢。▼西國分驛よりも自動車の便あり、賃一圓。  
穢氣磅礴たる中に湯の香を漂はせ、温泉の氣分をいやが上にも昂めて居る。此地も榮之尾に譲らない眺望美を有つて居る。旅館一軒で、壯麗な浴室八棟を有し、客棧は何れも溪流に臨んだ懸崖に立つて居て、湯は四六時中滾々として湧出し、其豊富な湯は集つて數條の湯瀧となつて落下し、瀧は直に川となつて到る處になごやかな湯煙を立て、居る。此處も又泉質は多種多様で炭酸泉、硫黄泉、明礬泉、鹽類泉、含鐵泉などに分れ、外にラヂウム泉、蒸風呂、瀧湯までが有る。近來は百坪に餘る温泉プールさへ設けられた。

泉質效能 硫黄泉は皮膚病。鹽類泉はリウマチス。含鐵泉は胃腸病。明礬泉は眼病。炭酸泉は呼吸器病に特效がある。



右の中硫黄泉の定量分析による鹽類表によれば、含有成分左の如し。

クロールカリウム	〇、〇五七九	クロールナトリウム	〇、〇二四七
硫酸ナトリウム	〇、〇四〇五	硫酸カルチウム	〇、〇一九四
硫酸マグネシウム	〇、〇三九六	硫酸酸化鐵	〇、〇八二三
重炭酸亞酸化鐵	〇、〇七九九	硫酸アルミニウム	〇、〇〇二五
硅酸(メタ)	〇、二三五〇	遊離炭酸	〇、一八三〇

旅館・經費 霧島館は旅館部、自炊部とに分ち、優に三百人を收容する事が出来る。宿泊料一泊二圓以上四圓位。自炊客には炊事道具一切貸與へ、室料湯錢共で一日二十錢乃至五十錢、一間貸切は三人分以上。

### 明礬温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村硫黄谷)

牧園驛より自動車の便あり、賃七十錢。

硫黄谷温泉より三町登つた處にある、眺望は前記三温泉と殆ど同様、温泉は水晶の如く澄み切つて、飽くまで綺麗な點が浴客の心を惹きつけて居る。

泉質效能 泉質效能は前記三温泉と殆ど同じであるが、明礬の含有量が非常に多く、臍病、リウマチス

眼病、婦人病に特效がある。

右の中、定量分析による鐵泉の鹽類表によれば含有成分左の如し。

クロールカリウム	〇、〇四七〇	クロールナトリウム	〇、〇五〇八
硫酸ナトリウム	〇、〇二三六	硫酸カルチウム	〇、〇九九四
硫酸マグネシウム	〇、〇一一三	重炭酸亞酸化鐵	〇、〇三一八
硫酸アルミニウム	〇、〇一一三二	硅酸(メタ)	〇、一三六〇
遊離炭酸	〇、一六二〇	遊離硫化水素	〇、〇〇二七

旅館・經費 高千穂館、旅館部と自炊部に分れ、宿泊料は丸尾温泉と略同じである。

### 湯之野温泉

鹿兒島縣始良郡東襲山村にあり、霧島神社より北方一里、霧島山の中腹で高千穂峰登山道に當る地點から湧出して居る。南方に高千穂の峰が聳え、東方に大浪池を望み、眺望絶佳、加ふるに地は海拔約五〇〇米の高燥だから、夏尙涼しく、絶好の避暑地である。旅館なく下宿のみで、一日一圓二十錢、間貸は一日一人三十錢。

### 鹽浸温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村鹽浸)

肥薩線嘉例川驛から東北へ約三十町、通路は險坂だが古風な籠の便が有る。迂回すれば自動車でも行ける。

金山川の清流の畔、山峽の溪流の屈曲錯綜する處にあり、旅舎は此溪流を跨いで建てられる。山は翠に水は清く、其間に白い湯煙を立て、居る様は夢の國の様だ。夏は涼しく冬は暖く、眺望は霧島山中の諸温泉には聊か及ばないが、近年浴場諸設備も改善されたので、俗塵を離れた療養本位の浴客を呼んで居る。附近には高屋神社、高屋山陵、光堂觀音等の名所がある。

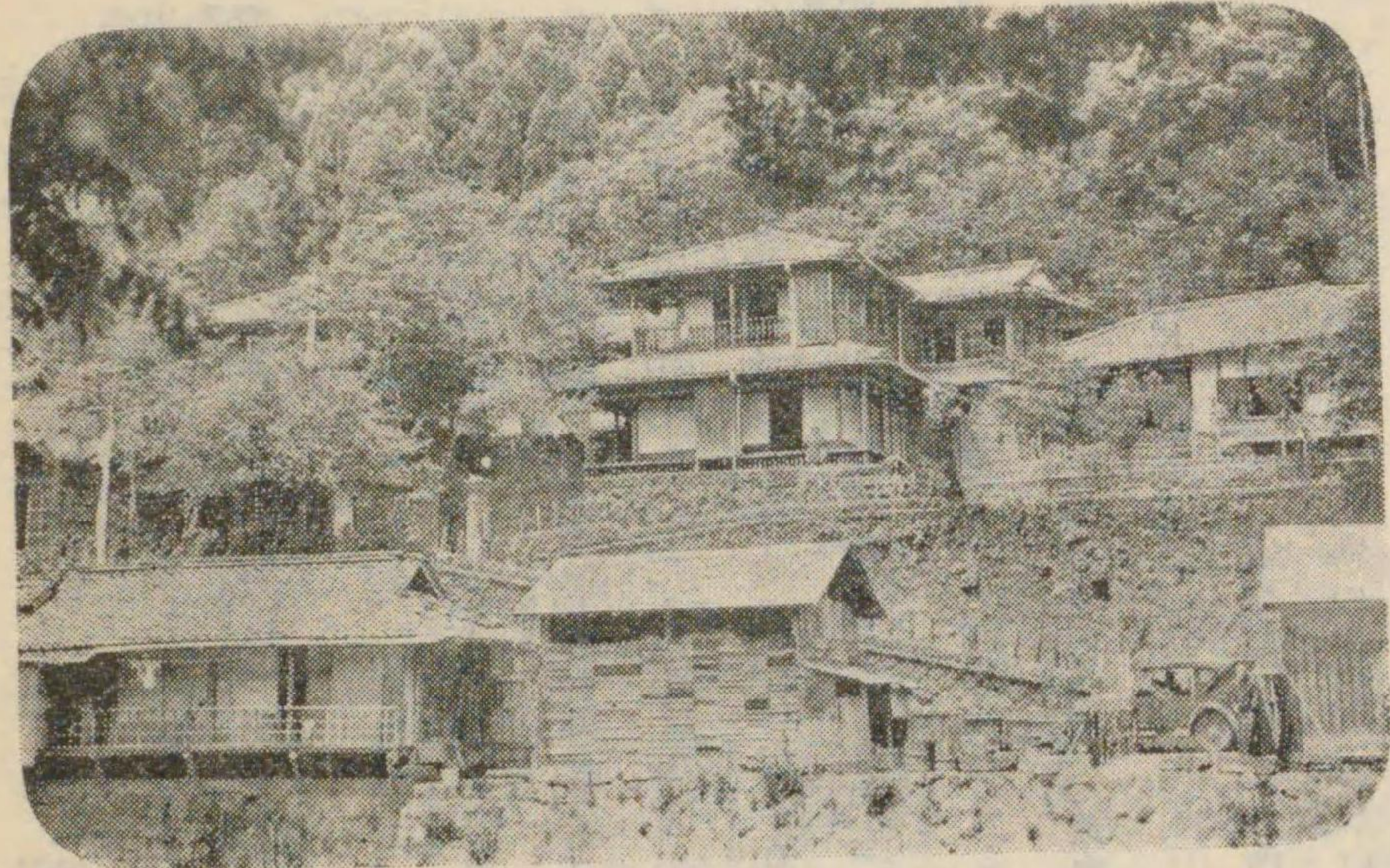
泉質效能 炭酸鹽類泉で、泉温四十八度乃至五十二度、皮膚病、梅毒、リウマチス、痔疾、胃腸病等に特效がある。

旅館・經費 鶴屋、宿泊料一泊一圓半乃至三圓位、自炊制によれば一日二十錢乃至四十錢位。

### 安樂温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村安樂)

牧園驛より北へ約二里、自動車の便あり、賃六十錢。

牧園驛より縣道を南に曲り曲つて降りきつた處が安樂温泉である。四十數個の浴槽が、安樂川に



安樂温泉の景

沿うて散在し、外に丸湯、本湯などの共同浴場もある。温泉地には安樂川の清流が、神代ながらの霧島溪谷を馳せ下り、春は百花に飾られ、夏は青葉の匂ひに、秋は紅葉の錦に、山紫水明の神仙洞として、詩趣饒なるものがある。此處は純然たる山の湯で、脂粉の香はなく、五尺の身體をのんびりと湯槽に横へながら、心ゆくばかり温泉氣分を味はせてくれる。従つて旅館の如きも一流所一二軒を除けば、他は悉く自炊専門で手輕第一をモットーにし、飽く迄平民主義を發揮した民衆的温泉場である。國內に移出するラムネの原料を供給するラムネ温泉までは半里足らず、村營の鹽浸温泉にも程近い。總じて附近一帯は天恵の温泉郷をなし泉量も極めて豊富だし、湯治情調を満喫することが出来る。

此温泉の發見については、神秘的な傳説がある。昔、熊野權現の御神體を笈に入れて擔いで来た旅人があつた。日暮れて宿るに家なき爲め、御神體を兎有る岩の上に安置して夜を明した。翌朝出發しようとする、笈は磐石の如く重く、ビクとも動かない、聽て夢現の裡に權現の御告げがあつた。

『此の處に温泉が湧く、安樂に永住する事が出来るぞ』  
旅人は即ち此處へ永住の居を定め、土地の娘を娶つて温泉宿を營んだのが此湯の始まりで、地名も安樂と呼ぶに至つたのだと云ふ事である。

此地から東北十數町のところには、和氣清鷹の配所遺跡があり、そこより下流四五町の所に和氣湯温泉があつたが今は閉鎖して居る。三州第一との稱ある犬飼瀧は、懸水直下十八丈、水煙は濛々として四隣を罩めて居る。

**泉質效能** 含鐵炭酸泉で胃腸病、貧血、神經痛、リウマチス、腺病、皮膚病によく、内服すれば消化不良、佝僂病に效能がある。

**旅館・經費** 大徳館、安樂館（何れも内湯あり）その他は自炊専門の下宿數十軒、宿泊料一泊一圓五十錢乃至四圓、中食は宿泊料の半額、自炊は一日二十錢以上六十錢。

**安樂新湯温泉**

鹿兒島縣始良郡牧園村安樂にあり、安樂温泉より安樂川の上流に沿ひ、數町の所にある。昔は島津公が此處に別墅を置かれ、安樂川沿岸の風光を愛された。三州の嵐山とさへ稱される程の明媚さである。泉質效能は安樂温泉と略同じ。旅館には保養館がある。

**日の出温泉**

同村宿窪田にあり、安樂温泉から安樂川を十八町遡つた所、即ち安樂温泉と鹽浸温泉との中間に介在し、山之湯温泉とは川を距て、相對して居る。泉は鹽湯、明礬湯、鐵湯の三種に分れ、胃腸病、切傷、火傷、皮膚病、痲病、腎臟病、リウマチス、婦人病、神經痛、痔疾等に效く。旅館は無いが自炊の設備あり、間代等一切にて一日一人二十錢乃至三十五錢で滞在出来る。

**妙見温泉**

此の湯は普通の浴槽の外、ウタセ湯、砂湯、蒸湯などの設備があり、土類炭酸泉で皮膚病に特效がある。内服すれば、消化不良症、佝僂病によい。旅館無く多くは自炊者で、一日二十錢乃至三十五錢位で滞在出来る。

折橋温泉

同村宿窪田にあり、安樂橋の下流六七町、安樂川、中津川との合流點附近に在る。泉質效能は妙見に同じ。

尚牧園村には左の諸温泉あるも旅館の設備等はない。

▽鹽 湯—鹽類泉で、喉頭病、氣管及び氣管支病、肺肋膜の慢性諸病、胃腸病、泌尿器病、神経系諸病に效く。

▽栗川 湯—鹽湯と略同じ。

▽關平 湯—硫黃性鹽類泉で、皮膚病一切、創傷等に效く。

▽鉾投 湯—明礬鐵泉で、胃腸病、肩や腰の凝りに效く。

▽新 湯(砒霜燃又は高千穂温泉)—硫黃泉で、諸種の皮膚病に特效がある。

山之湯温泉

(鹿兒島縣始良郡西襲山村嘉例川)

安樂温泉の地域内に在る湯で、肥薩線嘉例川驛から三十町、山駕籠による。西國分驛よりは自動車の便が有る。

地は安樂川の沿岸で、兩側は斷崖絶壁、温泉は百仞の峽谷に湧出する文字通りの山の湯である。

浴槽なども自然湯の砂壺で、可成原始的色彩がある。泉質は土類炭酸泉で、神經痛、リウマチス、疝癩、婦人病等に特效がある。湯場としての設備は餘り完備してはるないが、俗塵を離れて眞に療養しようとする浴客には喜ばれる。旅館は菊屋一軒、此他貸間貸屋が五軒ある。宿泊料は一泊一圓五十錢乃至四圓、間賃料は一日一人二十錢以上四十錢位である。

ラムネ温泉

鹿兒島縣始良郡牧園村宿窪田にあり、肥薩線嘉例川驛の東方約十五町、鹽浸、山之湯の中間に在る、東は斷崖峭壁に圍まれ、西は綠滴る丘陵を繞らし、南北を通ずる一條の溪流に沿ひたる幽邃閑寂の仙境である。湧泉は炭酸泉で巖層より湧出し多量の炭酸瓦斯を含有してゐる。飲用を主とし、天然ラムネとしてこれを輸出してゐる。ラムネ温泉の名稱も畢竟茲から出たので、加熱して浴用に供してゐる。

日當山温泉

(鹿兒島縣始良郡西國分村日當山)

肥薩線西國分驛下車(鹿兒島、西國分間、約五十分、賃四十四錢)驛より北方十五町。

温泉地は牧園方面に通ずる縣道に沿ひ、新川の流れが湯場の脚をゆるやかに洗つてゐる。南に櫻島の秀嶺を望み、北に霧島の靈峰を雲表に仰ぐ。附近一帯は廣漠たる田圃で、視野頗る廣く、野趣に富んで居る。加ふるに交通至便だから、鹿兒島人士の遊樂場となり、日曜日祭日の如きは、日歸り客で盛んに賑ふ。

此湯は文政八年の發見で、其後浴槽旅館等の改善をなし、近時異常の發展を來してゐる。現在では東郷湯、元湯、丸湯などがある。

西國分驛の南方にある隼人塚は、熊襲梟帥及び大隅隼人の靈魂を合せ祀つたもので、大正十年史蹟保存地に指定された。又温泉場と西國分驛との中間に、彦火々出見命を祭神とした鹿兒島神社がある。境内の鬱蒼たる老樟は、神木として崇められ、千年外の樹齡を保つ。姫城城趾は上古久我大臣がこれに據つたと傳へられてゐる。

泉質效能

無色透明のアルカリ泉で胃腸病、リウマチス、婦人病に特效がある。

旅館・經費

大正館、龜屋旅館、加藤館、福屋、日當山旅館、鶴屋旅館（以上何れも内湯あり）松屋等。宿泊料一泊一圓五十錢乃至三圓位、間賃料は一日十五錢より六十錢まで。

姫城温泉

鹿兒島縣始良郡清水村姫城にあり、西國分驛より約十町、新川を隔て、日當山温泉に對峙してゐる。東方に姫城丘を負ひ、西南北の三面は綿渺たる田園を繞らしてゐる。交通は未だ開けず、従つて温泉場としての設備も完備せぬから、現在では附近の住民が入浴するに過ぎない。泉質はアルカリ泉で、胃腸病、痛風、貧血、糖尿病等に效がある。

不老泉

鹿兒島縣始良郡西國分村濱之市にあり、西國分驛より約二十町、自動車の便あり、大正十三年の開湯で、其當時は相當の温熱泉だつたが、最近では冷泉となつて了つたから、浴用には加熱してゐる。浴客も附近住民の入湯するに止まる。旅館は二軒、下宿屋は數軒ある。泉質は微に白濁せる弱食鹽泉で、リウマチス、麻痺症、痛風、生殖器及泌尿器慢性諸病、腺病質、その他に效能がある。

吉松温泉

鹿兒島縣始良郡吉松村にあり、肥薩線吉松驛より東北約半里。大正十一年の開湯だから、諸般の設備は未だ完全してゐない。泉質は無色透明の單純の泉で、外傷、慢性リウマチス、慢性濕疹、ヒステリー、神經衰弱、麻痺症、婦人病、腺病質によく效く。旅館、下宿などは未だ設備が十分でない。附近には川田湯、原口湯、鶴丸湯、般若寺湯、前田湯、山下湯、竹田湯、櫓木湯等があるが、何れも泉質は同じである。

### 栗野岳温泉

(鹿兒島縣始良郡栗野村)

肥薩線栗野驛下車、驛より東方一里半、自動車の便あり、賃六十錢。

霧島群山中最も西方に突出せる一支峰栗野岳の中腹にある。韓國嶽、高千穂峰及霧島の諸温泉に通ずる岨道が此處から危ふ氣に通じて居る。地は海拔約七六〇米(凡二、五〇〇尺)の位置だから、眺望は頗る雄渾。川内川の長流や、錦江灣を双眸の裡に收むる事が出来る。春は萬朶の櫻花を以て彩られ、初夏は綠蔭深き處に映山紅の朱を吐く眺があり、晩秋には鬱蒼たる常磐木の間を落葉樹が錦して綾羅を翻へし、冬は狩獵地として絶好である。

此温泉には大地獄があつて、轟々たる音響と共に盛に蒸氣を噴出し、附近一帶は草木なく、唯礬土硫黄を敷けるが如く、大小の岩石が鬼神の如く此中に屹立してゐる。温泉は大地獄から流出するので、浴場は前湯、後湯に分れ、天然の蒸湯は他に其類を見ざる設計で、その床板一枚下は全くの地獄で、凄じき響を立て、熱泉が噴騰してゐるのだから、臆病神に取憑れ易い。

松尾城は栗野驛の東北三町の所にあり、勝栗神社も程近い。

### 野も山もみな白旗となりけり

今宵の宿は勝栗の里

島津義弘

此地は、曾て大西郷が塵外月餘の閑日月を送つた處で、今はその遊跡に記念碑が建つてゐる。

#### 泉質效能

硫酸泉にして、ラヂウム・エマナチオンを二〇〇マツも含有してゐる。慢性皮膚病、慢性リウマチス、痛風、腺病、慢性婦人生殖器病、麻痺症、慢性鼻咽喉及び氣管支カタル、經久梅毒、鉛及び水銀中毒症によい。

#### 旅館・經費

南洲館その他自炊を専業とするものもある。宿泊料一泊一圓五十錢位より三圓見當。自炊によれば、一日一人當り二十五錢以上五十錢迄。炊事道具は無料貸與。

### 湯之尾温泉

(鹿兒島縣伊佐郡菱刈村湯之尾)

肥薩線栗野驛で、山野線に乗換へ湯之尾驛下車(栗野、湯之尾間、約十分、賃八錢)それより西方五町、人力車の便がある。

湯之尾温泉は、未だ完全な設備とは云へないが、近時着々改善を加へて居る。一面交通の發達と共に、浴客も漸次増加して來た。殊に農閑期及夏季は地方の入浴客で賑ふ。

川内川上流には多く鯉を産し、又此地の血筋海苔は日本有数のもので、天然記念物に指定されてる。

泉質效能

炭酸泉で、胃腸病、慢性リウマチス、各種神経病、慢性婦人生殖器病、麻痺症其他に效く。旅館・經費 濱川、花屋、大湯館の外下宿もある。宿泊料一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢位まで。下宿は三食つき一圓乃至一圓五十錢位、間賃は湯錢共一日一人二十五錢位。

鵜泊温泉

鹿兒島縣伊佐郡本城村川南にあり、湯之尾温泉とは渡船を以て往來してゐる。最近の開湯で設備も未だ完全してゐない。泉質效能略前者に同じ。

吉田温泉

(宮崎縣西諸縣郡眞幸村昌明寺)

目豊本線京町驛より約二十町、自動車の便あり、賃三十錢。

矢岳の南麓にあり、温泉場の上方には本邦唯一のループ式鐵道が走つてゐる。前面には清流を帶とし、廣茫たる眞幸平野の盡きる所、霧島の連峰が脈を打つて走る。湯に浸りながら砧打つ音も聞かれるといふ、昔懐しい片田舎の情調が味へる。秋は附近の山々に櫨や柞が紅葉して、明るく美

しい輝いた景色を見せて呉れる。

此温泉は昔、手負の鹿が屢々來つて、此泉に浴して全癒したといふ因縁から、一名鹿の湯とも云はれてゐる。正親町天皇の御宇には藩主の島津義弘は、旗下の傷病者を入浴させ、自身も來つて入湯したと傳へられ、爾來島津家では歴代の藩主が春秋二期には必ず來浴したものだといふ。

泉質效能

アルカリ性炭酸泉で、泉温四十三度、浴用はリウマチス、神経痛、皮膚病、内用は胃腸病、咽喉カタル、貧血、生殖器粘膜炎、膀胱カタルに特效がある。

旅館・經費

東郷旅館、伊旅館(以上内湯あり) 神田橋支店。宿泊料一泊一圓五十錢乃至三圓五十錢見當。自炊制もある。

京町温泉

宮崎縣西諸縣郡眞幸村京町にあり、日豊本線京町驛より半町、地は川内川のの上流、海拔約二四〇米(凡七九〇尺)地勢は大略吉田温泉に同じ、泉質は含鐵食鹽泉で、泉温四十五度、胃腸病、リウマチス、婦人病、皮膚病、腺病質、病後衰弱等に效く。旅館玉泉館には内湯あり、宿泊料は二圓五十錢以上、自炊制もある。

觀音温泉

宮崎縣西諸縣郡眞幸村京町にあり、京町驛より約一町。泉質效能前者に同じ。松尾旅館には内湯が有る。宿泊料一泊一圓より二圓位。自炊の設備は

ない。

雷 温 泉

宮崎縣西諸縣郡眞幸村京町にあり、京町驛より約二町、曾て此温泉掘鑿に成功した時、旗を竿頭高く掲げた所、俄かに落雷があつて、爲めに湧出量を増大し、高温になつたので、雷温泉の名稱が起つたと云ふ事だ。泉質效能前者に同じ。黒松旅館には内湯あり。宿泊料は一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢位。自炊の設備はない。

龜 澤 温 泉

宮崎縣西諸縣郡眞幸村龜澤にあり、京町驛より約十四町、自動車二十錢、馬車十五錢、周圍の概況や泉質效能は凡て前者に同じ。旅館昭和館には内湯あり。宿泊料は一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢位。自炊制あり。室料一日三十錢以内で、鍋、食器等一切を貸してくれる。

大 王 温 泉

宮崎縣西諸縣郡眞幸村龜澤にあり、大王旅館一軒、泉質效能等すべて前者に同じである。

此他眞幸村には左の諸温泉がある。

▽鶴ノ湯温泉……(眞幸村水流)

▽境田温泉……(眞幸村内立水盛)

▽城ノ温泉……(眞幸村)

▽岡松温泉……(眞幸村岡松)

▽釜ヶ迫温泉……(眞幸村昌明寺)

▽木山温泉……(眞幸村昌明寺)

白 鳥 温 泉

(宮崎縣西諸縣郡飯野村白鳥)

日豊本線飯野驛より約二里、自動車賃一圓二十錢、別に馬車の便もある。賃一圓。

飯野驛より温泉へ行く途中、約一里で白鳥岳の麓に着く。之から坂道にかゝつて更に一里ほど登ると、白鳥温泉下の湯に著くのだ。此道は所謂霧島登山道で、韓國嶽の絶景を賞しながら、霧島温泉へ通ふ事が出来る。

下の湯は此處から千尺も上の中の湯から引いたものだ。僅に旅館らしいものはあるが、まだ設備は整つてゐない。然し眼界頗る廣潤、爽快である。それより尙一里ほど登ると日本武尊を祀れる白鳥神社がある。境内には老杉多く、數百年の星霜を経た老木が、森々として晝尙暗く、森嚴の氣



身に迫り、自ら襟を正さずには居られない。それより十町も行つた所が白鳥温泉だ。旅館の設備は  
餘り完備してゐないが、眺望美を擅にし、避暑地として絶好の所である。  
此温泉は上の湯、中の湯に分れ、何れも湧出量極めて豊富だ。春先には米鹽携帯の自炊客が押  
寄せて来て中々に賑ふ。

頂上には周圍一哩の火口湖觀音池がある。湖畔には馬頭觀世音を祭つた六觀音がある。毎年五  
月八日には、繪馬を携へて參詣する者が多いとの事だ。これより賽の河原、海老野を経て韓國嶽を  
極め、大浪池を過ぎて霧島の諸温泉に出るのが順である。

此温泉には蒸湯の設けもある、附近の地獄に熱湯湧出して濛氣天に漲り、遠方から眺めると雲か  
とも見紛ふ斗りである。

泉質效能

弱鹽類性硫黄泉で、泉温九十一度、皮膚病、創傷、胃腸病、婦人病、リウマチス、眼病に特  
效がある。

旅館・經費

白鳥旅館、宿泊料一泊一圓五十錢より二圓五十錢位だが、自炊が主で、一日室料其他一切で  
三十五錢位、夜具は十五錢見當。

海老野温泉

宮崎縣西諸縣郡飯野村海老野にあり、日豊本線飯野驛より約四里半、途中  
一里半の所までは馬車の便が有る。

韓國嶽に登る途中の温泉で、相當險惡な道路だが、登山者にとつては興味深きコースである。  
此所より韓國嶽の頂上までは約一里、附近には大浪池がある。泉質は不透明黄褐色の含鐵鹽類泉  
で、胃腸諸病、腺病質、神經痛、婦人病、皮膚病に效能が有る。旅館海老野旅館には内湯あり。一  
泊一圓より二圓位迄。自炊制もある。

蓮太郎温泉

(宮崎縣西諸縣郡高原村)

日豊本線高原驛下車(肥薩線吉松、高原間、約一時間、賃五十五錢)驛より東へ一里、自動車の便あ  
り、賃三十錢。

此温泉は霧島山の裾野にあつて、霧島登山には此處よりするが一番の近道である。三百有餘年の  
歴史を有する古い温泉だが、湧出量は更に衰へず、依然として豊富である。四周は田園で、野趣  
に富み、西方遙に高千穂の靈峰が聳えて居る。

温泉場は諸般の設備比較的よく整ひ、温泉プール、湯灌なども設けられてゐる。  
此處より高千穂の峰までは約四里、温泉地より程近き所に登山口があり、頂上までは約二時間

半で達することが出来る。

名物

蓮太郎饅頭。

泉質效能

効がある。

無色透明の弱アルカリ性食鹽泉、浴用加熱。胃腸病、神経痛、婦人諸病、眼病、創傷等に特

旅館・經費

以上。

蓮太郎旅館（内湯あり）宿泊料一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢位。自炊、席料一日三十錢

阿母平鑛泉

宮崎縣西諸縣郡小林町堤阿母平にあり、日豊本線高原驛より約一里半、蓮太郎温泉の北方に當り、馬車、俵の便がある。泉質效能すべて蓮太郎温泉に等しく、旅館の設備なく、凡て自炊制である。

狹野温泉

宮崎縣西諸縣郡高原村狹野にあり、高原驛より約一里、自動車の便がある。賃二十五錢。

此地は高千穂への登山口に當り、北方約五町には狹野神社がある。官幣大社宮崎神社の別宮で、社殿は延喜式の建築、境内は樹木鬱蒼として幽邃を極め、神威の缥缈を偲ばせる。温泉は硫黄性弱鹽類泉で胃腸病、神経痛、婦人生殖器諸病、創傷、皮膚病に効く、旅館の設備なく、自炊のみ出来る。

青島温泉

宮崎縣宮崎郡青島村にあり、宮崎驛より宮崎鐵道により青島驛下車、驛より約三町、又宮崎市より直通自動車によるもよい。賃五十錢。

青島は宮崎市を距る三里半、宮崎縣下の名所として風光明媚の地である。附近海上二十町には青島神社が鎮座し、熱帯植物が繁茂して居る。夏涼しく、冬暖き絶好の健康地である。泉質は食鹽含有アルカリ泉で、胃腸病、慢性咽喉及氣管支カタル、貧血、慢性リウマチス、神経痛、婦人病、腺病質等に効く。旅館は宮内旅館支店、宿泊料は一泊一圓五十錢乃至二圓見當、自炊制もある。

名物

外郎餅、イリコモチ。

湯の山鑛泉

效能は青島と略同じである。

宮崎縣宮崎郡青島村にあり、青島温泉より西方に當る。此處には斷食堂があり、この地方では可なり知られてゐる。療養専門の湯場であるが、泉質

付番名珍泉温

蒙御免

寄年

道草有

後津馬(兵庫)  
(愛媛)

司行

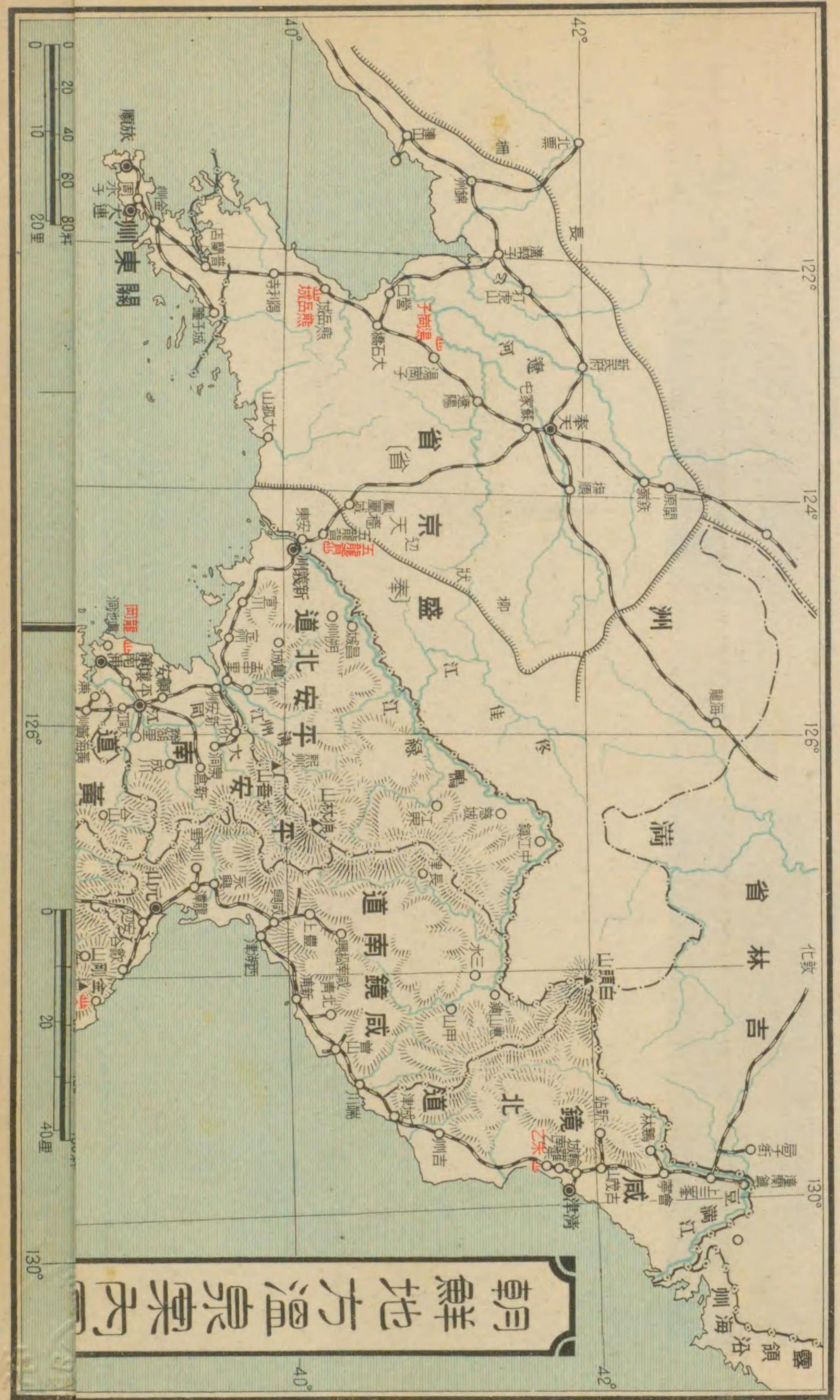
別熱

府海(静岡)  
(大分)

元進勸

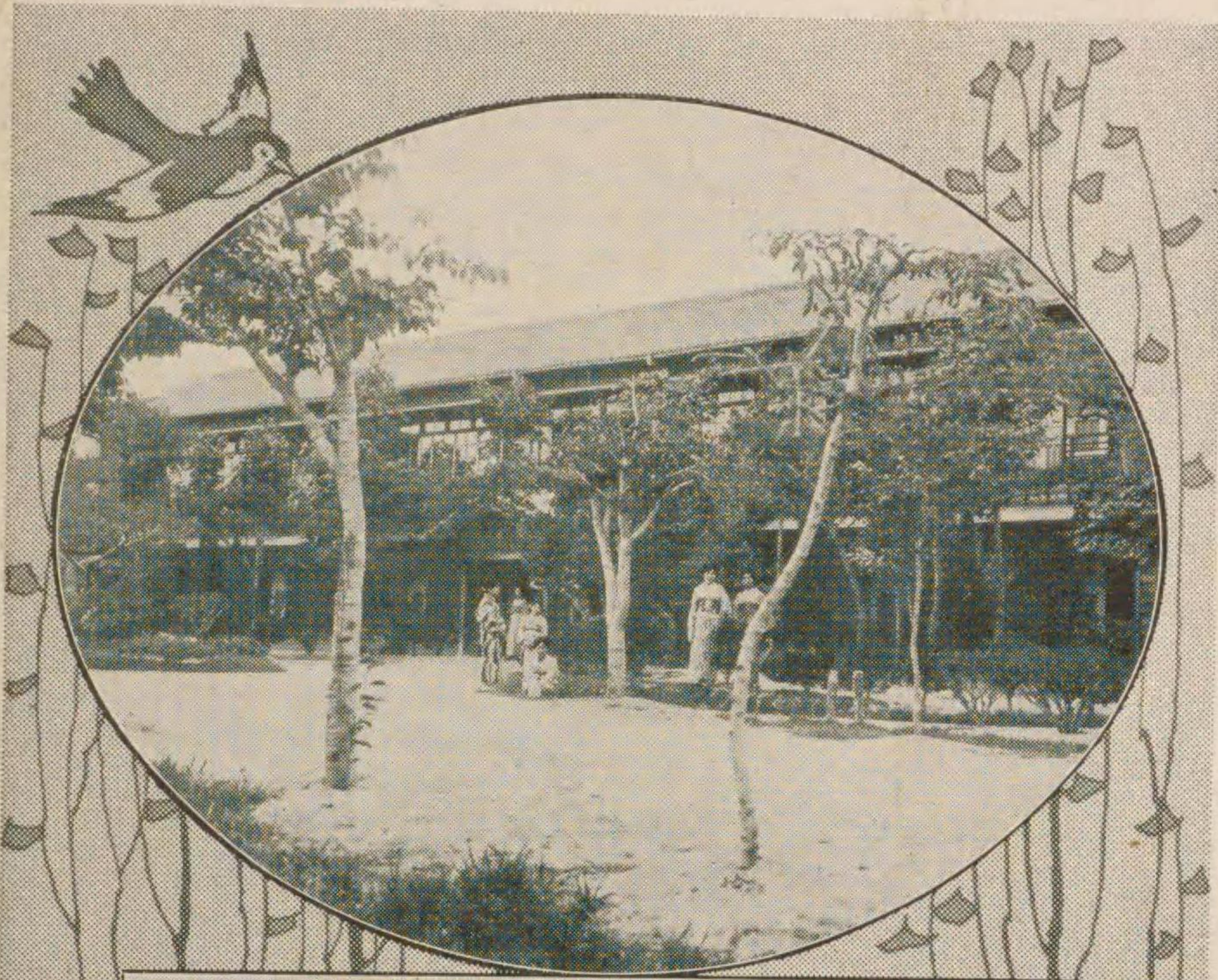
大日本雄辯會講談社

方の西					方の東						
同	前頭	小結	關脇	大關	横綱	同	前頭	小結	關脇	大關	横綱
鹿 <sup>カ</sup>	發 <sup>ハツ</sup>	祖 <sup>ソ</sup>	入 <sup>イ</sup>	栗 <sup>クリ</sup>	皆 <sup>カ</sup>	弟 <sup>テ</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	福 <sup>フク</sup>	和 <sup>ワ</sup>	蒸 <sup>シユ</sup>	夏 <sup>カ</sup>
教 <sup>キョウ</sup>	哺 <sup>ボ</sup>	母 <sup>ボ</sup>	乃 <sup>ノ</sup>	川 <sup>カハ</sup>	生 <sup>シ</sup>	子 <sup>コ</sup>	屈 <sup>ク</sup>	岐 <sup>キ</sup>	琴 <sup>コト</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	油 <sup>アブ</sup>
(向)	(長野)	(富山)	(奈良)	(鹿児島)	(鳥取)	(北海道)	(福島)	(栃木)	(北海道)	(秋田)	(岩手)
同	同	同	同	同	前頭	同	同	同	同	同	前頭
垂 <sup>タリ</sup>	小 <sup>コ</sup>	越 <sup>コ</sup>	三 <sup>ミ</sup>	温 <sup>ユ</sup>	鐵 <sup>テツ</sup>	留 <sup>ル</sup>	夏 <sup>カ</sup>	畑 <sup>ハタ</sup>	俱 <sup>ク</sup>	川 <sup>カハ</sup>	秋 <sup>アキ</sup>
玉 <sup>タマ</sup>	女 <sup>メ</sup>	瀬 <sup>セ</sup>	朝 <sup>アサ</sup>	津 <sup>ツ</sup>	輪 <sup>リン</sup>	邊 <sup>ヘ</sup>	瀬 <sup>セ</sup>	下 <sup>カ</sup>	知 <sup>チ</sup>	渡 <sup>ワタ</sup>	保 <sup>ホ</sup>
(同)	(熊本)	(和歌山)	(鳥取)	(鳥取)	(大分)	(北海道)	(秋田)	(栃木)	(北海道)	(同)	(宮城)
同	同	同	同	同	前頭	同	同	同	同	同	前頭
白 <sup>シロ</sup>	黑 <sup>クロ</sup>	小 <sup>コ</sup>	掛 <sup>カケ</sup>	砂 <sup>サ</sup>	河 <sup>カハ</sup>	温 <sup>ユ</sup>	神 <sup>カミ</sup>	小 <sup>コ</sup>	熱 <sup>ネツ</sup>	銀 <sup>ギン</sup>	甲 <sup>カウ</sup>
骨 <sup>ホネ</sup>	平 <sup>ヘイ</sup>	谷 <sup>ヤ</sup>	宿 <sup>ヤク</sup>	石 <sup>イシ</sup>	頭 <sup>カウ</sup>	海 <sup>ウミ</sup>	瀧 <sup>タリ</sup>	内 <sup>ウチ</sup>	川 <sup>カハ</sup>	山 <sup>ヤマ</sup>	子 <sup>コ</sup>
(長野)	(山梨)	(長野)	(鹿児島)	(同)	(宮城)	(山形)	(宮城)	(東京府)	(静岡)	(山形)	(福島)
同	同	同	同	同	前頭	同	同	同	同	同	前頭
岐 <sup>キ</sup>	笠 <sup>カサ</sup>	鹽 <sup>シホ</sup>	知 <sup>チ</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	笙 <sup>シユ</sup>	吐 <sup>ハク</sup>	仁 <sup>ニ</sup>	然 <sup>シカ</sup>	母 <sup>ボ</sup>	微 <sup>ミ</sup>	押 <sup>オシ</sup>
の <sup>ノ</sup>	口 <sup>クチ</sup>	浸 <sup>シメ</sup>	本 <sup>ホン</sup>	の <sup>ノ</sup>	音 <sup>ネ</sup>	保 <sup>ホ</sup>	伏 <sup>フス</sup>	別 <sup>ベツ</sup>	畑 <sup>ハタ</sup>	温 <sup>ユ</sup>	立 <sup>タテ</sup>
(熊本)	(大分)	(鹿児島)	(静岡)	(熊本)	(岐阜)	(熊本)	(同)	(北海道)	(同)	(福島)	(福島)
同	同	同	同	同	前頭	同	同	同	同	同	前頭
阿 <sup>ア</sup>	飯 <sup>イ</sup>	奴 <sup>ヌ</sup>	鷺 <sup>サギ</sup>	王 <sup>オウ</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	遠 <sup>トウ</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	日 <sup>ヒ</sup>	我 <sup>ガ</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	定 <sup>テイ</sup>
母 <sup>ボ</sup>	治 <sup>チ</sup>	留 <sup>ル</sup>	米 <sup>メ</sup>	母 <sup>ボ</sup>	抱 <sup>ダテ</sup>	刈 <sup>キ</sup>	檜 <sup>ヒノ</sup>	中 <sup>ナカ</sup>	樂 <sup>ラク</sup>	の <sup>ノ</sup>	山 <sup>ヤマ</sup>
平 <sup>ヘイ</sup>	洞 <sup>ドウ</sup>	湯 <sup>ユ</sup>	追 <sup>ツイ</sup>	家 <sup>カ</sup>	(鳥取)	田 <sup>タ</sup>	曾 <sup>ソウ</sup>	(福島)	目 <sup>メ</sup>	俗 <sup>ソク</sup>	溪 <sup>ケイ</sup>
(宮崎)	(長野)	(熊本)	(大分)	(長野)		(宮城)	(群馬)	(同)	(群馬)	(秋田)	(北海道)

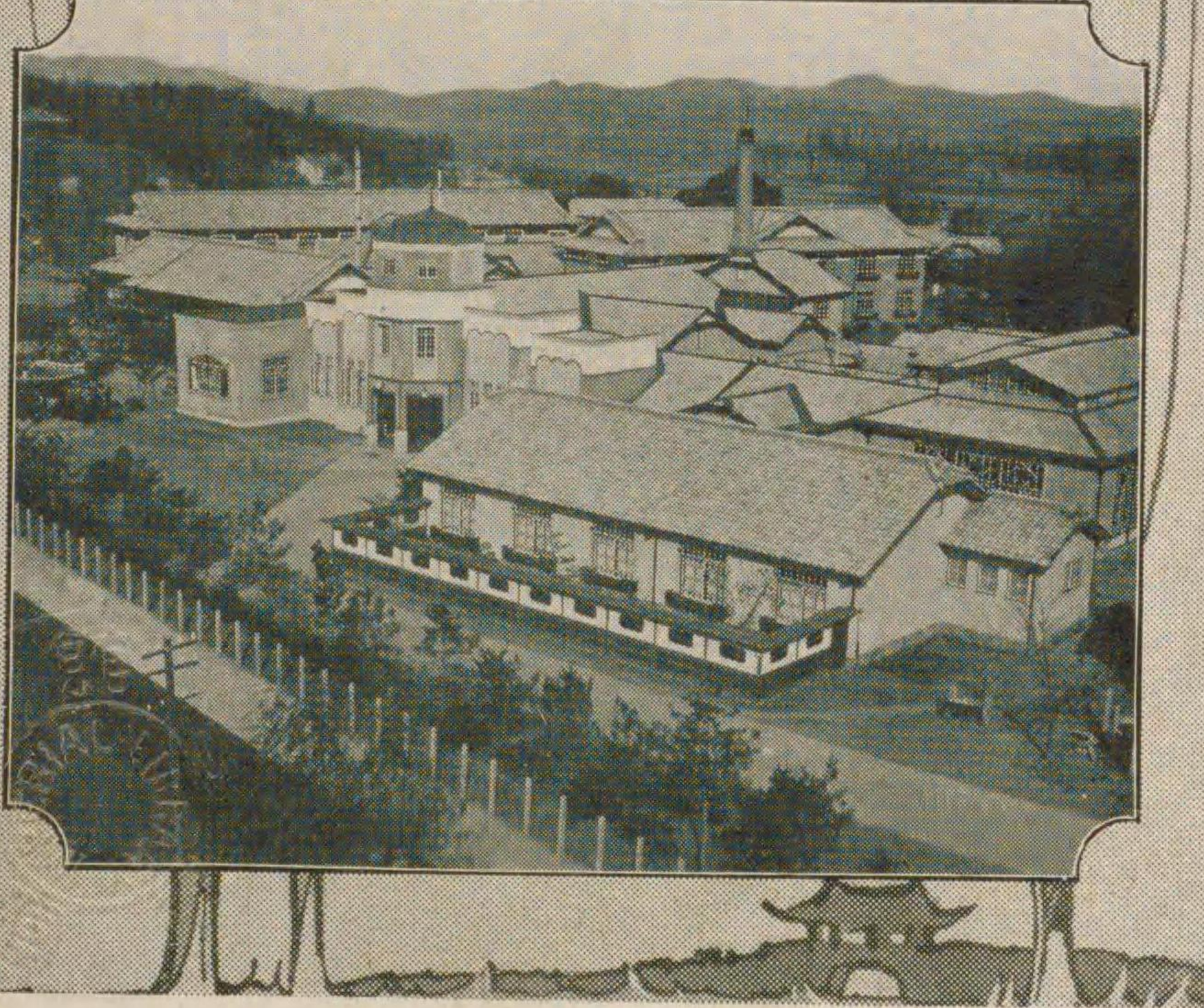




【鮮滿·臺灣地方】

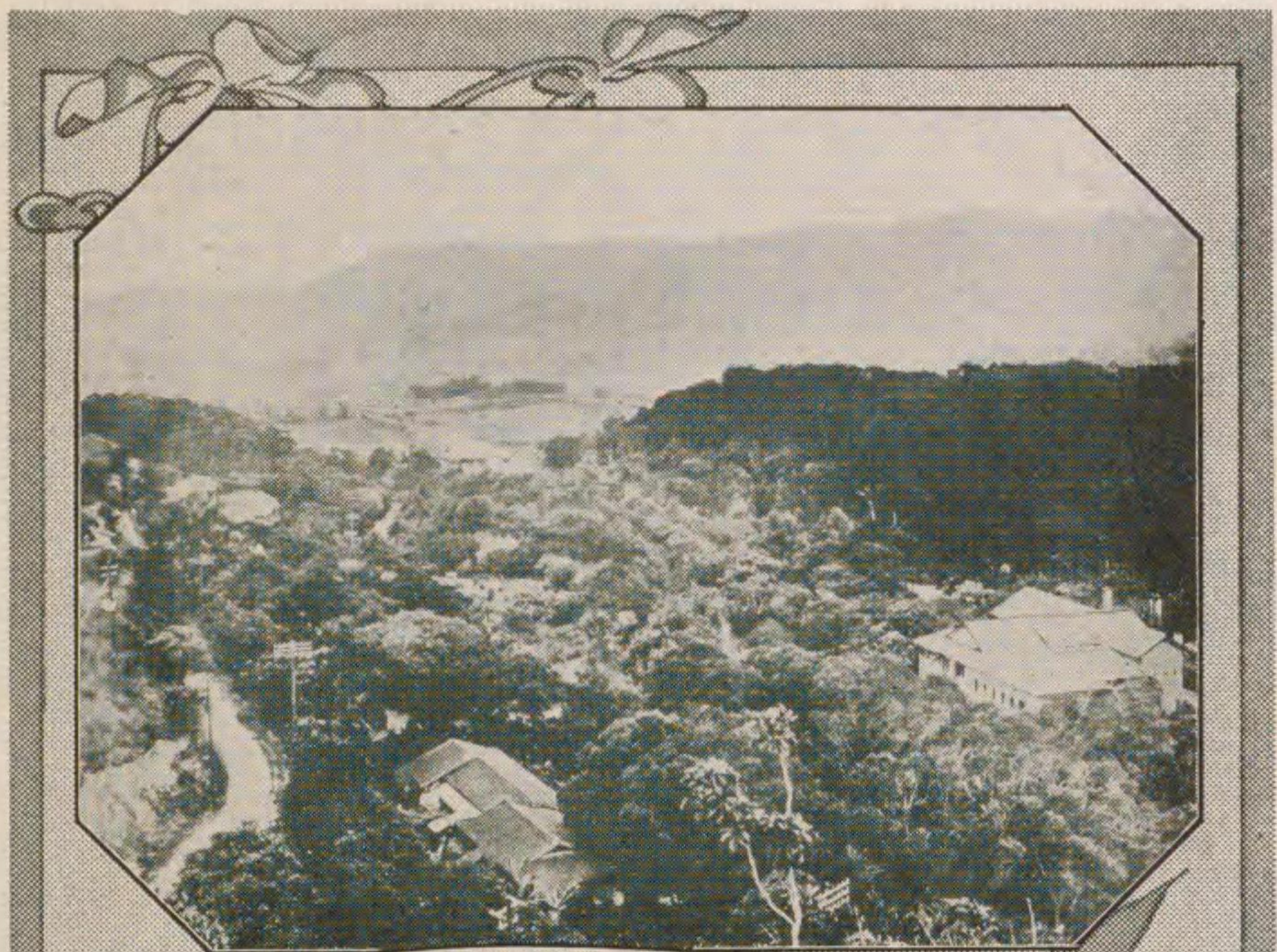


儒城溫泉



溫陽溫泉

北投溫泉



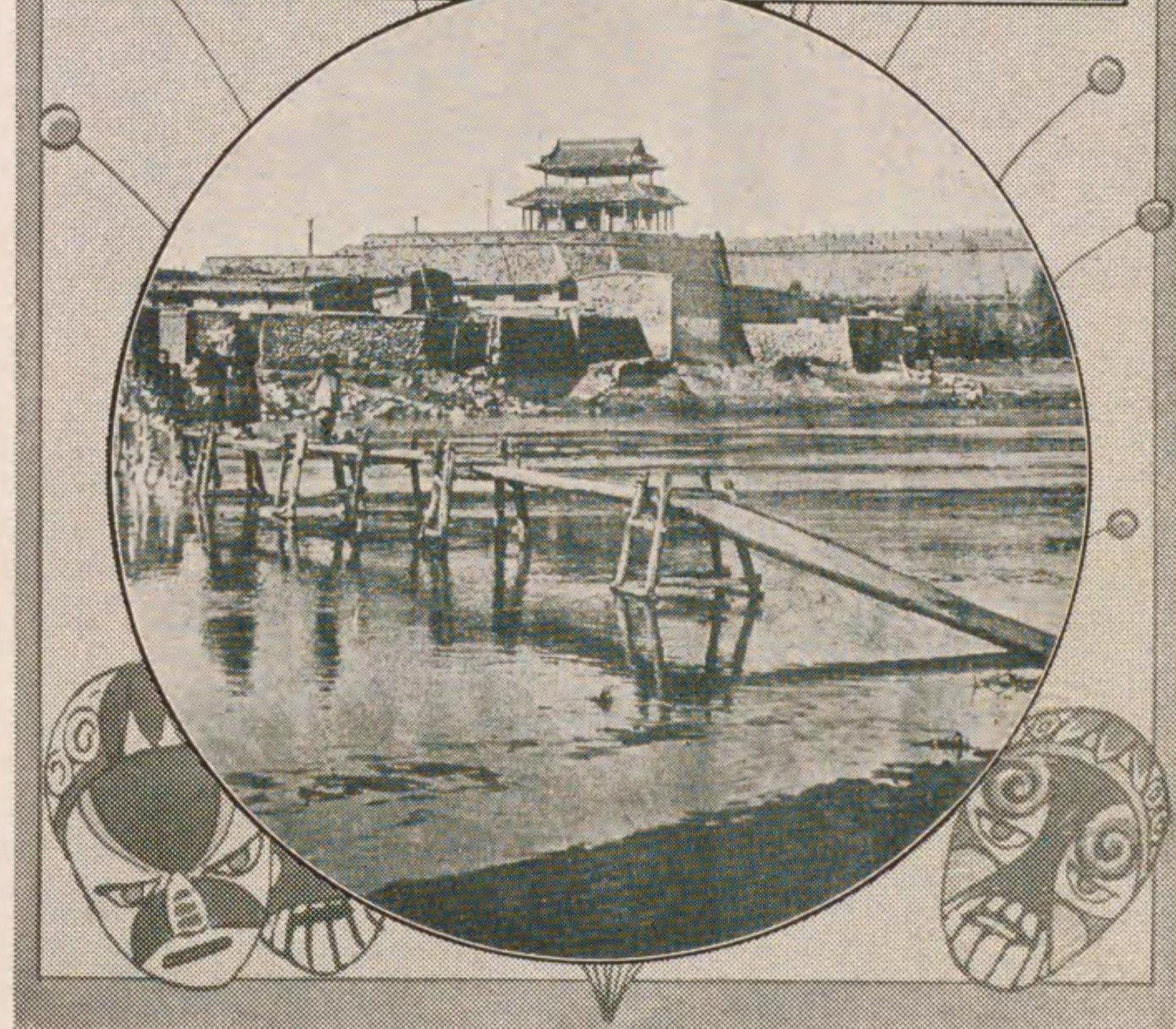
烏來溫泉



陽德溫泉



熊巖城溫泉









配下になつても、由來入浴を好まぬ彼等は、温泉を重要視せぬから、其發達といふ事は期待されず、殊に化外の生蕃地に多いから、全く顧みられなかつたのだ。降つて日清戰役の結果、全島が我邦の版圖になつてから、生蕃は次第に歸服して良民となり、官憲の治政が彼等に徹底した爲に、始めは瘴癘蠻霧の地とされて居た地方に、交通は利便となり、衛生設備は整ひ、首狩の危険もなく、毒蛇の害も無くなつたので、各地の温泉は俄かに發展して來たので、泉量の豊富、泉質の優良なる點に於て、内地諸湯に比して遜色無きのみか、或ひは凌駕するものが澤山に在るのだ。臺灣に遊ぶものは、必ず臺地の温泉に投じ、湯烟の中から、恍惚として胡蝶蘭の優雅な花を眺め、浴後鳳梨を割いて、麥酒の杯に暑氣を拂ふべきである。其爽快味は内地の温泉では、到底味へぬものがあらう。

島内の交通は一、四五〇餘軒の鐵道と約一、〇八〇軒の軌道により、現在殆ど不便がない。急行列車は基隆、高雄間（縦貫線）晝間二往復、夜間一往復運轉し、食堂、寢臺、賣店の設備などがある。又基隆、蘇澳間（宜蘭線）、花蓮港、臺東間（臺東線）には一日數回の直通列車がある。又島内の海運は左の沿岸航路がある。

(イ) 東廻り沿岸線 月六回、長春丸（一、七二八噸）嘉義丸は、基隆、蘇澳、花蓮港、新港、臺東、火燒島、紅頭嶼、大板埕、高雄間。

(ロ) 西廻り沿岸線 月三回、基隆出帆、開城丸（二、〇一九噸）基隆、馬公、高雄間（高雄、馬公間折返し月八回）

(ハ) 蘇澳、花蓮港線、毎日十時蘇澳出帆、別府丸（七〇七噸）

島内の觀光は一週間乃至十日でも出来るが、二週間乃至三週間を最も適當とする。従來臺灣旅行と云へば、西海岸の主要都市基隆、臺北、臺中、嘉義、臺南、高雄、屏東等に過ぎなかつたが、近時交通便利となつた爲め、霧社日月潭の景勝（外車埕驛）、新高山の雄大（水裡坑驛）、阿里山の絶勝（嘉義驛）、或は靈廟媽祖（嘉義驛）、東洋第一の大規模工事と云はれる烏山頭貯水池（番子田驛）、關子嶺温泉（後壁驛）、四重溪温泉、礁溪温泉、北投温泉などは見逃す可らざる所である。更に眞に臺灣氣分に親しまうとするならば、寧ろ東海岸宜蘭、蘇澳、タロコ峽、花蓮港、臺東等の旅行がよく、何等の不安もなく、西部地方に比して興味一層深いものがある。

臺灣への交通 臺灣への交通は極めて便利である。内地、臺灣間航路には神戸、門司、基隆航路と、横濱、高雄航路とがある。神戸、門司、基隆航路が最捷徑路であり、亦最も設備が完備してゐる。同航路は一ヶ月十三回乃至十四回の定期往復航路であつて、就航船は一萬噸級の優秀船で、歐米航路の汽船にも劣らぬ設備を有してゐる。

土産物 烏龍茶、蜜餞、珊瑚、果物（ボンカン、ボンタン、ザボン、蕃瓜、パイナップル、バナナ等）  
蕃産品、蛇皮細工品、藤、蘭、通草製作品、梓ステッキ、トンボ玉、楠細工等。

### 北投温泉

（臺灣臺北州七星郡北投庄北庄）

基隆からは縦貫線により臺北で淡水線に乗換へ、新北投驛で下車（基隆、新北投間、賃六十四錢）。  
▼臺北から貸切自動車は、賃三圓五十錢。乗合自動車は、一日二回往復、賃（片道）五十錢。  
▼新北投驛からの里程表

公共浴場	二町半	瀧の湯	三町	星の湯	七町半
北投瀧	十五町	頂北投温泉	一里九町	草山温泉	二里十六町
上の湯	十五町				

北投温泉地と呼ばれる地域は、北投溪と云ふ温泉の流れを挟んで、三面には翠緑滴るばかりの峯巒を仰ぎ、一面には曠闊なる平野を隔て、遠く淡水河の緩やかな流を控へた高地にあり、春夏秋冬四時に適する温泉郷で、浴客の來り遊ぶ者常に絶えることなく、眞に好箇の遊樂地である。明治三十年の頃、温泉地として此の地が人の着眼する所となつて以來三十幾星霜、日に月に殷盛に起

いて、今や營に臺北に於ける温泉地遊園地たるばかりでなく、全臺灣の有する大なる誇りとなつてゐる。

仙境であり歡樂郷である北投も、温泉地として繁榮をなすに至つたのは、臺灣が日本の領分となつてから後の事だ。温泉の湧いて居たのは無論蕃域時代からであつたが、清國治下になつてからも、誰も顧みる者はなかつた。

そして此の温泉が初めて日本人に知られたのは、明治二十八年十一月で、大阪の人平田源吾氏が入浴に來て、現北投溪で沐浴し、翌年三月再び來つて本島人の家屋を譲り受け、假温泉旅館を開業して天狗庵と稱した。その後追々世人に知られ、交通の便を開くため、臺北から北投に通ずる道路が開鑿され、三十年四月に竣工した。かうして臺灣守備兵や臺北駐在の工兵隊などの盡力により、四十三年には北投轉地療養所が開設され、四十四年には現偕行社浴場を新築するやうになつた。

臺北、淡水間の鐵道は明治三十四年八月開通され、北投温泉を利用する者が多くなり、自然温泉旅館を開業する者も續出するに至つた。當時は北投停車場から今の小學校前の道路を上り、松濤園と郵便局の間を五十鈴前に迂曲した山脚を下ると、湯瀧浴場（溪流浴）に達するのだつた。

湯瀧温泉と云ふ名は、溪流に一大巉石が横はつて、それから湯が瀧をなして迸出するからであ

る。瀧の下の深い壺は其儘沐浴する場所となつてゐた。所がこの原始的な夕顔棚の下涼み式の温泉場は、其筋の注意により二重の竹矢來を圍んで入浴を嚴禁してしまつたので、當時の在住内地人は、其繁榮の根本を奪はれたので、その後は風俗を壊亂しない程度の浴場を建築し、漸く官の諒解を得て、從來の如く溪流に於て、一般諸人が入浴する事になつた。それから明治四十年前記湯瀧の浴場を包含する海軍用地の使用を許され、湯瀧浴場を新築し、其附近には浴場關係の住民をして花卉草木を植ゑさせ面目を一新するに至つた。この時代から臺北、北投間の自動車の往來は愈々頻繁を加へ、一層繁榮を來して、今日の盛況を見るに至つたのである。

由來温泉地は保養の地であり、解放を喜ぶの地である。従つて其處には絃歌が湧き嬌音がなまめく、さうして温泉情調を彌が上にも濃く彩どつて行く傾向にあるのは、自然の數である。この北投も矢張り其例に洩れず、三絃の響は溪流に和し、脂粉の香は湯煙と共に渦巻く歡樂郷である。とはいへ、一面には婦人子供連れの家族の安住郷としての設備の處もある。

附近大屯山は温泉から絶頂迄三十餘町、常夏のこの島では、嚴寒時に雪見物に登山する者が非常に多い。白雪皚々たる山容を遠望するのは、雪見ぬ國の人々にとつて、無二の壯觀である。

▼硫氣孔 偕行社浴場前窪地の沼地で、地獄谷とも呼ばれてゐる。長さ四十六間、幅十八間計り、即ち約八

百二十八坪、深さ七八間で、硫黃山から來る小流や、偕行社温泉の流れ等を合せて北投溪となる、其間此湯の流れは多くの温泉旅館の内湯の源泉となつてゐるのだ。此の窪地は到る處盛んに硫氣を噴出し、數十箇所より温泉を湧出して居る。温度は大抵九十度を越えるから、中々の危険地域である。硫氣瓦斯は主に水蒸氣、硫化水素、亞硫酸瓦斯等で、氫氣として温泉地の匂ひを漂はすのだ。

其他、面天山、皇太子殿下行啓記念碑、紗帽山、北投公園、鐵眞院、湯守觀音、皇太子殿下御渡渉飛石、北投瀧、弘法大師岩、咲里岸、慈生宮、仙堀、賊洞、關渡、慈光寺、民蕃界の碑等がある。

名物 北斗石、鳳梨。

泉質效能 此の温泉の泉質は、泉源に依つて、其性質を異にして居る。

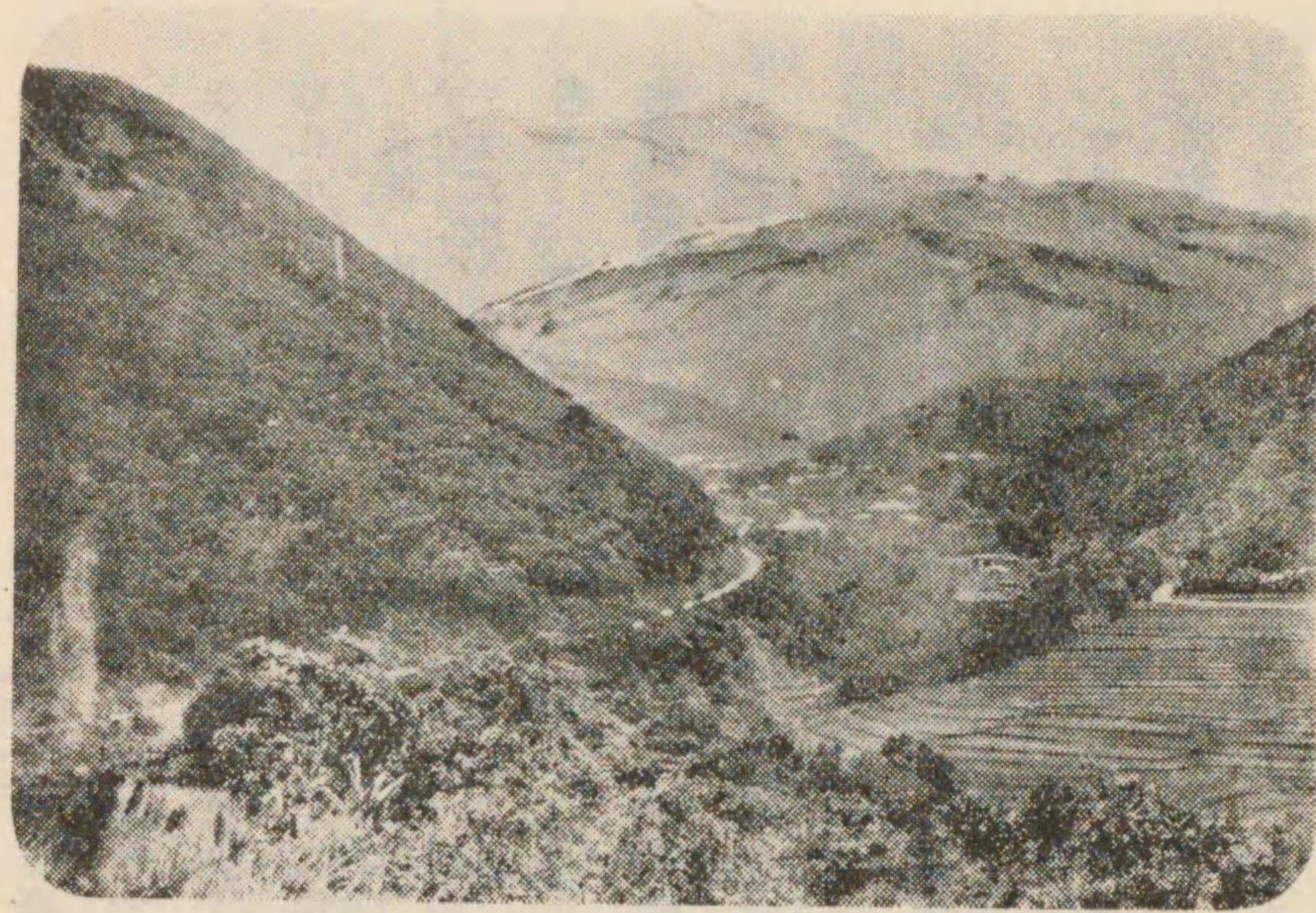
▼北投溪温泉は酸性明礬、綠礬を含み、ラヂウム・エマナチオンの放射能〇・三七マツへ。泉温、湧出坑は殆ど百度。劇性の粘液漏及び慢性加答兒、癩病、梅毒性潰瘍及び頑固の潰瘍、腺病、慢性皮膚病等に效がある。▼北投偕行社温泉 硫化水素含有單純酸性泉で、泉温五十度。婦人生殖器粘膜炎加答兒、リウマチス、榮養不良、諸種の疾病恢復期に效く。

▼公共浴場温泉 單純土類泉でラヂウム・エマナチオンの放射能〇・一三マツへ。泉温五十九度。諸種の神経痛、筋及び關節リウマチス、頭痛、慢性胃加答兒、胃弛緩性、氣管支加答兒、腺病質、痔疾、肥胖病等に效がある。

旅館・經費

松濤園、神泉閣、八起、松島屋、小西屋、新蒼芳、泝水園、五十鈴、筑前屋、清秀閣、松家、

草山溫泉遠望



星の家、養氣閣、やまと、八勝園、桔梗屋（以上旅館料理業）。藤の屋、長門屋、天狗屋、星の湯、上の湯、湯本温泉、吉田屋（以上旅館專業）。宿泊料一泊二圓五十錢乃至六圓。中食料は一圓二十五錢より三圓位迄。

### 草山溫泉

（同 七星郡士林庄草山）

新北投驛から二里十六町。▼淡水線士林驛から北東二里二十町、臺車の便がある。

大屯火山地帯の七星山と紗帽山との溪谷に位し、北投とは姉妹泉の關係にある温泉で、幽邃にして眺望に富み、静養地として理想的である。先年、皇太子殿下（今上陛下）行啓の際、道路を改修し、當時御休憩所だつた貴賓館があり、又公共浴場の設けもある。

北投から草山へ、又草山から士林へかけての道は、風光絶佳にして箱根に鬚髯たるものがあり、臺灣十二勝の一である。

ここから望まれる七星山は海拔一、〇〇〇米餘（約三、三〇〇尺）、山頂は七峰に分れて眺望雄大、その西側中腹には竹仔湖がある。湖畔には櫻樹頗る多く、臺灣の吉野山と稱される。

泉質效能 大體北投温泉に同じ。

旅館・經費 巴館、若草屋。宿泊料一泊二圓五十錢より四圓位迄、中食料は宿泊料の約半額。

### 烏來溫泉

（同 文山郡烏來）

縦貫線の萬華驛から分岐する臺北鐵道に依り、終點新店驛下車（萬華、新店間賃二十六錢）、それより約四里、徒歩。▼臺北から新店迄自動車の便もある、賃三十五錢。

臺北からは東南七里、地は蕃界に屬し、附近には蕃社が散在して、物品交換所、蕃童教育所等がある。新店街からは風光明媚の新店溪に沿うて、良い道路が設けられて旅館の設備もある。臺北あたりから蕃地視察を兼ねた一日の散策地として好適の所である。

新竹郡桃園街から東九里十七町の所に角板山がある。海拔六〇〇餘米（凡そ二、〇〇〇尺）こゝも蕃地視察の適地である。桃園街から途中大溪迄は自動車、賃五十五錢。大溪から更に五里二十町臺車、賃一圓六十錢、五時間を要する。角板山は高山蕃界の縮圖と云はれ、大料坎溪源の幽邃境と、蕃人の去來を一眸の下に瞰ることが出来、宛ら太古の世界を眼のあたり見る想ひがある。

名物 新店溪の鮎。

泉質效能 炭酸泉で、消化器諸疾患、皮膚病、脚氣、痛風等に效く。旅館もあり、設備も相當整つて

ある。

金山温泉

臺北州の大屯火山彙に屬する温泉で、臺灣の温泉中の最北地に位し、基隆から臺車によつて五里程行つた所に在る。公共浴場の設備がある。夏季は湧出量も多く温度も高いが、冬季は湧出量が減少し、その活動もずつと鈍つて来る。湧出口によつて多少泉質に差異あるも、大體無色澄明且つ無臭、弱アルカリ性の反應を呈する單純泉である。泉温三十七度。

磺港温泉

金山温泉中の一區劃を成し、磺港海濱に在つて、湯は附近一面隨所に湧出し、砂は赭色を呈して砂浴に適し、臺灣の別府の稱がある。湯は微かに褐

黄色を帯び、澄明にして無臭鹹味を呈し、酸性の反應がある。

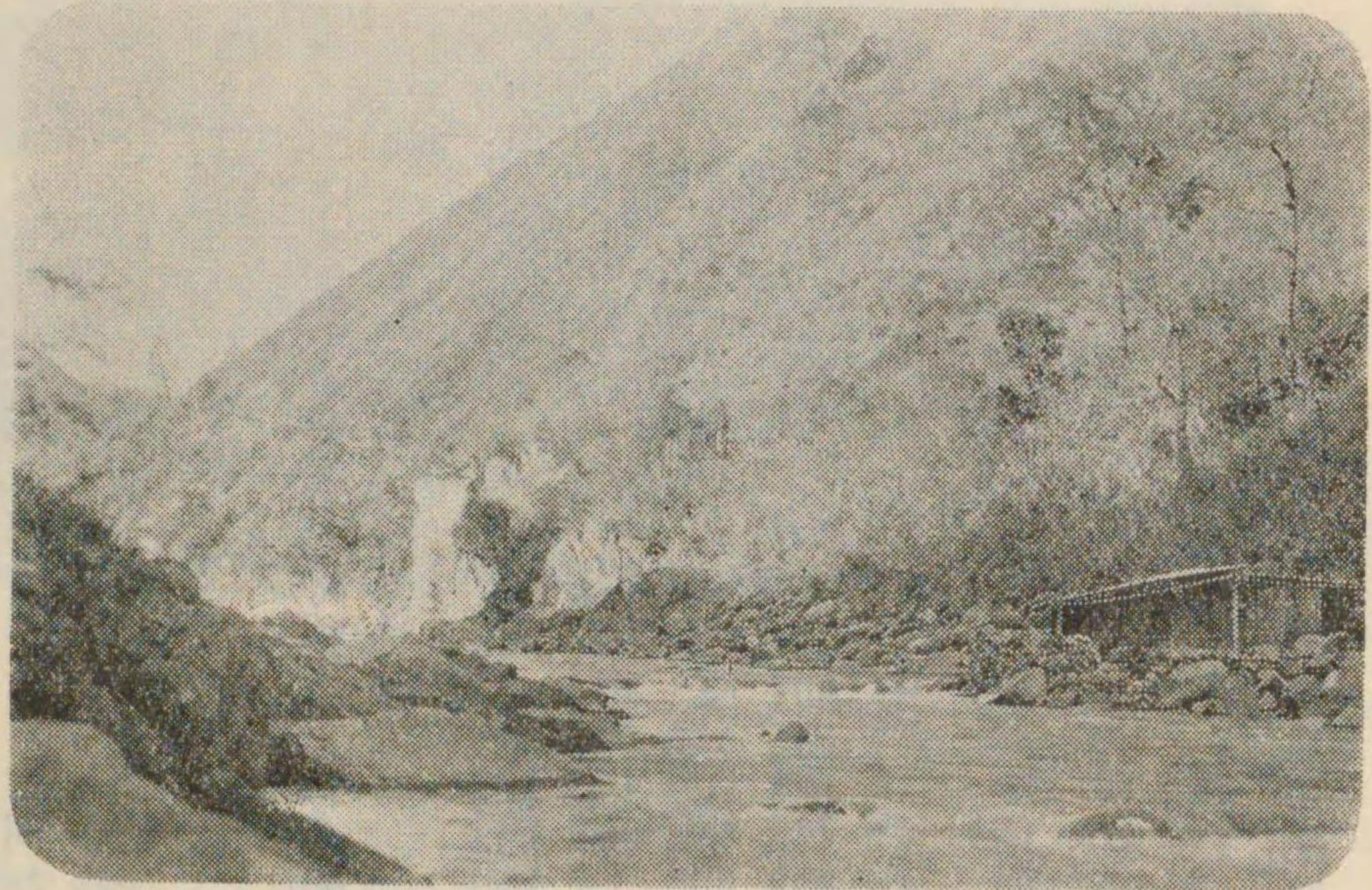
礁溪温泉 (同 宜蘭郡礁溪庄湯園)

基隆から宜蘭線に依り礁溪驛下車(基隆、礁溪間、賃一圓〇六錢)、それより三町。▼宜蘭驛からは二里半、自動車、賃二十錢。基隆から四十二哩、礁溪驛前山脚一帯に湧出し、泉量豊富で風景亦頗ぶる良く、蘭陽八景の一と稱され、此地方第一の遊樂境である。公共浴場は驛の西北三町。

こゝから二里強、宜蘭は東海岸最大の都會地である。人口二萬二千、内本島人は二萬餘。宜蘭驛の北西三町には孔子廟、驛の南五町の所に公園がある。天后宮は驛の北八町、員山温泉は驛の北西一里二十一町、手押し臺車の便がある。賃十九錢。

名産 礁溪蜜柑。

泉質效能 無色透明無臭弱アルカリ性の鹽類泉で、慢性胃腸加答兒、神經痛、月經不順、其他慢性子宮疾患等に卓效がある。



控 溪 温 泉

の湧出場所を少し掘下げた自然の儘なる浴槽で、周囲は岩石に封じられてゐる。泉温が體温と殆んど同じなので入浴の感じが良い。

附近は溪谷美に富み、浴槽に浸つて轟々たる溪流の響きを妙なる鼓の調べかと聞く。こゝから遙か東方に大正二年蕃地討伐の際、桃園廳の警察隊が前進し來つて根據を定めたシボツケ山を眺める。今はこの地方も極めて平穩に歸したが、依稀たる山川草木は昔ながらの風趣を具へ、往時苦戦の跡を語るが如くだ。眼を轉じて後方サカヤチン駐在所方面を見ると、曾て斧鉞を入れない深山幽谷中にも、今は新竹州下蕃の幹線道路が開鑿され、道路の上下には春は爛漫たる臺灣櫻の美があり、秋は紅葉全山を彩り、四季の風光描くが如くだ。又大正二年蕃地討伐の根據たるシボツケ、トテフ、

旅館・經費

西山旅館、樂園旅館、圓山旅館等。宿泊料一泊二圓乃至五圓。

上の島温泉

新竹州大湖、蕃地にあり、縦貫鐵道山の手線の苗栗驛から臺車で四里半、水尾で臺車を捨て、それより轎若しくは徒歩、此の間四里七町。

後龍溪の上流たる汝水溪畔の峽谷にあり、近く虎子山の奇巖を仰ぎ、遠く鹿場大山の雄姿を望み、附近一帶は檫林に富み、其タピラス檫林は廣大なる純林として有名である。

泉質效能

炭酸アルカリ性泉で、泉温五十度、湯量豊富。慢性リウマチス、慢性胃腸カタル、慢性皮膚病、慢性痛風、貧血、子宮病、梅毒、ヒステリー其他に效がある。

旅館

十疊及八疊の客室があり、二間四方の浴室は總て總檜造りの贅澤なものである。

控 溪 温 泉

(同 新竹州竹東郡蕃地シボツケ社)

縦貫線新竹驛から竹東迄自動車約四十分、賃五十錢。竹東から内灣迄臺車、二時間、賃七十錢。▼竹東から温泉所在地迄八里半、徒歩或は輪の便がある。

湯は標高三、〇〇〇尺のキナジ蕃タイヤカン溪の河床に湧出し、泉量は頗る豊富である。河床中

タイヤカン等惡戰苦闘の地がある、何れも五、〇〇〇尺餘の高山で、トテフからは臺灣有数の高山と稱せられる大霸尖山を望み、一月から三月の終迄は、この山頂に戴く白皚々たる積雪の眺望が、殊に鮮麗だ。

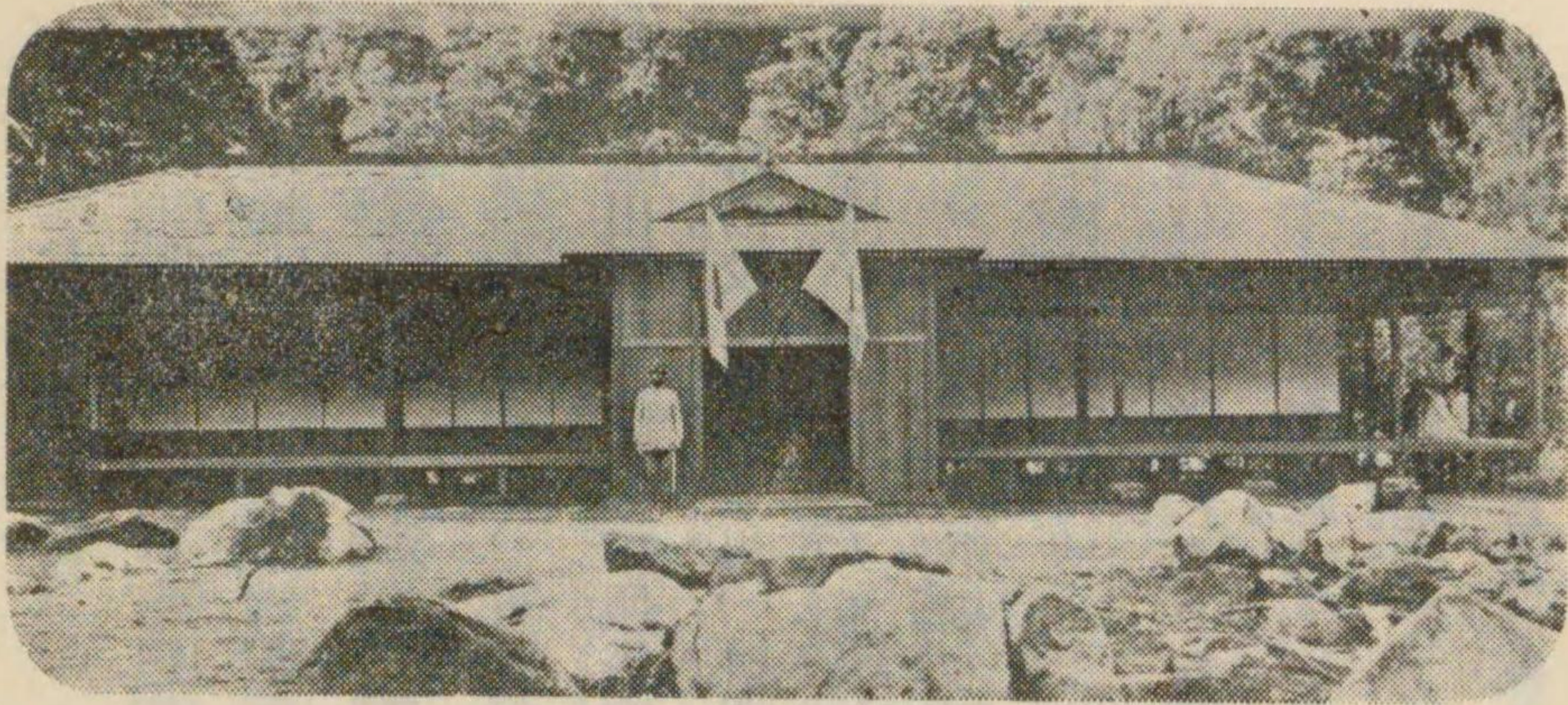
この境域は遊樂地として適してはるるが、都會から十餘里も距れ、浴場の設備も整つてゐないから、態々入湯に来る者は少い。浴用すれば婦人病、胃腸病、肥胖病等に特效がある。

明治溫泉

臺中州大甲溪上流にあり、縦貫線豐原驛から臺中輕鐵に乗換へ土牛驛下車(豐原、土牛間賃二十錢)、それより大甲溪右岸を辿るときは、約五里半、臺車の便あり。左岸を辿り八仙山運材軌道を利用すれば、四時間で久良栖に至り、夫より平坦な道を約一里十八町徒歩で、明治溫泉に着す。

附近一帶は風光明媚で、大甲溪の流れは瀨となり淵となり、急湍巖を咬みて飛沫を散らし、或は清澄鏡の如き深潭をなし、水流美の奇變を示すのだ、其間林相美も亦壯麗で、造化の神に恵れたる雄偉の壯觀は、到底筆舌に盡し難い。

此溫泉は昭和二年五月、州費補助及び一般有志の寄附に依り、浴槽二個、客間八疊四間を建設し、



明治溫泉

一般の用に供するやうになつた。目下は客室の増築、娛樂場の設備小公園の布置等に新しい企劃をして居る。

東埔溫泉

臺中州新高郡集々から八通關道路約十二里の地點にあつて、路傍の石盤岩層から滾々として流出してゐる。

無色透明、殆ど臭味なく泉温六十二度の單純泉である。外傷性諸障害、慢性筋肉及關節リウマチス、慢性濕疹、ヒステリー、神經衰弱、經久性半身不隨、小兒麻痺、婦人病、慢性攝護腺炎諸病、腺病質等に效く。

關子嶺溫泉

(同 臺南州新營郡白河庄關子嶺)

縦貫線の後壁驛下車(臺北、後壁間、賃三圓七十一錢)、それより東四里十九町、自動車、賃九十五錢。▼同線嘉義驛から直通自動車、

賃一圓二十五錢。

枕頭山北麓なる關子嶺庄内急水溪の支流白水溪に注ぐ滾水溪の左岸にあり、四圍は重疊たる峯巒に圍まれた塵外の別天地で、海拔三〇〇米(約一千尺)の溪谷にある。常夏の臺灣にも夏あるを知らない程の涼しい仙郷で、泉質の良好なること、風光の明媚なる點に於て、臺灣有数の温泉である。明治三十一年の頃、軍隊の爲に發見せられたのが、次第に世人に知られ、夫から同地の旅館吉田屋、龍田屋が共同して假浴槽を建て、經營したが、大正二年元嘉義廳で改めて公共衛生費を以て浴場(特湯及上湯、並湯、計四十八坪)を建設した。次いで大正三年二月、同地の貴賓館とも稱すべき聽水庵が落成し、大正九年五月療養所が設けられた。尋いで地方制度改正の結果、臺南州の經營に移り、關子嶺公設浴場と稱するに至つたが、特湯は燃焼瓦斯噴出のため、大正十五年十月現在の場所に移轉改築した。

此處は熱帶地方にありながら夏は涼しく、華氏八十度を越えることが殆ど稀で、朝夕は七十度位を上下すると云ふ珍らしい仙境だ。然し冬は却つて暖く。四十度を降ることはないから、轉地療養や、避暑避寒の好適地である。

泉質效能

鹽類泉で無色清澄、及び泥土様濁泉の二種、ラヂウム・エマナチオンを含有す。效能は神經

瑞穂温泉

痛、腦神經、下疳、リウマチス、咽喉加答兒、慢性皮膚病、結核性疾患、ヒステリー、腎臟病、膀胱加答兒。旅館・經費 ホテル、吉田屋、洗心館、清秀館等。各旅館とも内湯はないが、何れも公設浴場に接近し、入浴には不便はない。宿泊料一泊一圓五十錢乃至二圓。中食料八十錢より一圓迄。

花蓮港州瑞穂區にあり、花蓮港から南へ走る臺車に依り瑞穂驛下車、それより十八町、フェナン山麓にあり、臺車の便がある。賃十五錢。

玉里温泉 (同 花蓮港廳玉里庄玉里)

臺東線安通驛から約二十町。

玉里街を南に距ること約三哩、安通驛から、溪畔を遡ること二十町の地點にある。温泉場は閑靜な山間の別天地で、且暮幽禽啼き、清流淙々として塵腸を洗ふに足る。

泉質效能

本温泉は無色透明にして、湧出量極めて豊饒、泉源に於ては優に鶏卵を半熟化せしめる程の高温を保ち、泉質の優良と共に、全島に稀に見る温泉である。外傷、消化器病、リウマチス、神經衰弱、婦人病に效がある。



旅館・經費

安通旅館一戸。目下浴室其他増設中。宿泊料、一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢。

知本溫泉

(同 臺東支廳卑南區知本)

臺東線の終點臺東驛下車、それより南へ約三里半、自動車、賃六十錢。

後に山を登り前には知本溪を控へ、風光絶佳、素より有名の温泉で、古來附近の蕃人等が之を神水と稱へ、溪底礫の間に浴池を作つて、任意に投浴して居つたのを、大正六年に浴室及び宿泊所を建設し、その後改築、増築の上今日に至つた。

一般浴室六槽、他に貴賓室の設備がある。旅館の營業はなく、公共浴場のみだ、浴場は臺東廳の經營で、常に看守人を置き、之が監督取締をさせ、特に賄人を置いて宿泊者の爲め便宜を計つてゐる。宿泊料は三食付で、一泊一圓二十錢より三圓迄、自炊は自由、長逗留者には特に相談に應ず。

泉質・效能

泉質は炭酸性で、泉温四十二度。消化器病及び諸種の傷痕に適する。

蚶仔崙溫泉

ない。

高雄溫泉

縦貫線の最南端高雄市にある温泉で、明治三十七年頃から、本島人の爲に皮膚病に有效なることを知られた。現在は高雄市山陽堂主の經營になつてゐる。リウマチス、神経痛、胃腸病、婦人病に效能があり、温度三十一度、浴用加熱。附近に二十人も入れる仙洞の大岩屋、清水岩、夫婦岩、龍目井、龍泉寺等がある。

四重溪溫泉

(同 高雄州恒春郡車城庄四重溪)

縦貫線最南端高雄驛から潮州線に依り、潮州驛下車(高雄、潮州間、賃七十三錢)。それより賃切自動車、賃二十圓。▼恒春から北方三里餘、自動車賃切四圓。

この温泉は臺灣の最南端、北緯二十三度の熱帯地にあるのだが、環境頗る幽邃、四時の景趣に富むので、四時景とも云はれてゐる。明治二十八年十二月、恒春憲兵屯所高橋憲兵曹長の發見で、

同三十年山口縣秋の人松原次郎夫妻が南洋地方から來住し、附近を開拓して、珈琲栽培の傍ら温泉經營に著手したが中絶し、尋いで關善次郎氏が温泉場を經營し、新たに浴場を建設したが、野火の類焼に遭ひ、その後幾度の變遷を経て、大正十五年十月本館別館を建築、昭和二年一月落成した。

温泉旅館、兼料理屋は高雄州の經營となつて、公共浴場と稱へ、近來此地方を巡廻する官吏や遊覽客は、必ず宿泊するやうになつた。

名物鯨のかぶら骨の粕漬や、落花生の豆腐などを食卓に上せる。泉質は鹽類泉で、宿泊の設備も充分に整つてゐる。

この邊の地は、明治七年の征臺軍を起した事件の根本として有名な所である。

附近二十四町の蕃地境界には石門戰跡がある。斷崖絶壁の難關であつて、征臺軍の進軍中兇蕃が之れに據つて頑強の抵抗し、我が軍は峻嶺五重溪山を登攀し、石門の上に出て、さしもの兇蕃を潰滅したと云ふ戰蹟地である。

車城から當時我軍の進撃した線路に因り、一里十六町で四重溪温泉に達する。當時の琉球被害民の墓は其の途中にある。

### 朝鮮の諸温泉 附 滿鐵沿線の諸温泉

従來、鮮滿地方の温泉で内地人に紹介せられたものは甚だ少い。しかし、此地方には温鑛泉の湧出は可なりに多く、朝鮮だけでも其數五十餘ヶ所に達してゐる。

しかも泉量の豊富、泉質、環境の佳良な點に於て卓越したるものも尠くない。

朝鮮で有名なのは東萊、滿洲では湯崗子、昔から世に知られては居たが、生れながらにして、多く澡浴を好まない鮮滿人は、是等の天恵を甚だ利用しなかつたのである。従つて朝鮮が我統治下となり、滿洲が我勢力範圍になつてから、是等の温泉が俄かに擡頭したのである。

湯崗子の如きは、全く大連人士の遊樂地となつて、内地以上の設備と繁榮とを示す事は、偶々滿洲往訪の客をして啞然たらしめると同時に、滿洲人は日本人は性得身體が不潔なので、日々入浴せねばならぬのだと評して居るものが有る。一眼の國の人が、二眼を不具と嗤ふの亞流ではないか。

本區分では其中の最も代表的なものに就いて述べたゞけで、他に地方人のみの澡浴に委してゐる小温泉には餘り觸れてゐない。

### 東萊溫泉

(朝鮮慶尙南道東萊郡東萊面溫泉里)

京釜本線釜山驛の北三里、電車、自動車の便がある。電車賃二十五錢、自動車賃四十錢。東萊溫泉は、朝鮮に於ける屈指の溫泉場である。南部朝鮮の門戸をなす釜山府に近く、交通は至便だ。背後には、小金剛嶺と稱される金井山聳え、前面には東萊川の清流を控へ、頗る景勝の地を占め、且又、四季氣候の激變も割合に少なく、別して避寒には好適だと云はれてゐる。

朝鮮には、五十數個所に溫泉が湧出し、古くから利用されてはるたが、元來朝鮮人は内地人の如く、屢々入浴する習慣がないので、昔は、溫泉場の設備など更に見るべきものがなかつた。東萊溫泉にしても、その例に洩れなかつたが、割に交通の便のよい處から、早くから内地人の遊ぶ者が多く、其後經營が内地人の手に移ると共に、着々と諸設備を整へ、今では堂々たる旅館なども出來、押しも押されもせぬ溫泉場となつてしまつた。畢竟此處が急速な發展を遂げたのは、釜山府に接近してゐるといふ地の利に負ふ處が多いのだ。

浴場附近には料亭なども數軒あつて、稀には美しい妓生の姿も見受けられる。近頃は内地人の外

に外人の遊ぶものも可なり多くなつた。

釜山は豊太閤の朝鮮役の渡海地だから、その當時の史蹟が多い。東萊城趾は、溫泉場から西南約半里、東萊邑内にある。

釜山城趾は、釜山鎮驛の東南數町、小西城趾と相對してゐる。何れも眺望の美に恵まれてはゐるが、在りし昔の戦禍の跡をとゞめ、古戰場頭寂として、人馬劍戟の音もなく、石箭飛ばず、弦聲響かず、訪客をして『國亡びて山河あり』の感に堪へざらしむるものがある。

焚魚寺は、溫泉場より約三里、金井山の中腹にあつて、新羅の名僧元曉の開基にかゝり、三百有餘年の歴史を有し、境内は老松蒼鬱として森嚴の氣が充ち満ちてゐる。

**泉質效能** 弱食鹽泉で、泉温五十度内外。胃腸病、婦人病、皮膚病、リウマチスに特效がある。

**旅館・經費** 蓬萊館、鳴戸旅館、荒井旅館、脇旅館、靜の家、東萊館、延壽館、外に朝鮮旅館五戸。宿泊料一泊三圓五十錢乃至七圓位。

### 海雲臺溫泉

(朝鮮慶尙南道東萊郡南面佑里海雲臺)

東萊溫泉の南三里半、自動車、四十分。

釜山港の東北方、約四里の海岸にある。東北西の三面は起伏せる丘陵、蜿蜒たる層峯に抱かれ、唯南方のみ開き、澎湃たる日本海を隔て、對州島を望見し得べく、且、海岸は白砂青松相映じて連延し、内地の海岸を思はせるものがある。氣候は溫和なので、避暑避寒地としても勝れてゐる。温泉は松林の間に滾々として湧出し、泉量も多い。可なり古くから温泉地として知られたものらしいが、朝鮮時代には暴政虎よりも恐ろしき役人達が屢々入浴に來ては無理を云ふ、それが煩いと云ふので、處の人達相謀つて泉源を埋めてしまつたのだ。明治三十八年頃、偶々内地人が田の中に湧出する湯の流を發見し、更に開鑿して温泉場を經營したもので、今では浴舎の設備も整ひ、湯瀧もあれば家族風呂もある、沙湯までであると云つた状態だ。旅館も數戸あるので、夏場は海水浴旁と釜山邊からの浴客で賑つてゐる。

泉質效能 含アルカリ土單純食鹽泉で、溫度四十七度乃至五十度。ラヂウム・エマナチオンの含有量三十一マツヘを超え、胃腸病、婦人病、皮膚病、腺病、神經衰弱には特效がある。旅館・經費 海雲樓その他數戸。宿泊料は東萊温泉と大差なし。

儒城温泉

(朝鮮忠清南道大田郡儒城面鳳鳴里)

京釜本線大田驛下車(釜山、大田間、賃四圓四十一錢)、驛より西北西約二里半、自動車二十分、賃四十錢。

朝鮮名山の一、雞龍山の秀峯を、遙か西方に望み、四圍は廣茫たる公州街道の平野に開けた温泉場である。

温泉場は、舊温泉と新温泉とに分れ、舊温泉の方は、共同浴場を圍んで、旅館が立並び、貸間もすれば、自炊も出来る様になつてゐるが、泉量が稍々乏しい憾がある。

新温泉は舊温泉の東十町、由來遊樂地として知られ、鳳鳴館の經營で、その面積一萬五千二百坪といふ廣大な庭園を有し、内湯は二ヶ所もあるし、諸般の設備もよく整つてゐる。そして、此處の第一號湧出口から出る温泉は、四九・二二マツヘのラヂウム・エマナチオンを含有し、朝鮮第一と稱されるものだ。

此温泉場から、雞龍山迄は約三里、山は谿谷深く、老樹鬱蒼として、瀑布あり、深潭あり、殊に